

2019年度 L2-Tech水準表 Ver.1.00

2019年度 L2-Tech水準表 Ver.1.00（2019年11月）

- 本水準表の作成にあたっては、カタログ等、企業が広く公表している資料及びWebページを中心に情報を収集し、当該技術に専門的知見を有する有識者からもご意見をいただきながら、科学技術的・客観的観点から情報を整理しています。
- 本水準表は、2019年11月までに収集した情報をもとに作成したものであり、今後も情報収集を継続するとともに、ご意見をいただき更新・充実させていく予定です。

項目		主な記載内容
L2-TechリストNo.		設備・機器等ごとにIDを付番。
区分		以下のように、エネルギー源を示した「部門」軸と、エネルギー技術を原理・しくみの違いで整理した「技術」軸に区分。 部門1: 当該設備・機器等の導入可能性の高い部門 部門2: 当該設備・機器等の利用可能性の高い用途、業種、プロセス、輸送手段、エネルギー種別 技術分類: 設備・機器等のカテゴリ(基本的な原理・しくみの種別) ※参照: 環境省「日本の約束草案要綱(案)」、国立環境研究所「日本国温室効果ガスインベントリ報告書」、エネルギー戦略協議会「エネルギー技術体系」、日本エネルギー経済研究所「エネルギー・経済統計要覧」
設備・機器等		設備・機器等(システム、設備・機器、部材等)の名称を記載。2050年までに80%の温室効果ガス削減という目標に向けて、環境省がCO2削減に重要と考える設備・機器等(カテゴリ)を、「CO2削減効果」及び「導入可能性」の観点で選定。
原理・しくみ		設備・機器等の原理・しくみ、またはCO2削減に資する原理・しくみの説明を記載。
クラス		認証の単位となるクラスを記載。購買の選択条件に応じて、条件(仕様、付加機能等)及び能力(加熱能力、発電出力等)で分類。
認証対象		2019年度L2-Tech認証制度において、募集対象となる設備・機器等を「○(または●*1)」、募集対象外の設備・機器等を「-(ハイフン)」として記載。 *1 簡易申請の対象となり得るクラス(条件・能力)に付与(詳細は、実施要領等に記載)
L2-Tech水準表情報No.		クラスごとにIDを付番。
L2-Tech水準		L2-Tech水準を記載。本水準は、指定された試験条件に基づき測定された結果を、指定の計算方法によって算出した値である。本水準は、2019年11月時点における値であり、かつ収集できた情報のうち最高性能の値を採用している。なお、「*(アスタリスク)」が付与されているクラスは、根拠資料として試験結果報告書の提出を受付可能であることを示す。(詳細は、実施要領に記載)
指標	測定単位	L2-Tech水準の単位、及びその名称を記載。
	評価方法のタイプ	以下のいずれかから、効率性能の評価方法のタイプを記載。 標準規格による評価: JIS等の国際・日本標準の規格、または省エネ法等の法律に準拠した試験条件及び計算方法によって評価する方法 標準条件による評価: 規格化されていないが一部で標準条件として用いられている、または標準として業界と合意した試験条件及び計算方法によって評価する方法 シミュレーションによる評価: 標準条件に基づき、実試験ではなくコンピュータ上で模擬試験を行うことによって評価する方法 具備機能による評価: 一定レベル以上の機能を具備しているものを評価する方法
	計算方法	性能の計算方法について、準拠すべき規格または具体的な方法を記載。
	試験条件	性能を評価するための試験条件について、準拠すべき規格または具体的な条件を記載。
備考		特記事項等を記載。

記号の使用方法

- 本リスト中の「-」、「・」及び「/」は、下記を示す。
- 「-」: 対象項目に該当する情報が存在しない、非対象、調査中、または不明。
 - 「・」: AND条件。 例) 空調機(ヒートポンプ・個別方式) → (ヒートポンプかつ個別方式の)空調機
 - 「/」: OR条件。 例) 空調/産業用プロセス → 空調または産業用プロセス

区分	L2-Tech リストNo.	設備・機器等	(掲載数)
A産業・業務 (業種共通)	空調機(ヒートポンプ・個別方式)	L-000933 ガスヒートポンプ L-000934 パッケージエアコン(店舗・オフィス用) L-000935 パッケージエアコン(設備用) L-000936 パッケージエアコン(ビル用マルチ) L-000937 氷蓄熱式パッケージエアコン	(5)
	熱源・空調機(ヒートポンプ・中央方式)	L-000940 フロン類等冷凍ターボ冷凍機 L-000941 自然冷媒ターボ冷凍機 L-000942 水冷ヒートポンプチラー L-000943 空冷ヒートポンプチラー	(4)
	熱源・空調機(ヒートポンプ・中央方式)・熱源補機	L-000945 氷蓄熱ユニット	(1)
	熱源・空調機(気化式・中央方式)	L-000947 間接気化式冷却器	(1)
	熱源・空調機(吸収式・中央方式)	L-000948 吸収冷凍水機(二重効用) L-000949 吸収冷凍水機(三重効用) L-000950 一重二重併用形吸収冷凍水機 L-000951 木質ペレット直焚き吸収冷凍水機(二重効用)	(4)
	熱源・空調機(地中熱利用・中央方式)	L-000955 パッシブ地中熱利用システム	(1)
	熱源・空調機(吸着式・中央方式)	L-000956 吸着式冷凍機	(1)
	熱源(ヒートポンプ)	L-000957 高温水ヒートポンプ(空気熱源・循環式) L-000958 高温水ヒートポンプ(空気熱源・一過式) L-000959 高温水ヒートポンプ(水熱源・循環式) L-000960 高温水ヒートポンプ(水熱源・一過式) L-000961 高温水ヒートポンプ(水空気熱源・循環式) L-000962 高温水ヒートポンプ(水空気熱源・一過式) L-000963 熱風ヒートポンプ(空気熱源・一過式) L-000964 熱風ヒートポンプ(水熱源・一過/循環式) L-000965 蒸気発生ヒートポンプ(水熱源・一過式) L-000966 蒸気再圧縮装置	(10)
	空調機(ペレットストーブ)	L-000968 密閉型ペレットストーブ	(1)
	空調フィルタ	L-000969 空調用ハイブリッドフィルタ	(1)
	給湯器(ヒートポンプ)	L-000970 ヒートポンプ給湯機(空気熱源)	(1)
	給湯器(ガス式)	L-000972 潜熱回収型給湯器	(1)
	ボイラ	L-000973 温水機 L-000974 蒸気ボイラ(貫流ボイラ) L-000975 蒸気ボイラ(伊崎煙管ボイラ) L-000976 蒸気ボイラ(水管ボイラ) L-000977 水素ボイラ(貫流ボイラ) L-000978 熱媒ボイラ	(6)
	コージェネレーション	L-000979 ガスエンジンコージェネレーション L-000980 ガスタービンコージェネレーション L-000981 燃料電池コージェネレーション	(3)
	冷凍冷蔵機器	L-000984 業務用冷凍冷蔵庫 L-000985 空気冷凍方式冷凍機 L-000986 冷凍冷蔵庫用自然冷媒冷凍機(アンモニア/CO2二次冷凍システム) L-000987 自然冷媒冷凍冷蔵庫デンシングユニット	(4)
	照明器具	L-000988 LED照明器具	(1)
	プリンタ/複写機	L-000989 プリンタ	(2)
	モータ	L-000990 複合機 L-000991 誘導モータ	(2)
	変圧器	L-000992 永久磁石同期モータ L-000993 油入変圧器	(2)
	モータ利用機器(圧縮機)	L-000994 モールド変圧器 L-001003 蒸気駆動圧縮機	(2)
	窓	L-001004 熱回収式ねじ容積形圧縮機 L-001017 Low-E複層ガラス L-001018 三層Low-E複層ガラス L-001019 真空Low-E複層ガラス L-001020 アタッチメント付きLow-E複層ガラス L-001021 真空ガラス L-001022 現場施工後付けLow-E複層ガラス L-001023 薄型Low-E複層ガラス	(7)
	断熱材	L-001024 断熱材(押出法ポリスチレンフォーム) L-001025 断熱材(グラスウール) L-001026 真空断熱材	(3)
	洗濯機	L-001028 業務用ヒートポンプ式衣類洗濯乾燥機	(1)
	エネルギーマネジメントシステム	L-001032 BEMS(制御サービス・空調・熱源・中央方式)	(1)
	乾燥設備	L-001027 蒸気リサイクル型濃縮乾燥装置	(1)
	その他	L-001038 サーパー電子計算機	(1)
	オフロード特殊自動車(建設機械・内燃機関型)	L-001054 油圧ショベル(内燃機関型) L-001055 ブルドーザ(内燃機関型) L-001056 ホイールローダ(内燃機関型)	(3)

区分	L2-Tech リストNo.	設備・機器等	(掲載数)
B産業 (業種固有)	オフロード特殊自動車(建設機械・ハイブリッド型)	L-001058 油圧ショベル(ハイブリッド型)	(1)
	オフロード特殊自動車(建設機械・電気型)	L-001061 油圧ショベル(電動型) L-001062 ブルドーザ(電動型)	(2)
	洗浄乾燥機	L-001088 遠心脱水機コンテナ(容器)洗浄乾燥機	(1)
	蒸留塔	L-001089 内部熱交換最適化蒸留システム	(1)
	業務用冷凍機器	L-001234 低温用自然冷媒冷凍機(アンモニア/CO2二次冷凍システム)	(1)
	乾燥機	L-001090 熱回収式工業用繊維物乾燥機	(1)
	熱処理機	L-001091 熱回収式工業用繊維物熱処理機	(1)
	その他	L-001218 MVR型(自己蒸気機械圧縮型)蒸発濃縮装置	(1)
	自動車(内燃機関型)	L-001092 ガソリン・ディーゼル車(乗用車) L-001093 ディーゼル・天然ガス車(商用車・重車)	(2)
	自動車(ハイブリッド型)	L-001095 ハイブリッド自動車(乗用車) L-001096 ハイブリッド自動車(商用車・重車)	(2)
C運輸	自動車(電気型)	L-001098 電気自動車(乗用車)	(1)
	空調機(ヒートポンプ)	L-001137 ルームエアコン L-001138 ヒートポンプ冷水システム L-001139 ヒートポンプ式温水床暖房 L-001140 ルームエアコン付温水床暖房 L-001141 マルチタイプ温水床暖房 L-001142 地中熱ルームエアコン	(5)
	空調機(ヒートポンプ・地中熱利用)	L-001143 地中熱ヒートポンプ冷水システム(ハイブリッド式)	(2)
	空調機(ペレットストーブ)	L-001144 密閉型ペレットストーブ(家庭用)	(1)
	給湯器(ヒートポンプ)	L-001106 家庭用エコキュート L-001107 多機能ヒートポンプ給湯機	(2)
	給湯器(ヒートポンプ・太陽熱利用)	L-001145 太陽熱集熱器対応型エコキュート	(1)
	給湯器(ガス式)	L-001108 ガス温水機器(エコジョーズ)	(1)
	給湯器(ヒートポンプ・ガス式)	L-001146 ハイブリッド給湯機(家庭用)	(1)
	給湯器(石油式)	L-001147 石油温水機器(エコフィール)	(1)
	給湯器(太陽熱利用)	L-001149 真空管集熱器(強制循環型太陽熱給湯器用)(家庭用) L-001150 平板集熱器(強制循環型太陽熱給湯器用)(家庭用)	(3)
	コージェネレーション	L-001151 蓄熱槽(強制循環型太陽熱給湯器用)(家庭用) L-001109 家庭用燃料電池(エネファーム・PEFC) L-001110 家庭用燃料電池(エネファーム・SOFC)	(2)
	冷凍冷蔵機器	L-001111 電気冷蔵庫	(1)
	照明器具	L-001112 LED照明器具(家庭用)	(1)
	テレビ	L-001152 液晶テレビ	(1)
	洗濯機	L-001131 洗濯乾燥機	(1)
	電気便座	L-001153 電気便座	(1)
	窓	L-001113 Low-E複層ガラス(家庭用) L-001114 三層Low-E複層ガラス(家庭用) L-001115 真空Low-E複層ガラス(家庭用) L-001116 アタッチメント付きLow-E複層ガラス(家庭用) L-001117 真空ガラス(家庭用) L-001118 現場施工後付けLow-E複層ガラス(家庭用) L-001119 薄型Low-E複層ガラス(家庭用) L-001120 Low-E複層ガラス・樹脂サッシ L-001121 Low-E複層ガラス・アルミ樹脂複合サッシ L-001122 三層Low-E複層ガラス・樹脂サッシ L-001123 三層Low-E複層ガラス・アルミ樹脂複合サッシ L-001124 五層Low-E複層ガラス・樹脂サッシ L-001125 真空ガラス・樹脂サッシ L-001126 真空ガラス・アルミ樹脂複合サッシ	(14)
	玄関ドア	L-001127 金属製玄関ドア	(1)
	断熱材	L-001128 断熱材(家庭用・押出法ポリスチレンフォーム) L-001129 断熱材(家庭用・グラスウール) L-001130 真空断熱材(家庭用)	(3)
	エネルギーマネジメントシステム	L-001135 HEMS(情報提供サービス・家電全般)	(1)
	燃料電池	L-001154 固体酸化物形燃料電池(SOFC)設備	(1)
	太陽光発電	L-001160 太陽電池(シリコン系・単結晶) L-001161 太陽電池(シリコン系・多結晶) L-001162 太陽電池(化合物系) L-001163 太陽電池(薄膜シリコン) L-001164 トランスレス方式パワーコンディショナ(太陽光発電用) L-001165 高周波変圧器絶縁方式パワーコンディショナ(太陽光発電用)	(6)
	水力発電	L-001172 プロペラ水車(小水力発電用) L-001173 フランシス水車(小水力発電用)	(2)
	地熱発電	L-001177 温水熱源小型バイナリー発電設備 L-001178 蒸気熱源小型バイナリー発電設備	(2)
	バイオマス発電	L-001181 ガスエンジン発電設備(メタン発酵発電用) L-001230 ディーゼル発電設備(バイオディーゼル燃料専用)	(2)
熱輸送	L-001182 潜熱蓄熱輸送設備	(1)	
リン回収設備	L-001204 リン回収設備HAP法(し尿・浄化槽汚泥用) L-001205 リン回収設備MAP法(し尿・浄化槽汚泥用) L-001206 リン回収設備MAP法(下水汚泥用)	(3)	
F廃棄物・リサイクル	L-001208 近赤外線樹脂選別機	(1)	

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標						
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法		試験条件	説明	
														単位	名称			準拠する規格
L-000933	産業・業 務(業種 共通)	空調	空調機 (ヒート ポンプ・ 個別方 式)	ガスヒートポン プ	室外機内のコンプレッサの駆動をガスエンジンで行うヒートポン プ方式の空気調和機。	7.5HP以下	● S-004535	1.19	-	COPp	標準規格 による評 価	-	-	COPp= (Ccr+Chr) / 2 Ccr=Φ crr/(Ccr+Pcr/(3600/9760)), Chr=Φ hr/(Ghr+Phr/(3600/9760)) Ccr: 冷房成績係数 Chr: 暖房成績係数 Φcr: 定格冷房標準能力(kW) Φhr: 定格暖房標準能力(kW) Gcr: 定格冷房標 準消費電力(kW) Pcr: 定格冷房標準消費電力(kW) Phr: 定格暖房標準消費電力(kW) ※COPplは、小数点 3桁目を切捨て、小数点2桁目までを表示する。	JRA4067:201 5または JISB8627:20 06	いずれもガ スヒートポ ンプ冷暖房 機	JRA4067:2015またはJISB8627:2006に準拠。ただ し、電源の周波数は、50Hzとする。	
						7.5HP超10HP以下	● S-004536	1.22										
						10HP超16HP以下	● S-004537	1.33										
						16HP超25HP以下	● S-004538	1.34										
						25HP超	● S-004539	1.3										
						7.5HP以下	- S-004674	-	-	期間成績係 数 (APFp)	標準規格 による評 価	JISB8627:20 15	ガスヒート ポンプ冷暖 房機	JISB8627:2015に準拠	JISB8627:20 15	ガスヒート ポンプ冷暖 房機	JISB8627:2015に準拠	
						7.5HP超10HP以下	● S-004540	1.39										
						10HP超16HP以下	● S-004541	1.86										
						16HP超25HP以下	● S-004542	1.98										
						25HP超	● S-004543	1.91										
					寒冷地仕様	相当馬力数	● S-004544	1.19	-	COPp	標準規格 による評 価	-	-	COPp= (Ccr+Chr) / 2 Ccr=Φ crr/(Ccr+Pcr/(3600/9760)), Chr=Φ hr/(Ghr+Phr/(3600/9760)) Ccr: 冷房成績係数 Chr: 暖房成績係数 Φcr: 定格冷房標準能力(kW) Φhr: 定格暖房標準能力(kW) Gcr: 定格冷房標 準消費電力(kW) Pcr: 定格冷房標準消費電力(kW) Phr: 定格暖房標準消費電力(kW) ※COPplは、小数点 3桁目を切捨て、小数点2桁目までを表示する。	JRA4067:201 5または JISB8627:20 06	いずれもガ スヒートポ ンプ冷暖房 機	JRA4067:2015またはJISB8627:2006に準拠。ただ し、電源の周波数は、50Hzとする。	
						7.5HP超10HP以下	● S-004545	1.22										
						10HP超16HP以下	● S-004546	1.34										
						16HP超25HP以下	● S-004547	1.34										
						25HP超	○ S-004548	1.27										
						7.5HP以下	- S-004781	-	-	期間成績係 数 (APFp)	標準規格 による評 価	JISB8627:20 15	ガスヒート ポンプ冷暖 房機	JISB8627:2015に準拠	JISB8627:20 15	ガスヒート ポンプ冷暖 房機	JISB8627:2015に準拠	
						7.5HP超10HP以下	● S-004549	1.39										
						10HP超16HP以下	○ S-004550	1.86										
						16HP超25HP以下	● S-004551	1.93										
						25HP超	● S-004552	1.85										

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標									
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法		試験条件	説明				
														単位	名称			準拠する規格	規格の名称		
						発電機付	相当馬力数	7.5HP以下	-	S-004784	-	-	COPp	標準規格 による評 価	-	-	COPp = (Ccr + Chr) / 2 Ccr = Φ cr / (Gcr + Pcr / (3600 / 9790)) Chr = Φ cr / (Ghr + Pcr / (3600 / 9790)) Ccr: 定格冷房標準能力(kW) Chr: 定格暖房標準能力(kW) Gcr: 定格冷房標準消費電力(kW) Ghr: 定格暖房標準消費電力(kW) Pcr: 定格冷房標準消費電力(kW) Pcr: 定格暖房標準消費電力(kW) ※COPpは、小数点3桁目を切捨て、小数点2桁目までを表示する。	JRA4067:2015または JISB8627:2006	いずれもガ スヒートボ ンプ冷暖房 機	JRA4067:2015または JISB8627:2006に準拠。ただ し、電源の周波数は、50Hzとする。	
								7.5HP超10HP以下	-	S-004785	-										
								10HP超16HP以下	•	S-004553	1.34										
								16HP超25HP以下	•	S-004554	1.34										
								25HP超	•	S-004555	1.27										
								7.5HP以下	-	S-004787	-	-	期間成績係 数 (APFp)	標準規格 による評 価	JISB8627:2015	ガスヒート ポンプ冷暖 房機	JISB8627:2015に準拠	JISB8627:2015	ガスヒート ポンプ冷暖 房機	JISB8627:2015に準拠	
								7.5HP超10HP以下	-	S-004790	-										
								10HP超16HP以下	•	S-004556	1.86										
								16HP超25HP以下	•	S-004557	1.97										
								25HP超	•	S-004558	1.91										
L-000934	産業・業 務(業種 共通)	空調	空調機 (ヒート ポンプ・ 個別方 式)	パッケージエ アコン(店舗・オ フィス用)	電動圧縮機を用いるヒートポンプ式の空気調和機で、冷房能力が4 ~28kW程度。主に店舗・オフィス向け。	冷房能力		4.0kW以下	○	S-004559	8.1	-	通年エネ ルギー消費 効率 (APF)	標準規格 による評 価	JISB8616:2015	パッケージ エアコン ディショナ	JISB8616:2015に準拠	JISB8616:2015	パッケージ エアコン ディショナ	JISB8616:2015に準拠	
								4.0kW超 5.0kW以下	○	S-004560	7.9										
								5.0kW超 6.3kW以下	○	S-004561	8.1										
								6.3kW超 11.2kW以下	•	S-004562	7.3										
								11.2kW超 16.0kW以下	•	S-004563	6.8										
								16.0kW超	•	S-004564	6.3										
L-000935	産業・業 務(業種 共通)	空調	空調機 (ヒート ポンプ・ 個別方 式)	パッケージエ アコン(設備用)	電動圧縮機を用いるヒートポンプ式の空気調和機で、冷房能力が9 ~140kW程度。主に工場向け。	冷房能力		28kW以下	•	S-004565	4.8	-	通年エネ ルギー消費 効率 (APF)	標準規格 による評 価	JISB8616:2015	パッケージ エアコン ディショナ	JISB8616:2015に準拠	JISB8616:2015	パッケージ エアコン ディショナ	JISB8616:2015に準拠	
								28kW超 45kW以下	•	S-004566	4.2										
								45kW超 56kW以下	•	S-004567	4										
								56kW超 80kW以下	•	S-004568	3.9										
								80kW超 112kW以下	•	S-004569	3.5										

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標									
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				L2-Tech 水準	測定単位		評価方法の タイプ	準拠する規格	規格の名称	計算方法		試験条件	
													単 位	名 称				計算式	準拠する規格	規格の名称	説 明
L-000936	産業・業 務(業種 共通)	空調	空調機 (ヒート ポンプ・ 個別方 式)	パッケージエ アコン(ビル用マ ルチ)	電動圧縮機を用いるヒートポンプ式の空気調和機で、冷房能力が 14～120kW程度。主にビル向け。室内機ごとの個別制御機能を持 つ。		冷房能力	14.0kW以下 14.0kW超 16.0kW以下 16.0kW超 22.4kW以下 22.4kW超 28.0kW以下 28.0kW超 33.5kW以下 33.5kW超 40.0kW以下 40.0kW超 56.0kW以下 56.0kW超 69.0kW以下 69.0kW超 80.0kW以下 80.0kW超 90.0kW以下 90.0kW超	<ul style="list-style-type: none"> • S-004573 • S-004574 • S-004576 • S-004577 • S-004579 • S-004581 • S-004582 • S-004583 • S-004584 • S-004585 • S-004586 	6.8 6.7 6.7 6.4 6.4 6.2 6.5 6.4 6.5 6.4 6.4	-	通年エネ ルギー消費 効率 (APF)	標準規格 による評 価	JISB8616:20 15	パッケージ エアコン ディショナ	JISB8615-2に準拠	JISB8616:20 15	パッケージ エアコン ディショナ	JISB8615-2に準拠。ただし、ユニット吸込温度に ついては55℃とする。		
L-000937	産業・業 務(業種 共通)	空調	空調機 (ヒート ポンプ・ 個別方 式)	水蓄熱式パッ ッケージエア コン	パッケージエアコンの室外ユニットと室内ユニットの間に水蓄熱 槽を持っており、夜間の冷房を使っていない時間帯に、水蓄熱槽 の熱交換器で氷を作り、昼間の冷房運転時には、室外ユニットを 通った冷媒を水蓄熱槽の熱交換器でさらに冷やしてから室内機に 送ることによって利用する。2050年に向けた再生可能エネルギー 発電の最大活用に資することが期待される。		蓄熱利用冷房能力	14.0kW以下 14.0kW超16.0kW以下 16.0kW超22.4kW以下 22.4kW超28.0kW以下 28.0kW超45.0kW以下 45.0kW超56.0kW以下	<ul style="list-style-type: none"> • S-004587 • S-004588 • S-004797 • S-004619 • S-004805 • S-004808 	3.64 - - - -	-	日量蓄熱利 用冷房効率	標準規格 による評 価	JRA4053:200 7	水蓄熱式 パッケージ エアコン ディショナ	JRA4053:2007に準拠	JRA4053:200 7	水蓄熱式 パッケージ エアコン ディショナ	JRA4053:2007に準拠		

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標										
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件					
												単 位	名 称		準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格	規格の名称	説 明		
									S-004812	-	-											
									S-004814	-	-											
									S-004589	•	2.6											
L-000940	産業・業 務(業種 共通)	空調/産 業用プロ セス	熱源・空 調機 (ヒート ポンプ・ 中央方 式)	フロン類等冷 媒ターボ冷凍機	蒸発器、圧縮機、凝集器、弁からなる。蒸発器内の冷媒を蒸発させ蒸発器内のパイプの中の循環水を冷やし、冷水として取り出して使用する機器。蒸発した冷媒は圧縮機で昇圧され、凝集器内の冷却水で凝縮され液体に戻る。HFC冷媒またはHFO冷媒を使用している。	-	冷却能力	200RT未満	• S-004590	6.7 *	-	期間成績係 数 (IPLV)	標準規格 による評 価	JISB8621:20 11	遠心冷凍機	JISB8621:2011に準拠	JISB8621:20 11	遠心冷凍機	JISB8621:2011に準拠			
								200RT以上250RT未満	○ S-005784	9.2 *												
								250RT以上300RT未満	○ S-005785	9.4 *												
								300RT以上350RT未満	○ S-005786	9.4 *												
								350RT以上400RT未満	○ S-005787	9.4 *												
								400RT以上500RT未満	• S-004595	9.6 *												
								500RT以上600RT未満	○ S-004597	9.1 *												
								600RT以上700RT未満	○ S-004599	9.3 *												
								700RT以上1000RT未満	• S-004601	9.9 *												
								1000RT以上1500RT未満	• S-004602	9.29 *												
								1500RT以上	• S-004604	9.29 *												
								200RT未満	• S-004605	6.17 *	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8621:20 11	遠心冷凍機	JISB8621:2011に準拠	JISB8621:20 11	遠心冷凍機	JISB8621:2011に準拠			
								200RT以上250RT未満	○ S-005788	6.34 *												
								250RT以上300RT未満	○ S-005789	6.38 *												
								300RT以上350RT未満	○ S-005790	6.37 *												
								350RT以上400RT未満	○ S-005791	6.07 *												
								400RT以上500RT未満	• S-004613	6.6 *												
								500RT以上600RT未満	• S-004614	6.5 *												
								600RT以上700RT未満	• S-004616	6.29 *												

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標											
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法		試験条件							
														単位	名称	単調する規格	規格の名称	単調する規格	規格の名称	説明			
						700RT以上1000RT未満	• S-004618	6.4 *															
						1000RT以上1500RT未満	• S-005796	6.5 *															
						1500RT以上	• S-004620	6.5 *															
L-000941	産業・業 務(業種 共通)	空調/産業 用プロセス	熱源・空 調機 (ヒート ポンプ・ 中央方 式)	自然冷媒ターボ 冷凍機	蒸発器、圧縮機、凝集器、弁からなる。蒸発器内の冷媒を蒸発させ蒸発器内のパイプの中の循環水を冷やし、冷水として取り出して使用する機器。蒸発した冷媒は圧縮機で昇圧され、凝縮器内の冷却水で凝縮され液体に戻る。従来はHFC冷媒が使用されるケースが多いが、本設備・機器等は自然冷媒である水が使用されている。公共スペース、地下街、及び医療機関での使用が期待されている。	冷却能力	200RT未満	• S-004621	7.36 *	-	期間成績係 数 (IPLV)	標準規格 による評 価	JISB8621:20 11	遠心冷凍機	JISB8621:2011に準拠	JISB8621:20 11	遠心冷凍機	JISB8621:2011に準拠					
						300RT以上400RT未満	- S-004816	-															
L-000942	産業・業 務(業種 共通)	空調/産業 用プロセス	熱源・空 調機 (ヒート ポンプ・ 中央方 式)	水冷ヒートポン プチラー	水を熱源としたヒートポンプ方式の水冷式チリングユニット。	冷却能力	40.0kW以下	• S-004622	4.48	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠					
						40.0kW超80.0kW以下	• S-004623	4.28															
						80.0kW超118.0kW以下	• S-004624	5.41															
						118.0kW超180.0kW以下	• S-004625	5.28															
						180.0kW超500.0kW以下	○ S-004626	5.57															
						500.0kW超1000.0kW以下	• S-004627	6															
						1000.0kW超1500.0kW以下	○ S-004628	5.22															
						ブライン仕様、ブライン入口温度3℃、ブライン出口温度0℃	冷却能力	40.0kW以下	• S-004629	3.28	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただし、ブライン入口温度については3℃、ブライン出口温度については0℃とする。				
						40.0kW超80.0kW以下	• S-004630	2.65															
						80.0kW超118.0kW以下	- S-004815	-															
						118.0kW超180.0kW以下	- S-004819	-															
						180.0kW超500.0kW以下	- S-004973	-															
						500.0kW超1000.0kW以下	- S-004976	-															
						1000.0kW超1500.0kW以下	- S-004977	-															
						ブライン仕様、ブライン入口温度-3℃、ブライン出口温度-7℃	冷却能力	40.0kW以下	• S-004631	2.24	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただし、ブライン入口温度については-3℃、ブライン出口温度については-7℃とする。				
						40.0kW超80.0kW以下	• S-004632	2.61															

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標						
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測 定 単 位	評 価 方 法 の タイプ	計 算 方 法		試 験 条 件		
														単 位	名 称	準拠する規格	規格の名称	単 位
						80.0kW超118.0kW以下	• S-004634	2.54										
						118.0kW超180.0kW以下	• S-004635	2.53										
						180.0kW超500.0kW以下	• S-004637	2.49										
						500.0kW超1000.0kW以下	- S-004978	-										
						1000.0kW超1500.0kW以下	- S-004979	-										
					プライン仕様、プライン入口温度0℃、プライン出口温度-5℃	冷却能力	○ S-005765	2.37	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただし、プライン入口温度については0℃、プライン出口温度については-5℃とする。	
						40.0kW以下	○ S-005766	2.9										
						40.0kW超80.0kW以下	○ S-005766	2.9										
						80.0kW超118.0kW以下	○ S-005767	3.2										
						118.0kW超180.0kW以下	○ S-005768	3.21										
						180.0kW超500.0kW以下	○ S-005769	3.21										
						500.0kW超1000.0kW以下	○ S-005770	2.72										
						1000.0kW超1500.0kW以下	- S-005771	-										
L-000943	産業・業務(業種共通)	空調/産業用プロセス	熱源・空調機(ヒートポンプ・中央方式)	空冷ヒートポンプチラー	空気を熱源としたヒートポンプ方式の空冷式チリングユニット。													
						60.0kW以下	- S-004981	-	-	期間成績係数 (IPLV)	標準規格 による評価	JRA4066:201 4	ウォータチ リングユ ニット	JRA4066:2014に準拠	JRA4066:201 4	ウォータチ リングユ ニット	JRA4066:2014に準拠	
						60.0kW超90.0kW以下	• S-004638	6.4										
						90.0kW超120.0kW以下	• S-004639	6										
						120.0kW超160.0kW以下	• S-004640	5.7										
						160.0kW超	• S-004642	5.3										
						60.0kW以下	○ S-004644	3.85	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	
						60.0kW超90.0kW以下	• S-004645	4.07										
						90.0kW超120.0kW以下	○ S-004647	4										
						120.0kW超160.0kW以下	• S-004649	4										
						160.0kW超	• S-004651	4.3										

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス				L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標								
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)	認定 対象			測定単位	評価方法の タイプ	計算方法		試験条件		説明		
														単位	名称	標準する規格	規格の名称		標準する規格	規格の名称
						出口温度60℃	加熱能力	60.0kW以下	-	S-004986	-	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994または JRA4066:2014	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994または JRA4066:2014に準拠。ただ し、出口温度は60℃とする。
						60.0kW超90.0kW以下		-	S-004989	-										
						90.0kW超120.0kW以下		•	S-004654	2.76										
						120.0kW超160.0kW以下		•	S-004655	2.58										
						160.0kW超		○	S-004656	2.54										
						ブライン仕様、ブライン入 口温度0℃、ブライン出口 温度-5℃	冷却能力	60.0kW以下	-	S-004990	-	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994または JRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994または JRA4066:2014に準拠。ただ し、ブライン入口温度につい ては-5℃とする。
						60.0kW超90.0kW以下		○	S-004659	2.84										
						90.0kW超120.0kW以下		•	S-004661	2.52										
						120.0kW超160.0kW以下		○	S-004663	2.64										
						160.0kW超		○	S-004666	2.79										
						ブライン仕様、ブライン入 口温度0℃、ブライン出口 温度-5℃、散水式	冷却能力	60.0kW以下	-	S-004993	-	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994または JRA4066:2014	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994または JRA4066:2014に準拠。ただ し、ブライン入口温度につい ては0℃、ブライン 出口温度については-5℃とす る。
						60.0kW超90.0kW以下		○	S-004667	2.9										
						90.0kW超120.0kW以下		○	S-004677	2.75										
						120.0kW超160.0kW以下		-	S-004679	-										
						160.0kW超		-	S-004683	-										
						ブライン仕様、ブライン入 口温度-2℃、ブライン出口 温度-5℃	冷却能力	60.0kW以下	•	S-004686	2.78	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994または JRA4066:2014	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994または JRA4066:2014に準拠。ただ し、ブライン入口温度につい ては-2℃、ブライン 出口温度については-5℃とす る。
						60.0kW超90.0kW以下		•	S-004688	2.78										
						90.0kW超120.0kW以下		○	S-004690	2.72										
						120.0kW超160.0kW以下		•	S-004693	2.63										
						160.0kW超		•	S-004696	2.72										
						ブライン仕様、ブライン入 口温度3℃、ブライン出口 温度0℃	冷却能力	60.0kW以下	•	S-004698	2.45	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994または JRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994または JRA4066:2014に準拠。ただ し、ブライン入口温度につい ては3℃、ブライン 出口温度については0℃とす る。
						60.0kW超90.0kW以下		-	S-004701	-										

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標										
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件					
												単 位	名 称		準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格	規格の名称	説 明		
						90.0kW超120.0kW以下	-	S-004702	-													
						120.0kW超160.0kW以下	-	S-004703	-													
						160.0kW超	-	S-004704	-													
					ブライン仕様、ブライン入口温度-3℃、ブライン出口温度+7℃	冷却能力	60.0kW以下	•	S-004706	3.02	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただ し、ブライン入口温度については-3℃、ブライン 出口温度については+7℃とする。			
						60.0kW超90.0kW以下	•	S-004709	2.82													
						90.0kW超120.0kW以下	•	S-004711	2.68													
						120.0kW超160.0kW以下	-	S-004712	-													
						160.0kW超	-	S-004715	-													
					寒冷地仕様	冷却能力	60.0kW以下	-	S-004723	-	-	期間成績係 数(IPLV)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠			
						60.0kW超90.0kW以下	-	S-004737	-													
						90.0kW超120.0kW以下	-	S-004740	-													
						120.0kW超160.0kW以下	-	S-004741	-													
						160.0kW超	-	S-004742	-													
						60.0kW以下	-	S-004746	-	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠				
						60.0kW超90.0kW以下	-	S-004749	-													
						90.0kW超120.0kW以下	-	S-005806	-													
						120.0kW超160.0kW以下	•	S-004755	3.42													
						160.0kW超	-	S-004757	-													
					出口温度60℃ 寒冷地仕様	加熱能力	60.0kW以下	-	S-004758	-	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただ し、出口温度は60℃とする。			
						60.0kW超90.0kW以下	-	S-004759	-													
						90.0kW超120.0kW以下	○	S-004764	2.02													
						120.0kW超160.0kW以下	○	S-004765	2.04													

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標										
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)			認定 対象	測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件				
												単 位	名 称		準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格	規格の名称	説 明	
						160.0kW超	-	S-004766		2											
					寒冷地仕様、散水式	冷却能力	60.0kW以下	-	S-004769	-	-	期間成績係 数 (IPLV)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠		
						60.0kW超90.0kW以下	-	S-004771	-	-											
						90.0kW超120.0kW以下	-	S-004774	-	-											
						120.0kW超160.0kW以下	-	S-004776	-	-											
						160.0kW超	-	S-004778	-	-											
						60.0kW以下	-	S-004779	-	-	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠		
						60.0kW超90.0kW以下	-	S-004824	-	-											
						90.0kW超120.0kW以下	-	S-004825	-	-											
						120.0kW超160.0kW以下	●	S-004826	4.12												
						160.0kW超	-	S-004827	-	-											
					散水式	冷却能力	60.0kW以下	-	S-004828	-	-	期間成績係 数 (IPLV)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠		
						60.0kW超90.0kW以下	●	S-004829	6.6												
						90.0kW超120.0kW以下	●	S-004831	6.4												
						120.0kW超160.0kW以下	●	S-004832	6.1												
						160.0kW超	●	S-004833	6												
						60.0kW以下	○	S-004834	4.86		-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠		
						60.0kW超90.0kW以下	●	S-004835	6.2												
						90.0kW超120.0kW以下	●	S-004836	5.46												
						120.0kW超160.0kW以下	●	S-004837	4.86												
						160.0kW超	○	S-004838	6												
					散水式、冷水出入口温度差 7℃	冷却能力	60.0kW以下	-	S-004839	-	-	期間成績係 数 (IPLV)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただ し、冷水出入口温度差については7℃とする。		

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標										
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)			認定 対象	測定単位		評価方法の タイプ	試験方法		試験条件				
												単 位	名 称		準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格	規格の名称	説 明	
										7											
						60.0kW超 90.0kW以下	●	S-004840													
						90.0kW超 120.0kW以下	●	S-004841		6.7											
						120.0kW超 160.0kW以下	●	S-004842		6.5											
						160.0kW超	●	S-004843		6.3											
						60.0kW以下	○	S-004844		5.04		-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただ し、冷水出入口温度差については7℃とする。	
						60.0kW超 90.0kW以下	●	S-004845		6.39											
						90.0kW超 120.0kW以下	●	S-004846		5.65											
						120.0kW超 160.0kW以下	○	S-004847		5.04											
						160.0kW超	○	S-004848		6.3											
					冷水出入口温度差7℃	冷却能力		S-004849	-	-		-	期間成績係 数(IPLV)	標準規格 による評 価	JRA4066:201 4	ウォータチ リングユ ニット	JRA4066:2014に準拠	JRA4066:201 4	ウォータチ リングユ ニット	JRA4066:2014に準拠 JRA4066:2014に準拠。ただ し、冷水出入口温度差については7℃とする。	
						60.0kW以下	●	S-004850		6											
						90.0kW超 120.0kW以下	●	S-004851		6											
						120.0kW超 160.0kW以下	●	S-004852		5.7											
						160.0kW超	●	S-004853		5.6											
						60.0kW以下	○	S-004854		4		-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JRA4066:2014に準拠 JRA4066:2014に準拠。ただ し、冷水出入口温度差については7℃とする。	
						60.0kW超 90.0kW以下	●	S-004855		4.14											
						90.0kW超 120.0kW以下	●	S-004856		3.86											
						120.0kW超 160.0kW以下	●	S-004857		3.5											
						160.0kW超	●	S-004860		3.31											
					冷房専用	冷却能力		S-004864	-	-		-	期間成績係 数(IPLV)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JRA4066:2014に準拠 JRA4066:2014に準拠。	
						60.0kW以下	●	S-004865		5.7											
						90.0kW超 120.0kW以下	●	S-004866		6											

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標										
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件		説 明			
												単 位	名 称		準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格		規格の名称		
						120.0kW超160.0kW以下	• S-004867	5.7														
						160.0kW超	• S-004868	5.3														
						60.0kW以下	• S-004870	3.67	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JRA4066:2014に準拠	JRA4066:2014に準拠。				
						60.0kW超90.0kW以下	• S-004873	4.07														
						90.0kW超120.0kW以下	• S-004875	3.81														
						120.0kW超160.0kW以下	• S-004878	4														
						160.0kW超	○ S-004885	5.3														
					冷房専用、フライン仕様、 フライン入口温度-2℃、フ ライン出口温度-5℃	冷却能力	60.0kW以下	• S-004886	2.78	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただ し、フライン入口温度については-2℃、フライン 出口温度については-5℃とする。				
						60.0kW超90.0kW以下	• S-004887	2.78														
						90.0kW超120.0kW以下	○ S-004888	2.72														
						120.0kW超160.0kW以下	- S-004889	-														
						160.0kW超	- S-004890	-														
					冷房専用、散水式	冷却能力	60.0kW以下	- S-004891	-	-	期間成績係 数 (IPLV)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。				
						60.0kW超90.0kW以下	• S-004892	6.6														
						90.0kW超120.0kW以下	• S-004893	6.4														
						120.0kW超160.0kW以下	• S-004894	6.1														
						160.0kW超	• S-004895	6														
						60.0kW以下	○ S-004896	4.86	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。					
						60.0kW超90.0kW以下	• S-004897	6.2														
						90.0kW超120.0kW以下	• S-004898	5.46														
						120.0kW超160.0kW以下	• S-004899	4.86														
						160.0kW超	○ S-004900	6														

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス				L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標								
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)	認定 対象			測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件			
												単位	名称		準拠する規格	規格の名称	準拠する規格	規格の名称	説明	
						冷房専用、冷水出入口温度 差7℃	冷却能力	60.0kW以下	-	S-004901	-	-	期間成績係 数 (IPLV)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただ し、冷水出入口温度差については7℃とする。
								60.0kW超90.0kW以下	•	S-004902	6									
								90.0kW超120.0kW以下	•	S-004903	6									
								120.0kW超160.0kW以下	•	S-004904	5.7									
								160.0kW超	•	S-004905	5.6									
								60.0kW以下	○	S-004906	4.01	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただ し、冷水出入口温度差については7℃とする。
								60.0kW超90.0kW以下	•	S-004907	4.14									
								90.0kW超120.0kW以下	•	S-004908	3.86									
								120.0kW超160.0kW以下	•	S-004909	3.5									
								160.0kW超	•	S-004910	3.42									
						冷房専用、冷水出入口温度 差7℃、散水式	冷却能力	60.0kW以下	-	S-004911	-	-	期間成績係 数 (IPLV)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただ し、冷水出入口温度差については7℃とする。
								60.0kW超90.0kW以下	•	S-004912	7									
								90.0kW超120.0kW以下	•	S-004914	6.7									
								120.0kW超160.0kW以下	•	S-004915	6.5									
								160.0kW超	•	S-004922	6.3									
								60.0kW以下	○	S-004924	5.04	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 94または JRA4066:201 4	いずれも ウォータチ リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただ し、冷水出入口温度差については7℃とする。
								60.0kW超90.0kW以下	•	S-004927	6.39									
								90.0kW超120.0kW以下	•	S-004928	5.65									
								120.0kW超160.0kW以下	○	S-004931	5.04									
								160.0kW超	○	S-004934	6.3									
L-000945	産業・業 務（業種 共通）	空調	熱源・空 調機 （ヒート ポンプ・ 中央方 式）・熱 源補機	水蓄熱ユニット	中央方式の空調機における熱源機とは別に水蓄熱槽を持っており、夜間の冷房を使っていない時間帯に、水蓄熱槽の熱交換器で水を作り、昼間の冷房運転時には、室外ユニットを通った冷媒を水蓄熱槽の熱交換器でさらに冷やしてから室内機に送ることによって利用する。2050年に向けた再生可能エネルギー発電の最大活用に資することが期待される。	-	定格日量冷却能力	1000kW h 以下	-	S-004939	-	-	日量成績係 数	標準規格 による評 価	JRA4044:200 5	水蓄熱ユ ニット	JRA4044:2005に準拠	JRA4044:200 5	水蓄熱ユ ニット	JRA4044:2005に準拠

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標													
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件								
												単 位	名 称		準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格	規格の名称	説 明					
										S-004940	-														
										S-004941	-														
										S-004942	-														
										S-004943	-														
										S-004944	-														
L-000947	産業・業 務(業種 共通)	空調	熱源・空 調機(気 化式・中 央方式)	間接気化式冷却 器	間接気化式冷却器は、隔壁で仕切られたDRY流路とWET流路を多 数積層した構造からなる。WET側の隔壁面は水を浸した湿り壁で ある。ここでDRY流路に高温空気をWET流路には低温空気又は常 温空気を流すことで、WET流路で気化熱現象を生じさせ、隔壁の 温度が低下するため隣り合うDRY流路を流れる空気の熱が隔壁に 伝達し絶対湿度の移行がなく冷却される。この冷却に用いるエネ ルギーは搬送動力と気化蒸発に使用する水のみのため、省エネ性 が高く、CO2排出量を削減できる機器である。既に食品工場、生 産工場・ショッピングセンターを中心に導入が進んでおり、今後 データセンター向けに更なる普及が期待される。	冷房能力	14.0kW以下	• S-004959	34.4 *	-	成績係数 (COP)	シミュ レーショ ンによる 評価	JRA4066:201 4	ウォータチ リングユ ニット	JRA4066:2014に準拠	JRA4066:201 4及び JISB8615-2: 2015	ウォータチ リングユ ニット及び エアコン ディショナ 第2:ダクト 接続型エア コンディ ションと空 気対空 気ヒートポン プ 定格性能 及び運転性 能試験	JRA4066:2014及びJISB8615-2: 2015に準拠							
							14.0kW超16.0kW以下	• S-004962	34.5 *																
							16.0kW超22.4kW以下	• S-004964	34.8 *																
							22.4kW超28.0kW以下	• S-005797	34.9 *																
							28.0kW超33.5kW以下	• S-004996	34.9 *																
							33.5kW超40.0kW以下	• S-004997	35 *																
							40.0kW超60.0kW以下	• S-004998	35.2 *																
							60.0kW超80.0kW以下	• S-004999	35 *																
							80.0kW超100.0kW以下	• S-005000	35.1 *																
							100.0kW超120.0kW以下	• S-005001	35.2 *																
							120.0kW超140.0kW以下	• S-005002	35.1 *																
							140.0kW超160.0kW以下	• S-005003	35.1 *																
							160.0kW超200.0kW以下	• S-005004	35.1 *																
							200.0kW超240.0kW以下	• S-005005	35.1 *																
							240.0kW超280.0kW以下	• S-005006	35.1 *																

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標							
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法		試験条件			
														単位	名称	標準する規格	規格の名称	標準する規格	規格の名称
						分流量型	冷却能力	14.0kW以下	• S-005007	11.1 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	JRA4066:201 4およびJIS B 8615-2	ウォータチ リングユ ニットおよ びエアコン ディショナ	標準条件による評価	JRA4066:201 4およびJIS B 8615-2	ウォータチ リングユ ニットおよ びエアコン ディショナ	日本冷凍空調工業会、又は日本規格協会の指定の規格によって試験および効率の計算を行う。ただし、本設備は水膨張としながらもヒートポンプがないため、一部抜粋での試験条件とし、新たな試験項目は追加する。【空気条件】JIS B 8615-2 PB 表2-冷房能力試験条件より、気候の温帯な地域に対する温度条件(T1)の場合とする【試験条件】COP算出=冷却能力÷定格消費電力とする 冷却能力=D R Y 制空気の質量流出と出入口比エンタルピー差の積
								14.0kW超16.0kW以下	• S-005008	11 *									
								16.0kW超22.4kW以下	• S-005009	11 *									
								22.4kW超28.0kW以下	• S-005010	11.1 *									
								28.0kW超33.5kW以下	• S-005011	11 *									
								33.5kW超40.0kW以下	• S-005012	11 *									
								40.0kW超60.0kW以下	• S-005013	11 *									
								60.0kW超80.0kW以下	• S-005014	11 *									
								80.0kW超100.0kW以下	• S-005015	11 *									
								100.0kW超120.0kW以下	• S-005016	11 *									
								120.0kW超140.0kW以下	• S-005017	11 *									
								140.0kW超160.0kW以下	• S-005018	11 *									
								160.0kW超200.0kW以下	• S-005019	11 *									

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標									
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件				
												単位	名称		準拠する規格	規格の名称	準拠する規格	規格の名称	説明		
L-000948	産業・業 務(業種 共通)	空調/産 業用プロセ ス	熱源・空 調機(吸 収式・中 央方式)	吸収冷水機 (二重効用)	吸収力の高い液体に冷媒を吸収させることにより生じる低圧を利用 して水を気化させ、気化熱から生じる低温を得る冷凍機であり、 高温、低温再生器を有するもの。	節電型(冷却水量原単位 0.7m ³ /h、RT以下)、冷水入 口温度15℃、冷水出口温度 7℃	冷房能力	80RT以下	○	S-005020	1.48	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8622:20 09または JISB8622:20 16	吸収式冷凍 機	JISB8622:2009またはJISB8622:2016に準拠	JISB8622:20 09または JISB8622:20 16	吸収式冷凍 機	JISB8622:2009またはJISB8622:2016に準拠	
								80RT超1000RT以下	●	S-005021	1.48	-	-	-	-	-	-	-			
								1000RT超	○	S-005022	1.41	-	-	-	-	-	-	-			
L-000949	産業・業 務(業種 共通)	空調/産 業用プロセ ス	熱源・空 調機(吸 収式・中 央方式)	吸収冷水機 (三重効用) / 廢熱投入型吸収 冷水機(三重 効用)	吸収力の高い液体に冷媒を吸収させることにより生じる低圧を利用 して水を気化させ、気化熱から生じる低温を得る冷凍機であり、 高温、中温、低温再生器を有するもの。	冷水入口温度12℃、冷水出 口温度7℃	-	80RT以下	○	S-005026	1.74	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8622:20 09または JISB8622:20 16	吸収式冷凍 機	JISB8622:2009またはJISB8622:2016に準拠	JISB8622:20 09または JISB8622:20 16	吸収式冷凍 機	JISB8622:2009またはJISB8622:2016に準拠	
								80RT超1000RT以下	●	S-005024	1.48	-	-	-	-	-	-				
								1000RT超	○	S-005025	1.46	-	-	-	-	-	-				
L-000950	産業・業 務(業種 共通)	空調/産 業用プロセ ス	熱源・空 調機(吸 収式・中 央方式)	一重二重併用形 吸収冷水機	吸収力の高い液体に冷媒を吸収させることにより生じる低圧を利用 して水を気化させ、気化熱から生じる低温を得る冷凍機であり、 排熱を熱源として利用し、燃料削減率が20%以上のもの。	節電型(冷却水量原単位 0.7m ³ /h、RT以下)、冷水入 口温度15℃、冷水出口温度 7℃	冷房能力	80RT以下	○	S-005027	1.47	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8622:20 09または JISB8622:20 16	吸収式冷凍 機	JISB8622:2009またはJISB8622:2016に準拠	JISB8622:20 09または JISB8622:20 16	吸収式冷凍 機	JISB8622:2009またはJISB8622:2016に準拠	
								80RT超1000RT以下	●	S-005028	1.47	-	-	-	-	-	-				
								1000RT超	-	S-005029	-	-	-	-	-	-	-				
L-000951	産業・業 務(業種 共通)	空調	熱源・空 調機(吸 収式・中 央方式)	木質ペレット直 焚き吸収冷水機 (二重効用)	吸収力の高い液体に冷媒を吸収させることにより生じる低圧を利用 して水を気化させ、気化熱から生じる低温を得る冷凍機であり、 高温、低温再生器を有するもの内、加熱源の燃料に木質ペ レットを使用するもの。中央方式を採用する業務施設の冷暖房に 使用される。	-	冷房能力	80RT以下	○	S-005033	1.04	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JIS B 8622 : 2009	吸収式冷凍 機	JIS B 8622 : 2009に準拠、ただし、成績係数は冷 凍能力を加熱源消費熱量で除したものとし、消費 電力は除外することとする。	JIS B 8622 : 2009	吸収式冷凍 機	JIS B 8622 : 2009に準拠	
								80RT超1000RT以下	-	S-005034	-	-	-	-	-	-	-				
								1000RT超	-	S-005035	-	-	-	-	-	-	-				

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標							
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件		
												単位	名称		単調する規格	規格の名称	単調する規格	規格の名称	
L-000955	産業・業 務(業種 共通)	空調	熱源・空 調機(地 中熱利 用・中央 方式)	パッシブ地中熱 利用システム	熱交換パイプ、制御盤、ポンプ、ファンからなる。地下水又は温 水をスライラル状に通水できるパイプを地下2mに埋設し送風をす ることで、空気と地中熱・水の熱と熱交換を行い送風、冷風を送 風する機器。一般的には通風部のみあるクールチューブやアース チューブなどと呼ばれる空調機が存在する。こういったシステム と比べて、水が持つ熱との熱交換が知わたことで、熱交換量が 飛躍的に増え、大空間の空調を行えるようになった。	6.4kW	-	S-005036	-	-	成績係数 (COP)	シミュ レーショ ンによる 評価	-	-	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定 格消費エネルギー[W]	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、入気温度、 吹き出し温度、給水温度、戻り水温度について は、以下の通り設定することを条件とする。入気 温度35℃、吹き出し温度27℃、給水温度:15℃、 戻り水温度:15℃		
						8.2kW	-	S-005037	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
						10.9kW	○	S-005038	15.57 *	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
						12.8kW	-	S-005039	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
						21.9kW	-	S-005040	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
						29.2kW	-	S-005041	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
36.5kW	-	S-005042	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
L-000956	産業・業 務(業種 共通)	空調/産 業用プロセ ス	熱源・空 調機(吸 着式・中 央方式)	吸着式冷凍機	吸着器内部に充填された吸着剤に冷媒を吸着させ、冷媒の蒸発を 促し、その気化熱から冷凍効果を得る冷凍機。	熱源入口温度58℃	-	S-005043	15.2 *	-	電力COP	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定 格消費エネルギー[W]注:上記のCOPは電力COP である	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、冷水出口温 度、冷却水入口温度、熱源入口温度をそれぞれ 次のとおり設定することを条件とする。冷水出口 温度:15℃、冷却水入口温度:27℃、熱源入口温 度:58℃注:上記のCOPは電力COPである		
						熱源入口温度:68℃	冷却能力	2.5kW以上25kW未満	●	S-005044	25.7 *	-	電力COP	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費エネルギー[W]注:上記のCOPは電力COPであ る	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、冷水出口温 度、冷却水入口温度、熱源入口温度をそれぞれ 以下のとおり設定することを条件とする。冷水出 口温度:15℃冷却水入口温度:27℃熱源入口温 度:68℃注:上記のCOPは電力COPである
								25kW以上50kW未満	○	S-005045	25 *	-	-	-	-	-	-	-	-
								50kW以上	●	S-005046	26.1 *	-	-	-	-	-	-	-	-
L-000957	産業・業 務(業種 共通)	給湯/産 業用プロセ ス	熱源 (ヒート ポンプ)	高温水ヒートポ ンプ(空気熱源・ 循環式)	空気を熱源とし、循環式の供給方式が可能なヒートポンプ方式 で、水等の2次媒体を加熱する熱源・空調機。貯湯ユニットを含ま ないもの。	温水出口温度65℃以上70℃ 以下、乾球温度16℃、湿球 温度12℃、温水出入口温度 差5℃	-	S-005047	3.09 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定 格消費電力[W]	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、乾球温度、湿球温度、温水出入口温度差を次 のとおりに設定することを条件とする。温水出 口温度:65℃以上70℃以下、乾球温度:16℃、湿球温 度:12℃、温水出入口温度差:5℃		
						温水出口温度65℃以上70℃ 以下、乾球温度25℃、湿球 温度21℃、温水出入口温度 差10℃	-	S-005048	3.63 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定 格消費電力[W]	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、乾球温度、湿球温度、温水出入口温度差を以 下のとおりに設定することを条件とする。温水出 口温度:65℃以上70℃以下、乾球温度:25℃、湿球 温度:21℃、温水出入口温度差:10℃		
						温水出口温度65℃以上70℃ 以下、乾球温度25℃、湿球 温度21℃、温水出入口温度 差5℃	-	S-005049	3.3 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定 格消費電力[W]	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、乾球温度、湿球温度、温水出入口温度差を以 下のとおりに設定することを条件とする。温水出 口温度:65℃以上70℃以下、乾球温度:25℃、湿球 温度:21℃、温水出入口温度差:5℃		
						温水出口温度60℃、乾球温 度16℃、温水出入口温度差 5℃	-	S-005764	3.07	○	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定 格消費電力[W]	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、乾球温度、温水出入口温度差を以下のとおり 設定することを条件とする。温水出口温度 60℃、乾球温度16℃、温水出入口温度差5℃		

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標																
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法		試験条件		説明										
														単位	名称	準拠する規格	規格の名称		計算式	準拠する規格	規格の名称							
L-000958	産業・業 務(業種 共通)	給湯/産 業用プロセ ス	熱源 (ヒート ポンプ)	高温水ヒートポ ンプ(空気熱源・ 一過式)	空気を熱源とし、一過式の供給方式が可能なヒートポンプ方式 で、水等の2次媒体を加熱する熱源・空調機。貯湯ユニットを含ま ないもの。	-	-	-	● S-005055	4.2 *	-	年間標準貯 湯加熱エネ ルギー消費 効率	標準規格 による評 価	JRA4060:201 4	業務用ヒー トポンプ給 湯機	JRA4060:2014に準拠	JRA4060:201 4	業務用ヒー トポンプ給 湯機	JRA4060:2014に準拠									
L-000959	産業・業 務(業種 共通)	産業用プ ロセス	熱源 (ヒート ポンプ)	高温水ヒートポ ンプ(水熱源・循 環式)	水を熱源とし、遠心式、または回転式圧縮機を使用して、循環式 の供給方式が可能なヒートポンプ方式で、水等の2次媒体を加熱す る熱源・空調機。貯湯ユニットを含まないもの。	加熱能力	270kW以下	● S-005057	3.4 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：65℃ 熱源水入口温度：17℃ 熱源水出口温度：7℃ 温水出入口温度差：10℃								
								-	S-005065	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
								● S-005068	3.2 *	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
								-	S-005077	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
								● S-005084	4.3 *	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
								-	S-005086	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
								● S-005091	4.4 *	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
								-	S-005100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
								● S-005109	3.6 *	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
								-	S-005110	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
								● S-005112	3.7 *	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
								-	S-005117	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
● S-005124	4.2 *	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-								
-	S-005133	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-								
-	S-005141	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-								

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標												
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法		試験条件								
														単位	名称	単調する規格	規格の名称	計算式	単調する規格	規格の名称	説明			
						540kW超	• S-005146	4.8 *																
						温水出口温度65℃、熱源水 入口温度38℃以上40℃以下、 熱源水出口温度35℃、 温水出入口温度差5℃	加熱能力	270kW以下	• S-005156	5.1 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-						成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：65℃ 熱源水入口温度：38℃ 以上40℃以下 熱源水出口温度：35℃ 温水出入口 温度差：5℃
						270kW超350kW以下	- S-005159	-																
						350kW超540kW以下	- S-005164	-																
						540kW超	- S-005185	-																
						温水出口温度65℃、熱源水 入口温度40℃、熱源水出口 温度30℃、温水出入口温度 差10℃	加熱能力	270kW以下	• S-005186	4.9 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-						成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：65℃ 熱源水入口温度：40℃ 熱源水出口温度：30℃ 温水出入口温度差：10℃
						270kW超350kW以下	- S-005187	-																
						350kW超540kW以下	- S-005197	-																
						540kW超	• S-005203	5.8 *																
						温水出口温度75℃、熱源水 入口温度20℃、熱源水出口 温度15℃以上17℃以下、温 水出入口温度差5℃	加熱能力	270kW以下	• S-005208	3.1 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-						成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：75℃ 熱源水入口温度：20℃ 熱源水出口温度：15℃以上17℃以下 温水出入口 温度差：5℃
						270kW超350kW以下	- S-005259	-																
						350kW超540kW以下	- S-005262	-																
						540kW超	- S-005263	-																
						温水出口温度75℃、熱源水 入口温度30℃、熱源水出口 温度20℃、温水出入口温度 差10℃	加熱能力	270kW以下	• S-005265	3.7 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-						成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：75℃ 熱源水入口温度：30℃ 熱源水出口温度：20℃ 温水出入口温度差：10℃
						270kW超350kW以下	- S-005268	-																
						350kW超540kW以下	- S-005270	-																
						540kW超	- S-005273	-																

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標							
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法		試験条件		説明	
														単位	名称	準拠する規格	規格の名称		準拠する規格
					温水出口温度75℃、熱源水 入口温度30℃、熱源水出口 温度25℃以上27℃以下、温 水出入口温度差5℃	加熱能力	270kW以下	● S-005276	3.7 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：75℃ 熱源水入口温度：30℃ 熱源水出口温度：25℃以上27℃以下 温水出入口 温度差：5℃	
							270kW超350kW以下	- S-005278	-										
							350kW超540kW以下	- S-005283	-										
							540kW超	- S-005285	-										
					温水出口温度75℃、熱源水 入口温度35℃以上40℃出 下、熱源水出口温度30℃、 温水出入口温度差10℃	加熱能力	270kW以下	○ S-005287	3.9 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：75℃ 熱源水入口温度：35℃ 以上40℃以下 熱源水出口温度：30℃ 温水出入口 温度差：10℃	
							270kW超350kW以下	● S-005290	4.3 *										
							350kW超540kW以下	- S-005293	-										
							540kW超	- S-005295	-										
					温水出口温度75℃、熱源水 入口温度40℃、熱源水出口 温度35℃、温水出入口温度 差5℃	加熱能力	270kW以下	● S-005299	4.44 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：75℃ 熱源水入口温度：40℃ 熱源水出口温度：35℃ 温水出入口温度差：5℃	
							270kW超350kW以下	- S-005305	-										
							350kW超540kW以下	- S-005308	-										
							540kW超	- S-005311	-										
					温水出口温度90℃、熱源水 入口温度17℃、熱源水出口 温度7℃、温水出入口温度 差10℃	加熱能力	270kW以下	- S-005315	-	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：90℃ 熱源水入口温度：17℃ 熱源水出口温度：7℃ 温水出入口温度差：10℃	
							270kW超350kW以下	● S-005329	2.75 *										
							350kW超540kW以下	- S-005332	-										
							540kW超	- S-005335	-										
					温水出口温度90℃、熱源水 入口温度30℃、熱源水出口 温度25℃、温水出入口温度 差5℃	加熱能力	270kW以下	- S-005338	-	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：90℃ 熱源水入口温度：30℃ 熱源水出口温度：25℃ 温水出入口温度差：5℃	
							270kW超350kW以下	● S-005351	3.1 *										
							350kW超540kW以下	- S-005354	-										

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス				L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標												
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)	認定 対象			測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件							
												単位	名称		準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格	規格の名称	説明				
						540kW超	-	S-005359	-															
					温水出口温度90℃、熱源水 入口温度40℃、熱源水出口 温度30℃、温水出入口温度 差10℃	加熱能力	270kW以下	-	S-005361	3 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-					成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：90℃ 熱源水入口温度：40℃ 熱源水出口温度：30℃ 温水出入口温度差：10℃	
						270kW超350kW以下	-	S-005366	-															
						350kW超540kW以下	-	S-005371	3.5 *															
						540kW超	-	S-005373	-															
					温水出口温度90℃、熱源水 入口温度40℃、熱源水出口 温度30℃、温水出入口温度 差5℃	加熱能力	270kW以下	-	S-005376	-	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-					成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：90℃ 熱源水入口温度：40℃ 熱源水出口温度：30℃ 温水出入口温度差：5℃	
						270kW超350kW以下	-	S-005379	-															
						350kW超540kW以下	-	S-005381	-															
						540kW超	-	S-005384	-															
					温水出口温度45℃、熱源水 入口温度25℃、熱源水出口 温度12.5℃、温水出入口温 度差5℃	加熱能力	270kW以下	o	S-005772	4.81 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-					成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：45℃ 熱源水入口温度：25℃ 熱源水出口温度：12.5℃ 温水出入口温度差：5℃	
						270kW超350kW以下	-	S-005773	-															
						350kW超540kW以下	-	S-005774	-															
						540kW超	-	S-005775	-															
					温水出口温度45℃、熱源水 入口温度0℃、熱源水出口 温度-3℃、温水出入口温度 差5℃	加熱能力	270kW以下	o	S-005776	3.06 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-					成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：45℃ 熱源水入口温度：0℃ 熱源水出口温度：-3℃ 温水出入口温度差：5℃	
						270kW超350kW以下	-	S-005777	-															
						350kW超540kW以下	-	S-005778	-															
						540kW超	-	S-005779	-															
L-000960	産業・業 務(業種 共通)	産業用ブ ロセス	熱源 (ヒート ポンプ)	高温水ヒートポ ンプ(水熱源・一 過式)	水を熱源とし、一過式の供給方式が可能なヒートポンプ方式で、 水等の2次媒体を加熱する熱源・空調機、貯湯ユニットを含まない もの。	-	-	-	S-005395	4.3 *	-	年間標準貯 湯加熱エネ ルギー消費 効率	標準規格 による評 価	JRA4060:20 14	業務用ヒー トポンプ給 湯機	JRA4060:2014に準拠	JRA4060:20 14	業務用ヒー トポンプ給 湯機	JRA4060:2014に準拠					JRA4060:2014に準拠

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス		認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標											
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)				クラス能力(単位)	測定単位		評価方法の タイプ	準拠する規格	規格の名称	計算法		試験条件		説明	
												単位	名称				計算式	準拠する規格	規格の名称			
											-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	-	-	-	$COP = \Phi / P$ COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：70℃ 熱源水入口温度：50℃ 熱源水出口温度：38.6℃ 温水出入口温度差：50℃
											-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	-	-	-	$COP = \Phi / P$ COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：70℃、熱源水入口温度： 35℃、熱源水出口温度：25℃、温水出入口温度 差：50℃
											-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	-	-	-	$COP = \Phi / P$ COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：60℃、熱源水入口温度： 25℃、熱源水出口温度：15℃、温水出入口温度 差：40℃
L-000961	産業・業 務（業種 共通）	産業用プ ロセス	熱源 （ヒート ポンプ）	高温水ヒートポ ンプ(水空熱源・循環式)	空気、または水は熱源とでき、循環式の供給方式が可能なヒート ポンプ方式で、水等の2次媒体を加熱する熱源・空調機。貯湯ユ ニットを含まないもの。				S-005400	3.2 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	-	-	-	$COP = \Phi / P$ COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、乾球温度、湿球温度、温水出入口温度差を以 下のとおり設定することを条件とする。温水出 口温度：65℃ 乾球温度：25℃ 湿球温度：21℃ 温 水出入口温度差：5℃
											-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	-	-	-	$COP = \Phi / P$ COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を次のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：65℃、熱源水入口温度：20℃ 以下、熱源水出口温度：15℃以下、温水出入口温 度差：5℃
											-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	-	-	-	$COP = \Phi / P$ COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：75℃ 熱源水入口温度：17℃ 熱源水出口温度：7℃ 温水出入口温度差 10℃
L-000962	産業・業 務（業種 共通）	産業用プ ロセス	熱源 （ヒート ポンプ）	高温水ヒートポ ンプ(水空熱源・一過式)	空気、または水は熱源とでき、一過式の供給方式が可能なヒート ポンプ方式で、水等の2次媒体を加熱する熱源・空調機。貯湯ユ ニットを含まないもの。				S-005584	4.2 *	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JRA4060:2014	JRA4060:2014	業務用ヒート ポンプ給湯機	JRA4060:2014に準拠	-	$COP = \Phi / P$ COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：65℃ 乾球温度：25℃ 湿球温度：21℃ 温 水出入口温度差：5℃
											-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JRA4060:2014	JRA4060:2014	業務用ヒート ポンプ給湯機	JRA4060:2014に準拠	-	$COP = \Phi / P$ COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：75℃ 熱源水入口温度：17℃ 熱源水出口温度：7℃ 温水出入口温度差：10℃
L-000963	産業・業 務（業種 共通）	産業用プ ロセス	熱源 （ヒート ポンプ）	熱風ヒートポン プ(空気熱源・一過式)	空気を熱源とし、一過式の供給方式を用いるヒートポンプ方式 で、高温の熱風を発生させる装置				S-005590	3.5	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	-	-	-	$COP = \Phi / P$ COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数 (COP) の算出にあたっては、空気入口 温度、熱風供給温度、外気温度(乾球温度/湿球 温度)を次のとおり、設定することを条件とす る。空気入口温度：20℃、熱風供給温度：80℃、 外気温度(乾球温度/湿球温度) 25℃/21℃とす る。
L-000964	産業・業 務（業種 共通）	産業用プ ロセス	熱源 （ヒート ポンプ）	熱風ヒートポン プ(水熱源・一過/循環式)	水を熱源とし、一過/循環式の供給方式を用いるヒートポンプ方式 で、高温の熱風を発生させる熱源装置。	一過式			S-005596	3.7	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	-	-	-	$COP = \Phi / P$ COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、空気入口温 度、熱風供給温度、熱源水入口温度、熱源水出口 温度を次のとおり設定することを条件とする。空 気入口温度：20℃、熱風供給温度：100℃、熱源 水入口温度：30℃、熱源水出口温度：25℃
						循環式			S-005792	3.5	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	-	-	-	$COP = \Phi / P$ COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、空気入口温 度、熱風供給温度、熱源水入口温度、熱源水出口 温度を次のとおり設定することを条件とする。空 気入口温度：50℃、熱風供給温度：100℃、熱源水 入口温度：30℃、熱源水出口温度：25℃
											-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	-	-	-	$COP = \Phi / P$ COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度：70℃ 熱源水入口温度：50℃ 熱源水出口温度：38.6℃ 温水出入口温度差：50℃
L-000965	産業・業 務（業種 共通）	産業用プ ロセス	熱源 （ヒート ポンプ）	蒸気発生ヒート ポンプ(水熱源・一過式)	水を熱源とし、一過式の供給方式を用いるヒートポンプ方式で、 蒸気を発生させる熱源装置。				S-005605	3.53 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	-	-	-	$COP = \Phi / P$ COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、蒸気圧力、 熱源水入口温度、熱源水出口温度を次のとおり設 定することを条件とする。蒸気圧力：0.1MPaG、 熱源水入口温度：65℃、熱源水出口温度：60℃
											-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	-	-	-	$COP = \Phi / P$ COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、蒸気圧力、 熱源水入口温度、熱源水出口温度を以下のとおり 設定することを条件とする。蒸気圧力： 0.1MPaG 熱源水入口温度：80℃ 熱源水出口温度 ：70℃

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標									
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法		試験条件		説明			
														単位	名称	準拠する規格	規格の名称		準拠する規格	規格の名称	
											2.46 *		-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、蒸気圧力、 熱源水入口温度、熱源水出口温度を以下のとおり 設定することを条件とする。蒸気圧力 0.6MPaG 熱源水入口温度：70℃ 熱源水出口温 度：65℃
L-000966	産業・業 務(業種 共通)	産業用プ ロセス	熱源 (ヒート ポンプ)	蒸気再圧縮装置	産業プロセス等で利用された排熱を回収し、循環式の供給方式を 用いるヒートポンプ。低圧の蒸気を圧縮して再利用することで、 ボイラ等の蒸気を利用する設備・機器等の省エネを実現可能。				○	S-005610	2.46 *		-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、蒸気圧力、 熱源水入口温度、熱源水出口温度を以下のとおり 設定することを条件とする。蒸気圧力 0.6MPaG 熱源水入口温度：70℃ 熱源水出口温 度：65℃
									●	S-005613	0.067 *	kWh/kg	-	消費電力量	標準条件 による評 価	-	-	消費電力量=システム消費電力[kW]/吐出蒸気量 [kg/h]	-	-	消費電力量の算出にあたっては、吐出圧力、吐出 蒸気量、給水温度を次のとおり設定することを条 件とする。吐出圧力：0.1MPaG以上0.2MPaG以 下、吐出蒸気量：1.0ton/h以上2.0ton/h以下、給水 温度80℃
									●	S-005616	0.064 *	kWh/kg	-	消費電力量	標準条件 による評 価	-	-	消費電力量=システム消費電力[kW]/吐出蒸気量 [kg/h]	-	-	消費電力量の算出にあたっては、吐出圧力、吐出 蒸気量、給水温度を以下のとおり設定することを 条件とする。吐出圧力：0.1MPaG以上0.3MPaG 以下 吐出蒸気量：3.0ton/h以上 給水温度：80℃
									●	S-005618	0.085 *	kWh/kg	-	消費電力量	標準条件 による評 価	-	-	消費電力量=システム消費電力[kW]/吐出蒸気量 [kg/h]	-	-	消費電力量の算出にあたっては、吐出圧力、吐出 蒸気量、給水温度を以下のとおり設定することを 条件とする。吐出圧力：0.4MPaG以上 吐出蒸気 量：1.0ton/h以上1.5ton/h以下 給水温度：80℃
L-000968	産業・業 務(業種 共通)	空調	空調機 (ベレッ トストー ブ)	密閉式ベレッ トストーブ	木質ベレットを燃料とする燃焼機器。木質ベレットを燃焼させた 熱を熱交換器により室内の空気に伝え、送風ファンにより部屋の 隅々まで温風を行き渡らせる。燃焼させた空気は煙突から排気さ せるため、室内の空気と交わることはなく、清潔な環境を保つこ うができる。木質ベレットは、カーボンニュートラルであるた め、CO2の排出削減が可能。				●	S-005621	77 *	%	熱効率	標準条件 による評 価	JHIAN- 5601:2004	木質バイオ マス燃焼機 器の試験方 法通則	η=100-(qa+qb+qr)；η：熱効率[%]、qa：試 験燃料中の発熱量当たり排気ガス中の熱損失 (Qa) の比、熱による熱損失の割合(燃焼基 準) [%]、qb：試験燃料の熱容量当たり排気ガ ス中の化学的熱損失(O ₂)、の潜熱による熱損失 の割合(燃焼基準) [%]、qr：試験燃料の熱容量 当たり底部格子を通過し残渣物中に残った可燃性 構成物質による熱損失(Q _r)の残渣物中の可燃性 構成、物質による損失の割合(燃焼基準) [%]※ 発熱量は高位発熱量とする	JHIAN- 5601:2004	木質バイオ マス燃焼機 器の試験方 法通則	JHIAN-5601:2004に準拠。試験実施にあたって は、ISO17025に準拠した試験機関による性能評 価を行うこととする。	
L-000969	産業・業 務(業種 共通)	空調	空調フィル タ	空調用ハイブ リッドフィル タ	空調機に設置する中性能フィルタを従来のプレ+中性能から低圧換 洗浄再生中性能フィルタとすることにより、送風機の運転特性を 低下させ、インバータ装置による回転制御方式を駆使すること により、電動機の軸動力を低減させる技術	定格風量	28m3/min	○	S-005760	0.25 *		kW	空調機ファン 動力	シミュ レーション による 評価	-	-	W=a×Q・ΔP+b×(r/r0) ^d +c、W：ファン動力 [kW]、Q・ΔP：風量×フィルタ圧損 [m3Pa/s]、r：ファン回転数 [rpm]、r0：定格 回転数 [rpm]、a：-0.000222、b：3.296、c： 0.238、d：2.8	-	-	空調方式、変風量方式、設計風量：103m3/min (1.72m3/s)、初期圧損：100Pa、最終圧損： 255Pa、平均圧損：185Pa、その他：フィルタ2枚 使用、突起抵抗は風量比の1:1乗に比例するものし て補正、フィルタ圧損以外の管路抵抗は一定、管 路抵抗は風量の2乗に比例、空気負荷率は100%、 風量の発生率1%、75%風量の発生率42%、60% 風量の発生率57%	
							56m3/min	○	S-005761	0.5 *											
L-000970	産業・業 務(業種 共通)	給湯	給湯器 (ヒート ポンプ)	ヒートポンプ給 湯機(空気熱源)	空気を熱源とするヒートポンプ方式の給湯機。貯湯ユニットを含 むもの。	加熱能力	10kW以下	●	S-005637	4.2		-	年間標準貯 湯加熱エネル ギー消費効 率	標準規格 による評 価	JRA4060:20 14	業務用ヒー トポンプ給 湯機	JRA4060:2014に準拠	JRA4060:20 14	業務用ヒー トポンプ給 湯機	JRA4060:2014に準拠	
							10kW超20kW以下	●	S-005627	4.2											
							20kW超30kW以下	●	S-005630	3.9											
							30kW超40kW以下	●	S-005631	3.8											
							40kW超50kW以下	○	S-005633	3.8											
							50kW超	●	S-005641	3.8											
						寒冷地仕様	加熱能力	10kW以下	●	S-005643	3.5		-	寒冷地年間 標準貯湯加 熱エネルギ ー消費効 率	標準規格 による評 価	JRA4060:20 14	業務用ヒー トポンプ給 湯機	JRA4060:2014に準拠	JRA4060:20 14	業務用ヒー トポンプ給 湯機	JRA4060:2014に準拠
							10kW超20kW以下	●	S-005647	3.5											

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標								
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算法		試験条件				
														単位数	名称	単位の規格	規格の名称	単位の規格	規格の名称	説明
						20kW超30kW以下	● S-005650	3.5												
						30kW超40kW以下	● S-004753	3.4												
						40kW超50kW以下	○ S-005668	3.3												
						50kW超	● S-005673	3.3												
L-000972	産業・業務 (業種 共通)	給湯	給湯器 (ガス 式)	潜熱回収型給湯 器	バーナによって加熱した高温の空気により配管内の水を温める機 器。潜熱回収型は、従来捨てられていた燃焼排熱を潜熱回収す る。	-	-	-	● S-005681	95	%	熱効率	標準規格 による評 価	JISS2109:20 10R	家庭用ガス 温水機器	JISS2109:2010Rに準拠	JISS2109:20 10R	家庭用ガス 温水機器	JISS2109:2010Rに準拠	
L-000973	産業・業 務(業種 共通)	給湯	ボイラ	温水機	燃焼室、伝熱面、熱交換器からなる。燃焼によって温められた熱 媒水と給水管の水とを熱交換させ、その温水を取り出して利用す る。熱媒水を真空状態に密閉した状態で沸騰させる真空式と、熱 媒水を大気に開放した状態で温める無圧式が存在する。	-	出力	1000kW未満	● S-005684	96	%	ボイラ効率	標準規格 による評 価	JISB8222- 1993、 JISB8417:20 00、または JISB8418:20 00(あるい は、HA- 008:2015ま たはHA- 010:2015)	随用ボイ ラー熱動 方式、真空 式温水発生 機、または 無圧式温水 発生機(あ るいは、真 空式温水発 生機または 無圧式温水 発生機)	JISB8222-1993、JISB8417:2000、または JISB8418:2000に準拠(あるいは、HA-008:2015ま たはHA-010:2015に準拠)	JISB8222- 1993、 JISB8417:20 00、または JISB8418:20 00(あるい は、HA- 008:2015ま たはHA- 010:2015)	随用ボイ ラー熱動 方式、真空 式温水発生 機、または 無圧式温水 発生機(あ るいは、真 空式温水発 生機または 無圧式温水 発生機)	JISB8222-1993、JISB8417:2000、または JISB8418:2000に準拠(あるいは、HA-008:2015ま たはHA-010:2015に準拠)	
						1000kW以上2000kW未満	● S-005685	91												
						2000kW以上	● S-005686	91												
				潜熱回収型、LPG焚き	出力	1000kW未満	● S-005699	103	%	ボイラ効率	標準規格 による評 価	JISB8222- 1993、 JISB8417:20 00または JISB8418:20 00(あるい は、HA- 035:2017ま たはHA- 036:2017)	随用ボイ ラー熱動 方式、真空 式温水発生 機、または 無圧式温水 発生機(あ るいは、ガ ス炭素熱回 収型真空式 温水発生機 またはガス 炭素熱回収 型無圧式温 水発生機)	JISB8222-1993、JISB8417:2000、または JISB8418:2000に準拠(あるいは、HA-035:2017ま たはHA-036:2017に準拠)	JISB8222- 1993、 JISB8417:20 00または JISB8418:20 00(あるい は、HA- 035:2017ま たはHA- 036:2017)	随用ボイ ラー熱動 方式、真空 式温水発生 機、または 無圧式温水 発生機(あ るいは、ガ ス炭素熱回 収型真空式 温水発生機 またはガス 炭素熱回収 型無圧式温 水発生機)	JISB8222-1993、JISB8417:2000、または JISB8418:2000に準拠(あるいは、HA-035:2017ま たはHA-036:2017に準拠)			
				潜熱回収型、都市ガス13A 焚き	出力	1000kW未満	● S-005709	105	%	ボイラ効率	標準規格 による評 価	JISB8222- 1993、 JISB8417:20 00または JISB8418:20 00(あるい は、HA- 035:2017ま たはHA- 036:2017)	随用ボイ ラー熱動 方式、真空 式温水発生 機、または 無圧式温水 発生機(あ るいは、ガ ス炭素熱回 収型真空式 温水発生機 またはガス 炭素熱回収 型無圧式温 水発生機)	JISB8222-1993、JISB8417:2000、または JISB8418:2000に準拠(あるいは、HA-035:2017ま たはHA-036:2017に準拠)	JISB8222- 1993、 JISB8417:20 00または JISB8418:20 00(あるい は、HA- 035:2017ま たはHA- 036:2017)	随用ボイ ラー熱動 方式、真空 式温水発生 機、または 無圧式温水 発生機(あ るいは、ガ ス炭素熱回 収型真空式 温水発生機 またはガス 炭素熱回収 型無圧式温 水発生機)	JISB8222-1993、JISB8417:2000、または JISB8418:2000に準拠(あるいは、HA-035:2017ま たはHA-036:2017に準拠)			
						1000kW以上2000kW未満	- S-005712	-												
						2000kW以上	- S-005714	-												

L2-Tech リストNo	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス				認定 対象	L2-Tech 水準表 情報No	L2-Tech 水準	指標														
	部門1	部門2	技術分類			条件		クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法			標準する規格	規格の名称	試験条件							
						単位	名称		計算式						標準する規格	規格の名称	説明										
						燃料：木質バイオマス	出力	100kW以上200kW未満	●	S-005717	90	標準規格 による評 価	HA-034-2: 2015または HA-034-1: 2015	日本暖房機 器工業会規 格HA	JISB222-1993、 HA-034-2: 2015、HA-034-1: 2015に準拠	JISB8222-1993、 JISB8417:2000または JISB8418:2015	JISB8222-1993、 JISB8417:2000または JISB8418:2015	JISB8222-1993、 JISB8417:2000または JISB8418:2015	JISB8222-1993、 JISB8417:2000または JISB8418:2015	JISB8222-1993、 JISB8417:2000、または JISB8418:2000に準拠							
								200kW以上300kW未満	●	S-005720	90																
												燃料：薪	出力	100kW未満	○	S-005734	90	標準規格 による評 価	HA-034-2: 2015または HA-034-1: 2015	日本暖房機 器工業会規 格HA	JISB8222-1993、HA-034-2: 2015、HA-034-1: 2015に準拠	JISB8222-1993、 JISB8417:2000または JISB8418:2015	JISB8222-1993、 JISB8417:2000または JISB8418:2015	JISB8222-1993、 JISB8417:2000、または JISB8418:2000に準拠			
														100kW以上200kW未満	●	S-005737	90										
												燃料：薪	出力	200kW以上400kW未満	○	S-005740	85	標準規格 による評 価	HA-034-2: 2015または HA-034-1: 2015	日本暖房機 器工業会規 格HA	JISB8222-1993、HA-034-2: 2015、HA-034-1: 2015に準拠	JISB8222-1993、 JISB8417:2000または JISB8418:2015	JISB8222-1993、 JISB8417:2000または JISB8418:2015	JISB8222-1993、 JISB8417:2000、または JISB8418:2000に準拠			
														400kW以上	○	S-005743	85										
						L-000974	産業・業 務（業種 共通）	産業用ブ ロセス	ボイラ	蒸気ボイラ(貫 流ボイラ)	燃料の燃焼を熱源として水を加熱して蒸気を発生させ、その蒸気 を他に供給する装置。小型・軽量で、空調用、業務用～産業用の幅 広い業種で使用される。	蒸発量	1500kg/h未満	●	S-005747	98	標準規格 による評 価	JISB8222- 1993	随用ボイ ラー熱効 率方式	JISB8222-1993に準拠	JISB8222-1993、 JISB8417:2000または JISB8418:2015	JISB8222-1993、 JISB8417:2000または JISB8418:2015	JISB8222-1993、 JISB8417:2000または JISB8418:2015	JISB8222-1993、 JISB8417:2000、または JISB8418:2000に準拠			
													1500kg/h以上3000kg/h未満	●	S-005751	98											
3000kg/h以上	●	S-005753	99																								
潜熱回収型	蒸発量	3000kg/h未満	●	S-005756	102								標準規格 による評 価	JISB8222- 1993	随用ボイ ラー熱効 率方式	JISB8222-1993に準拠									JISB8222-1993、 JISB8417:2000または JISB8418:2015	JISB8222-1993、 JISB8417:2000または JISB8418:2015	JISB8222-1993、 JISB8417:2000、または JISB8418:2000に準拠
3000kg/h以上		●	S-005757	102																							
クローズド回収型（給水温 度100℃以上）、エアヒー タ（空気予熱器）の搭載	(相当) 蒸発量	3000kg/h未満	●	S-005755	98 *								標準規格 による評 価	JISB8222- 1993	随用ボイ ラー熱効 率方式	JISB8222-1993に準拠									JISB8222-1993、 JISB8417:2000または JISB8418:2015	JISB8222-1993、 JISB8417:2000または JISB8418:2015	JISB8222-1993、 JISB8417:2000、または JISB8418:2000に準拠
		3000kg/h以上	●	S-005754	98 *																						
L-000975	産業・業 務（業種 共通）	産業用ブ ロセス	ボイラ	蒸気ボイラ(炉 間煙管ボイラ)	燃料の燃焼を熱源として水を加熱して蒸気を発生させ、その蒸気 を他に供給する装置。中程度の出力で、主に産業用・地域冷暖房用 途で使用される。	蒸発量	1500kg/h未満	●	S-005752	92	標準規格 による評 価	JISB8222- 1993	随用ボイ ラー熱効 率方式	JISB8222-1993に準拠	JISB8222-1993、 JISB8417:2000または JISB8418:2015	JISB8222-1993、 JISB8417:2000、または JISB8418:2000に準拠											

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス				認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標							
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)	L2-Tech 水準表 情報№				L2-Tech 水準	測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件	
														単 位	名 称		準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格
							1500kg/h以上3000kg/h未満	• S-005750	92											
							3000kg/h以上7200kg/h未満	• S-005749	96											
							7200kg/h以上19200kg/h未満	• S-005748	96											
							19200kg/h以上	• S-005746	92											
L-000976	産業・業 務(業種 共通)	産業用プ ロセス	ボイラ	蒸気ボイラ(水 管ボイラ)	燃料の燃焼を熱源として水を加熱して蒸気を発生させ、その蒸気 を他に供給する装置。高圧・大容量で、主に化学・製紙業といった 産業用や、地域暖房用で使用される。	-	蒸発量	1500kg/h未満 1500kg/h以上3000kg/h未満 3000kg/h以上7200kg/h未満 7200kg/h以上19200kg/h未満 19200kg/h以上	○ S-005745 - S-005744 • S-005742 ○ S-005741 ○ S-005739	92 - 96 94 94	%	ボイラ効率	標準規格 による評 価	JISB8222- 1993	陸用ボイ ラー熱効 率方式	JISB8222-1993に準拠	JISB8222- 1993	陸用ボイ ラー熱効 率方式	JISB8222-1993に準拠	
L-000977	産業・業 務(業種 共通)	産業用プ ロセス	ボイラ	水素ボイラ(貫 流ボイラ)	水素の燃焼を熱源として水を加熱して蒸気を発生させ、その蒸気 を他に供給する装置。水素は燃焼時に水のみしか生成せず、CO2 を排出しない事から、炭化水素系燃料からの代替により、大幅に CO2を削減できる。現在は安価に水素が調達可能な副生水素の工 場が対象となっているが、将来的には水素価格の低下により広 く様々な業界で利用できると考えられる。	-	蒸発量	1500kg/h未満 1500kg/h以上3000kg/h 3000kg/h以上	- S-005738 • S-005736 - S-005735	- 95 -	%	ボイラ効率	標準規格 による評 価	JISB8222- 1993	陸用ボイ ラー熱効 率方式	JISB8222-1993に準拠	JISB8222- 1993および 公益財団法 人日本小型 貫流ボイ ラー協会が 規定する 「ボイラー 性能表示基 礎」	陸用ボイ ラー熱効 率方式および 公益財団法 人日本小型 貫流ボイ ラー協会が 規定する 「ボイラー 性能表示基 礎」	JISB8222-1993および公益財団法人日本小型貫流 ボイラー協会が規定する「ボイラー性能表示基 礎」に準拠	
L-000978	産業・業 務(業種 共通)	産業用プ ロセス	ボイラ	熱媒ボイラ	沸点の高い油を伝熱媒体に使用することによって、常圧で高温が 得られる装置。熱媒の種類によって油温度を200℃以上の任意温度 にすることが容易にできるため、精度の高い温度制御が必要な化 学工業等の加熱、反応プロセスに多く用いられる。	-	出力	1000kW未満 1000kW以上2000kW未満 2000kW以上	• S-005733 • S-005731 • S-005730	92 92 92	%	ボイラ効率	標準規格 による評 価	JISB8222- 1993	陸用ボイ ラー熱効 率方式	JISB8222-1993に準拠	JISB8222- 1993	陸用ボイ ラー熱効 率方式	JISB8222-1993に準拠	
L-000979	産業・業 務(業種 共通)	空調/給湯/ 産業用プ ロセス	コージェ ネレー ション	ガスエンジン コージェネレ ーション	ガスを燃料としエンジン方式により発電し、その際に生じる廃熱 を同時回収することにより、燃料を効率的に利用する熱電供給シ ステム。廃熱が発生する蒸気や温水は、製造業のプロセス利用 や、施設の空調・給湯などに幅広く使用される。	50Hz	発電出力	5kW以下 5kW超10kW以下 10kW超25kW以下	• S-005728 • S-005726 • S-005725	85.5 86.5 85.5	%	総合効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8121:2009に準拠	

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標									
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件				
												単 位	名 称		準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格	規格の名称	説 明	
						25kW超35kW以下	• S-005724	88													
						35kW超250kW以下	○ S-005722	90.2													
						250kW超500kW以下	○ S-005721	83.8													
						500kW超750kW以下	○ S-005719	87.8													
						750kW超1000kW以下	○ S-005718	87.8													
						3000kW超	• S-005716	87													
						5kW以下	○ S-005715	29	%	発電効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠				
						5kW超10kW以下	○ S-005713	31.5													
						10kW超25kW以下	○ S-005711	33.5													
						25kW超35kW以下	○ S-005710	33.5													
						35kW超250kW以下	○ S-005708	35.5													
						250kW超500kW以下	• S-005707	41.6													
						500kW超750kW以下	○ S-005705	41.8													
						750kW超1000kW以下	• S-005704	42.6													
						3000kW超	• S-005703	49.8													
					50Hz、高速エンジン (1000rpm以上)	発電出力	1000kW超2000kW以下	○ S-005701	87	%	総合効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠			
							2000kW超3000kW以下	○ S-005700	77.5												
						1000kW超2000kW以下	○ S-005698	43.1	%	発電効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠				
							2000kW超3000kW以下	○ S-005697	43.4												

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス		認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標									
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)				クラス能力(単位)	測定単位		評価方法の タイプ	準拠する規格	規格の名称	計算方法		試験条件	
												単位	名称				計算式	準拠する規格	規格の名称	説明
						50Hz、中速エンジン (1000rpm未満)	発電出力	1000kW超2000kW以下	○ S-005696	74.3	%	総合効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠	
							2000kW超3000kW以下	○ S-005695	77.9											
							1000kW超2000kW以下	● S-005694	45.5	%	発電効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠		
							2000kW超3000kW以下	○ S-005693	47.8											
						60Hz	発電出力	5kW以下	● S-005692	85.5	%	総合効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠	
							5kW超10kW以下	● S-005691	86.5											
							10kW超25kW以下	● S-005690	85.5											
							25kW超35kW以下	● S-005689	88											
							35kW超250kW以下	○ S-005688	90.7											
							250kW超500kW以下	○ S-005687	82.1											
							500kW超750kW以下	○ S-005682	87.8											
							750kW超1000kW以下	○ S-005680	87.8											
							3000kW超	● S-005679	87											
							5kW以下	○ S-005678	29	%	発電効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠		
							5kW超10kW以下	○ S-005677	31.5											
							10kW超25kW以下	○ S-005676	33.5											
							25kW超35kW以下	○ S-005675	33.5											
							35kW超250kW以下	○ S-005674	37											
							250kW超500kW以下	● S-005672	42											

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標												
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)			認定 対象	測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件						
												単位	名称		準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格	規格の名称	説明			
								500kW超750kW以下	○	S-005671	41.3												
								750kW超1000kW以下	●	S-005670	42.5												
								3000kW超	●	S-005669	49.8												
						60Hz、高速エンジン (1000rpm以上)	発電出力	1000kW超2000kW以下	○	S-005667	86.5	%	総合効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠			
								2000kW超3000kW以下	-	S-005666	-												
								1000kW超2000kW以下	○	S-005665	42.6	%	発電効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠			
								2000kW超3000kW以下	-	S-005664	-												
						60Hz、中速エンジン (1000rpm未満)	発電出力	1000kW超2000kW以下	○	S-005663	77	%	総合効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠			
								2000kW超3000kW以下	○	S-005662	77.9												
								1000kW超2000kW以下	●	S-005661	45.5	%	発電効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠			
								2000kW超3000kW以下	○	S-005660	47.8												
L-000980	産業・業 務(業種 共通)	空調/給湯/ 産業用プ ロセス	コージェ ネレー ション	ガスタービン コージェネレ ーション	ガスを燃料とし、タービン方式により発電し、その際に生じる廃熱を同時回収する熱電供給システム。廃熱で発生する蒸気や温水は、製造業のプロセス利用や、施設の空調・給湯などに幅広く使用される。	50Hz	発電出力	1000kW以下	●	S-005659	83	%	総合効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠			
								1000kW超2000kW以下	○	S-005658	84												
								2000kW超3000kW以下	●	S-005657	81.8												
								3000kW超5000kW以下	-	S-005656	-												
								5000kW超7000kW以下	-	S-005655	-												
								7000kW超10000kW以下	●	S-005653	85.2												
								10000kW超40000kW以下	○	S-005652	85.9												
								40000kW超	○	S-005651	84												

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標								
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件			
												単 位	名 称		準拠する規格	規格の名称	準拠する規格	規格の名称	計 算 式	説 明
												%	発電効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠
						1000kW以下	○	S-005649	18.6											
						1000kW超2000kW以下	●	S-005648	27.7											
						2000kW超3000kW以下	○	S-005646	28.4											
						3000kW超5000kW以下	●	S-005645	31.9											
						5000kW超7000kW以下	○	S-005644	39.3											
						7000kW超10000kW以下	○	S-005642	34.3											
						10000kW超40000kW以下	●	S-005640	39.1											
						40000kW超	○	S-005639	40.9											
					60Hz	発電出力						%	総合効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠
						1000kW以下	●	S-005638	83											
						1000kW超2000kW以下	○	S-005636	84											
						2000kW超3000kW以下	●	S-005635	81.8											
						3000kW超5000kW以下	-	S-005634	-											
						5000kW超7000kW以下	-	S-005632	-											
						7000kW超10000kW以下	●	S-005629	85.2											
						10000kW超40000kW以下	○	S-005628	86.8											
						40000kW超	○	S-005626	84											
						1000kW以下	-	S-005625	-			%	発電効率	標準規格 による評 価	JISB8121:20 09	コージェネ レーション システム用 語	JISB8121:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠
						1000kW超2000kW以下	●	S-005624	27.7											
						2000kW超3000kW以下	○	S-005623	28.4											
						3000kW超5000kW以下	●	S-005622	31.9											
						5000kW超7000kW以下	○	S-005620	39.3											
						7000kW超10000kW以下	○	S-005619	34.3											

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標							
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件		
												単位	名称		準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格	規格の名称
						1000kW超4000kW以下	-	S-005617	39.1										
						4000kW超	o	S-005615	40.9										
L-000981	産業・業 務(業種 共通)	空調/給湯/ 産業用プ ロセス	コージェ ネレーシ ョン	燃料電池コー ジェネレーシ ョン	ガスを燃料とし、燃料電池方式により発電し、その際に生じる廃 熱を同時回収する発電供給システム。廃熱で発生する蒸気や温水 は、製造業のプロセス利用や、施設の空調・給湯などに幅広く使 用される。	50Hz 燃料ガスの種類：純 水素	発電出力	75kW以下	-	S-005614	-	% 総合効率	標準規格 による評 価	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 期	JISC8801：2009に準拠	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 期	JISC8801:2009に準拠
						75kW超150kW以下	o	S-005612	93										
						150kW超	-	S-005611	-										
						75kW以下	-	S-005609	-	% 発電効率	標準規格 による評 価	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 期	JISC8801：2009に準拠	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 期	JISC8801:2009に準拠		
						75kW超150kW以下	o	S-005608	48										
						150kW超	-	S-005606	-										
						50Hz 燃料ガスの種類：都 市ガス	発電出力	75kW以下	-	S-005604	-	% 総合効率	標準規格 による評 価	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 期	JISC8801：2009に準拠	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 期	JISC8801:2009に準拠
						75kW超150kW以下	o	S-005603	91										
						150kW超	-	S-005601	-										
						75kW以下	-	S-005600	-	% 発電効率	標準規格 による評 価	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 期	JISC8801：2009に準拠	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 期	JISC8801:2009に準拠		
						75kW超150kW以下	o	S-005599	42										
						150kW超	-	S-005598	-										
						50Hz 燃料ガスの種類：パ イオガス	発電出力	75kW以下	-	S-005597	-	% 総合効率	標準規格 による評 価	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 期	JISC8801：2009に準拠	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 期	JISC8801:2009に準拠
						75kW超150kW以下	o	S-005595	84										
						150kW超	-	S-005594	-										
						75kW以下	-	S-005593	-	% 発電効率	標準規格 による評 価	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 期	JISC8801：2009に準拠	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 期	JISC8801:2009に準拠		
						75kW超150kW以下	o	S-005592	40										
						150kW超	-	S-005591	-										
						60Hz 燃料ガスの種類：純 水素	発電出力	75kW以下	-	S-005589	-	% 総合効率	標準規格 による評 価	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 期	JISC8801：2009に準拠	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 期	JISC8801:2009に準拠
						75kW超150kW以下	o	S-005588	93										

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標										
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				評価方法の タイプ	測定単位		評価方法		計算方法		試験条件			
													単位	名称	準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格	規格の名称	試験条件	説明	
						150kW超	-	S-005586	-													
						75kW以下	-	S-005585	-	%	発電効率	標準規格 による評 価	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 則	JISC8801:2009に準拠	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 則	JISC8801:2009に準拠				
						75kW超150kW以下	o	S-005583	48													
						150kW超	-	S-005582	-													
					60Hz 燃料ガスの種類：都 市ガス	発電出力		S-005581	-	%	総合効率	標準規格 による評 価	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 則	JISC8801:2009に準拠	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 則	JISC8801:2009に準拠				
						75kW以下	-	S-005580	91													
						75kW超150kW以下	o	S-005579	-													
						150kW超	-	S-005578	-	%	発電効率	標準規格 による評 価	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 則	JISC8801:2009に準拠	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 則	JISC8801:2009に準拠				
						75kW以下	-	S-005577	42													
						75kW超150kW以下	o	S-005576	-													
						150kW超	-	S-005575	-	%	総合効率	標準規格 による評 価	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 則	JISC8801:2009に準拠	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 則	JISC8801:2009に準拠				
					60Hz 燃料ガスの種類：パ イオガス	発電出力		S-005574	-	%	総合効率	標準規格 による評 価	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 則	JISC8801:2009に準拠	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 則	JISC8801:2009に準拠				
						75kW以下	-	S-005573	84													
						75kW超150kW以下	o	S-005572	-	%	発電効率	標準規格 による評 価	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 則	JISC8801:2009に準拠	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 則	JISC8801:2009に準拠				
						150kW超	-	S-005571	40													
						75kW以下	-	S-005570	-													
						75kW超150kW以下	o	S-005569	-	%	総合効率	標準規格 による評 価	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 則	JISC8801:2009に準拠	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 則	JISC8801:2009に準拠				
						150kW超	-	S-005568	-													
						75kW以下	-	S-005567	-													
						75kW超150kW以下	o	S-005566	-													
						150kW超	-	S-005565	-	%	発電効率	標準規格 による評 価	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 則	JISC8801:2009に準拠	JISC8801:20 09	りん酸形燃 料電池発電 システム通 則	JISC8801:2009に準拠				
						75kW以下	-	S-005564	-													
						75kW超150kW以下	o	S-005563	-													
						150kW超	-	S-005562	-													
L-000984	産業・業 務(業種 共通)	冷凍冷蔵	冷凍冷蔵 機器	業務用冷凍冷蔵 庫	レストランの厨房やスーパーマーケットのバックヤード等に使用 される冷凍冷蔵庫を指す。家庭用と比較し、急速な冷却機能と高 い断熱性能が求められる。	冷蔵庫：横型	容量	250L以下	-	S-005569	-	kWh/年	年間消費電 力量	標準規格 による評 価	JISB8630:20 09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫一特性及 び試験方法	JISB8630:2009に準拠	JISB8630:20 09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫一特性及 び試験方法	JISB8630:2009に準拠		
								250L超350L以下	-	S-005568	-											
								350L超450L以下	-	S-005567	-											
								450L超	-	S-005566	-											
						冷蔵庫：縦型	容積	700L以下	-	S-005565	-	kWh/年	年間消費電 力量	標準規格 による評 価	JISB8630:20 09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫一特性及 び試験方法	JISB8630:2009に準拠	JISB8630:20 09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫一特性及 び試験方法	JISB8630:2009に準拠		
								700L超1200L以下	-	S-005564	-											

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標										
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法		試験条件						
														単位	名称	準拠する規格	規格の名称	準拠する規格	規格の名称	説明		
						1200L超	-	S-005563	-													
						冷凍庫：横型	容量	250L以下	-	S-005562	-	KWh/年	年間消費電 力量	標準規格 による評 価	JISB8630:20 09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫－特性及 び試験方法	JISB8630:2009に準拠	JISB8630:20 09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫－特性及 び試験方法	JISB8630:2009に準拠		
								250L超350L以下	-	S-005561	-											
								350L超	-	S-005560	-											
						冷凍庫：縦型	容量	700L以下	-	S-005559	-	KWh/年	年間消費電 力量	標準規格 による評 価	JISB8630:20 09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫－特性及 び試験方法	JISB8630:2009に準拠	JISB8630:20 09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫－特性及 び試験方法	JISB8630:2009に準拠		
								700L超900L以下	-	S-005558	-											
								900L超1200L以下	-	S-005557	-											
								1200L超1500L以下	-	S-005556	-											
								1500L超	-	S-005555	-											
						冷凍冷蔵庫：横型(冷凍室1 室)	容量	250L以下	-	S-005554	-	KWh/年	年間消費電 力量	標準規格 による評 価	JISB8630:20 09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫－特性及 び試験方法	JISB8630:2009に準拠	JISB8630:20 09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫－特性及 び試験方法	JISB8630:2009に準拠		
								250L超350L以下	-	S-005553	-											
								350L超	-	S-005552	-											
						冷凍冷蔵庫：縦型(冷凍室1 室)	容積	1200L以下	-	S-005551	-	KWh/年	年間消費電 力量	標準規格 による評 価	JISB8630:20 09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫－特性及 び試験方法	JISB8630:2009に準拠	JISB8630:20 09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫－特性及 び試験方法	JISB8630:2009に準拠		
								1200L超	-	S-005550	-											
						冷凍冷蔵庫：縦型(冷凍室2 室)	容量	900L以下	-	S-005549	-	KWh/年	年間消費電 力量	標準規格 による評 価	JISB8630:20 09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫－特性及 び試験方法	JISB8630:2009に準拠	JISB8630:20 09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫－特性及 び試験方法	JISB8630:2009に準拠		
								900L超1200L以下	-	S-005548	-											
								1200L超	-	S-005547	-											
L-000985	産業・業 務(業種 共通)	動力他	冷凍冷蔵 機器	空気冷媒方式冷 凍機	空気の断熱膨張における温度低下により、マイナス50～100℃の 空気を得る冷凍機。	庫容量(有効容積) 1300m3規模	-	-	●	S-005546	0.42 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定 格消費エネルギー[W]	-	-	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、庫内温度を 次のとおり設定することを条件とする。なお、附 属する機器動力も加味した定格消費エネルギーを 用いる。庫内温度：-60℃
						庫容量(有効容積) 2600m3規模	-	-	●	S-005545	0.4 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定 格消費エネルギー[W]	-	-	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、庫内温度を 次のとおり設定することを条件とする。なお、附 属する機器動力も加味した定格消費エネルギーを 用いる。庫内温度：-60℃
L-000986	産業・業 務(業種 共通)	動力他	冷凍冷蔵 機器	冷凍冷蔵庫用 自然冷媒冷凍機 (アンモニア /CO2二次冷媒 システム)	アンモニアを一次冷媒、二酸化炭素を二次冷媒(マイナス5～マイ ナス40℃程度)とし、それを庫内に循環させる冷凍機。	庫内温度-20℃超10℃以 下、CO2温度：-17℃超-5℃ 以下、冷却水入り口温度： 32℃	冷凍能力	100kW以下	-	S-005544	-	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消 費エネルギー [W]	-	-	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、凝縮温度、 CO2温度をそれぞれ以下のとおり設定すること を条件とする。CO2温度：-17℃超-5℃以下、冷却 水入り口温度：32℃

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標								
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法		試験条件				
								単 位	名 称	単 位	規 格 名 称	計算式	単 位	規 格 名 称	説 明					
									○	S-005543	3.15 *									
									●	S-005542	3.41 *									
					庫内温度:-20℃超10℃以下、CO2温度:-17℃超-5℃以下、冷却水入り口温度:30℃	冷凍能力	50kW以下		●	S-005541	2.7 *	-	成績係数(COP)	標準条件による評価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消費エネルギー [W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、CO2温度、冷却水入り口温度をそれぞれ以下のとおり設定することを条件とする。CO2温度:-17℃超-5℃以下、冷却水入り口温度:30℃
							50kW超		-	S-005540	-									
					庫内温度:-20℃超10℃以下、CO2温度:-17℃超-5℃以下、吸込空気温度:32℃	冷凍能力	50kW以下		●	S-005539	1.8 *	-	成績係数(COP)	標準条件による評価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消費エネルギー [W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、CO2温度、吸込空気温度をそれぞれ以下のとおり設定することを条件とする。CO2温度:-17℃超-5℃以下、吸込空気温度:32℃
							50kW超		-	S-005538	-									
					庫内温度40℃超-20℃以下	冷凍能力	50kW以下		●	S-005537	2.04 *	-	成績係数(COP)	標準条件による評価	-	-	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定格消費エネルギー[W]	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、CO2温度、冷却水入り口温度をそれぞれ次のとおり設定することを条件とする。CO2温度:-37℃超-27℃以下、冷却水入り口温度:32℃
							50kW超 150kW以下		●	S-005536	2.32 *									
							150kW超 250kW以下		●	S-005535	2.32 *									
							250kW超		●	S-005534	2.31 *									
L-000987	産業・業務 共通	動力地	冷凍冷蔵 機器	自然冷媒冷凍冷蔵 コンデンシング ユニット	フロン冷媒により駆動する、従来のコンデンシングユニットに対して、CO2等の自然冷媒により駆動するコンデンシングユニット	中温用(吸込み圧力飽和温度-10℃)、吸込ガス過熱度10K、周囲温度32℃	冷凍能力	16.0kW以下	●	S-005533	2.02	-	成績係数(COP)	標準規格による評価	JRA4019:2014	コンデンシングユニット	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定格消費電力[W]	JRA4019:2014	コンデンシングユニット	JRA4019:2014に準拠
								16.0kW超24.0kW以下	-	S-005532	-									
								24.0kW超36.0kW以下	●	S-005531	1.84									
								36.0kW超	-	S-005530	-									
						低温用(吸込み圧力飽和温度-40℃)、吸込ガス過熱度10K、周囲温度32℃	冷凍能力	8.0kW以下	●	S-005529	1.01	-	成績係数(COP)	標準規格による評価	JRA4019:2014	コンデンシングユニット	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定格消費電力[W]	JRA4019:2014	コンデンシングユニット	JRA4019:2014に準拠
								8.0kW超12.0kW以下	-	S-005528	-									
								12.0kW超18.0kW以下	●	S-005527	0.95									
								18.0kW超	-	S-005526	-									
						中温用(吸込み圧力飽和温度-10℃)、吸込ガス温度18℃、空冷式の凝縮器、凝縮器に流入空気温度32℃、周囲温度32℃	冷凍能力	8.0kW以下	●	S-005525	2.1	-	成績係数(COP)	標準規格による評価	JRA4019:2014	コンデンシングユニット	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定格消費電力[W]	JRA4019:2014	コンデンシングユニット	JRA4019:2014に準拠
								8.0kW超16.0kW以下	●	S-005524	1.77									

L2-Tech リストNo	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報No	L2-Tech 水準	指標											
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算法		試験条件						
												単 位	名 称		単調する規格	規格の名称	単調する規格	規格の名称	試験条件	説 明			
										S-005523	1.68												
										S-005522	1.77												
										S-005521	-												
										S-005520	0.94	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JRA 4019:2014	コンデンシ ングユニッ ト	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定 格消費電力[W]	JRA4019: 2014	コンデンシ ングユニッ ト	JRA4019:2014に準拠			
										S-005519	0.91												
										S-005518	0.85												
										S-005517	0.91												
										S-005516	-												
										S-005515	-	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JRA4019:2014	コンデンシ ングユニッ ト	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定 格消費電力[W]	JRA4019:2014	コンデンシ ングユニッ ト	JRA4019:2014に準拠			
										S-005514	-												
										S-005513	2				JRA4019: 2014	コンデンシ ングユニッ ト	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定 格消費電力[W]	JRA4019: 2014	コンデンシ ングユニッ ト	JRA4019:2014に準拠			
										S-005512	-												
										S-005511	-	-	成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JRA4019:2014	コンデンシ ングユニッ ト	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定 格消費電力[W]	JRA4019:2014	コンデンシ ングユニッ ト	JRA4019:2014に準拠			
										S-005510	-												
										S-005509	0.94												
										S-005508	-												
L-000988	産業・業 務(業種 共通)	照明	照明器具	LED照明器具	発光ダイオード(LED)を光源に使用した照明器具。ただし、電気用品安全法の下でのPSEマークが付与されている製品に限る。					S-005507	145.4	lm/W	固有エネル ギー消費効 率	標準規格 による評 価	JISC8105-3:2011、 JISC8105-5:2011及び JISZ8113:1998	照明器具- 第3部:性 能要求事項 逐、照明器 具-第5 部:配光測 定方法及び 照明用語	JISC8105-3:2011、 JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3:2011、 JISC8105-5:2011及び JISZ8113:1998	照明器具- 第3部:性 能要求事項 逐、照明器 具-第5 部:配光測 定方法及び 照明用語	JISC8105-3:2011、 JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠			
										S-005506	144	lm/W	固有エネル ギー消費効 率	標準規格 による評 価	JISC8105-3:2011、 JISC8105-5:2011及び JISZ8113:1998	照明器具- 第3部:性 能要求事項 逐、照明器 具-第5 部:配光測 定方法及び 照明用語	JISC8105-3:2011、 JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3:2011、 JISC8105-5:2011及び JISZ8113:1998	照明器具- 第3部:性 能要求事項 逐、照明器 具-第5 部:配光測 定方法及び 照明用語	JISC8105-3:2011、 JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠			

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標								
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件			
												単 位	名 称		準拠する規格	規格の名称	準拠する規格	規格の名称	説 明	
						45W蛍光灯相当スクエアサイズ	•	S-005494	164											
						ベースライト型(ストレート)	-	S-005493	196.2	lm/W	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部、性能要求事項通、照明器具-第5部：配光測定方法及び照明用品	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部、性能要求事項通、照明器具-第5部：配光測定方法及び照明用品	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠		
L-000989	産業・業務(業種共通)	動力他	プリンタ/複写機	プリンタ	プリンタの印字方式の主流は、インクジェット方式と電子写真方式であるが、オフィスで主に利用されているものは印刷速度の速い、電子写真方式である。電子写真方式の印刷工程は、帯電、露光、現像、転写、定着、清掃の6工程であり、複写機と同様である。露光部分にLED(発光ダイオード)を用いたLEDプリンタもある。	カラー印刷機能無	-	S-005492	-	kWh	概念的1週間(稼働とスリープオフが繰り返される5日間+スリープオフ状態の2日間)の消費電力量(TEC消費電力量)	標準規格による評価	国際エネルギーギースタープログラム	国際エネルギーギースタープログラムで定める計算式	-	国際エネルギーギースタープログラム	国際エネルギーギースタープログラムで定める試験条件			
						カラー印刷機能有	-	S-005491	-	kWh	概念的1週間(稼働とスリープオフが繰り返される5日間+スリープオフ状態の2日間)の消費電力量(TEC消費電力量)	標準規格による評価	国際エネルギーギースタープログラム	国際エネルギーギースタープログラムで定める計算式	-	国際エネルギーギースタープログラム	国際エネルギーギースタープログラムで定める試験条件			
L-000990	産業・業務(業種共通)	動力他	プリンタ/複写機	複合機	複写機能、プリンタ機能、スキャナ機能、ファクシミリ機能のうち2つ以上の機能を有する機器である。	カラー複写機能無	-	S-005490	-	kWh	概念的1週間(稼働とスリープオフが繰り返される5日間+スリープオフ状態の2日間)の消費電力量(TEC消費電力量)	標準規格による評価	国際エネルギーギースタープログラム	国際エネルギーギースタープログラムで定める計算式	-	国際エネルギーギースタープログラム	国際エネルギーギースタープログラムで定める試験条件			
						カラー複写機能有	-	S-005489	-	kWh	概念的1週間(稼働とスリープオフが繰り返される5日間+スリープオフ状態の2日間)の消費電力量(TEC消費電力量)	標準規格による評価	国際エネルギーギースタープログラム	国際エネルギーギースタープログラムで定める計算式	-	国際エネルギーギースタープログラム	国際エネルギーギースタープログラムで定める試験条件			
L-000991	産業・業務(業種共通)	動力他	モータ	誘導モータ	回転子、固定子ともに金属を使用し、固定子に交流電流を流して回転磁界を発生させるとともに、回転子にも誘導電流が流れて磁界が生ずることにより、回転力を得るモータ。産業機械・工作機械等に幅広く用いられる。鉄芯、巻線、冷却ファン等の改善により損失を低減し高効率化が図られている。	60Hz、200V、極数2	容量	0.75kW以下	○	S-005488	85	%	エネルギー消費効率	標準規格による評価	JIS C 4034-2:1:2011またはJIS C 4213:2014	回転電気機械-第2部-1部：単一速度三相かご形誘導電動機-低圧トックランナーモータ	JIS C 4034-2:1:2011またはJIS C 4213:2014に準拠	JIS C 4034-2:1:2011またはJIS C 4213:2014	回転電気機械-第2部-1部：単一速度三相かご形誘導電動機-低圧トックランナーモータ	JIS C 4034-2:1:2011またはJIS C 4213:2014に準拠。ただし、負荷を100%とする。
								0.75kW超1.1kW以下	○	S-005487	85.5									
								1.1kW超1.5kW以下	●	S-005486	89.4									
								1.5kW超2.2kW以下	●	S-005485	89.5									
								2.2kW超3.0kW以下	-	S-005484	-									
								3.0kW超3.7kW以下	●	S-005483	89.9									

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス				認定 対象 L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標									
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)	測定単位			評価方法の タイプ	計算法			試験条件					
									単 位				名 称		準拠する規格	規格の名称	計算法	準拠する規格	規格の名称	試験条件	説 明
						3.7kW超4.0kW以下	-	S-005482	-												
						4.0kW超5.5kW以下	•	S-005481	91.2												
						5.5kW超7.5kW以下	•	S-005480	91.5												
						7.5kW超11.0kW以下	•	S-005479	91.9												
						11.0kW超15.0kW以下	•	S-005478	92.2												
						15.0kW超18.5kW以下	•	S-005477	93.1												
						18.5kW超22.0kW以下	•	S-005476	93.8												
						22.0kW超30.0kW以下	•	S-005475	94												
						30.0kW超37.0kW以下	•	S-005474	94.3												
						37.0kW超	•	S-005473	96.2												
					50Hz、200V、極数4	容量	0.75kW以下	•	S-005472	84.8	%	エネルギー 消費効率	標準規格 による評 価	JIS C 4034- 2-1:2011また はJIS C 4213:2014	回転電気機 械-第2- 1部:単一 速度三相か ご形誘導電 動機の損失 及び効率の 算定方法ま たは低圧三 相かご形誘 導電動機- 低圧トック ランナー モータ	JIS C 4034-2-1:2011またはJIS C 4213:2014に準拠	JIS C 4034- 2-1:2011また はJIS C 4213:2014	回転電気機 械-第2- 1部:単一 速度三相か ご形誘導電 動機の損失 及び効率の 算定方法ま たは低圧三 相かご形誘 導電動機- 低圧トック ランナー モータ	JIS C 4034-2-1:2011またはJIS C 4213:2014に準拠。ただし、負荷を100%とする。		
						0.75kW超1.1kW以下	-	S-005471	-												
						1.1kW超1.5kW以下	•	S-005470	86.9												
						1.5kW超2.2kW以下	•	S-005469	88.6												
						2.2kW超3.0kW以下	-	S-005468	-												
						3.0kW超3.7kW以下	•	S-005467	89.4												
						3.7kW超4.0kW以下	-	S-005466	-												
						4.0kW超5.5kW以下	•	S-005465	91.9												
						5.5kW超7.5kW以下	•	S-005464	91.7												
						7.5kW超11.0kW以下	•	S-005463	92.5												

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標										
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				単 位	名 称	評価方法の タイプ	測定単位		評価方法の タイプ		計算方法		試験条件	
															単 位	名 称	準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格	規格の名称	試 験 条 件
						11.0kW超15.0kW以下	•	S-005462	93.1													
						15.0kW超18.5kW以下	•	S-005461	94.1													
						18.5kW超22.0kW以下	•	S-005460	93.9													
						22.0kW超30.0kW以下	•	S-005459	94.5													
						30.0kW超37.0kW以下	•	S-005458	95.1													
						37.0kW超	•	S-005457	96													
					50Hz、200V、極数6	容量	0.75kW以下	•	S-005456	83.8	%	エネルギー消費効率	標準規格による評価	JIS C 4034-2:2011またはJIS C 4213:2014	回転電気機械-第2-1部:単一速度三相かご形誘導電動機の損失及び効率の算定方法または低圧三相かご形誘導電動機-低圧トッピングランナーモーター	JIS C 4034-2:2011またはJIS C 4213:2014に準拠	JIS C 4034-2:2011またはJIS C 4213:2014	回転電気機械-第2-1部:単一速度三相かご形誘導電動機の損失及び効率の算定方法または低圧三相かご形誘導電動機-低圧トッピングランナーモーター	JIS C 4034-2:2011またはJIS C 4213:2014に準拠。ただし、負荷を100%とする。			
						0.75kW超1.1kW以下	-	S-005455	-													
						1.1kW超1.5kW以下	•	S-005454	87.2													
						1.5kW超2.2kW以下	•	S-005453	89.3													
						2.2kW超3.0kW以下	-	S-005452	-													
						3.0kW超3.7kW以下	•	S-005451	89.3													
						3.7kW超4.0kW以下	-	S-005450	-													
						4.0kW超5.5kW以下	•	S-005449	91.1													
						5.5kW超7.5kW以下	•	S-005448	91.1													
						7.5kW超11.0kW以下	•	S-005447	91.7													
						11.0kW超15.0kW以下	•	S-005446	92.5													
						15.0kW超18.5kW以下	•	S-005445	92.7													
						18.5kW超22.0kW以下	•	S-005444	93.2													
						22.0kW超30.0kW以下	•	S-005443	94.2													

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標												
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算法		試験条件								
														単 位	名 称	単 位	規 格	単 位	規 格	注 明				
						30.0kW超37.0kW以下			• S-005442	93.9														
						37.0kW超			○ S-005441	94.7														
					60Hz、220V、極数2	容量	0.75kW以下		• S-005440	86.2	%	エネルギー消費効率	標準規格による評価	JIS C 4034-2:1.2011またはJIS C 4213:2014	回転電気機械-第2-1部：単一速度三相かご形誘導電動機の損失及び効率の算定方法は低圧三相かご形誘導電動機-低圧トッピングランナーモータ	JIS C 4034-2:1.2011またはJIS C 4213:2014に準拠	JIS C 4034-2:1.2011またはJIS C 4213:2014	回転電気機械-第2-1部：単一速度三相かご形誘導電動機の損失及び効率の算定方法は低圧三相かご形誘導電動機-低圧トッピングランナーモータ	JIS C 4034-2:1.2011またはJIS C 4213:2014に準拠。ただし、負荷を100%とする。					
						0.75kW超1.1kW以下		○ S-005439		86.3														
						1.1kW超1.5kW以下		• S-005438		90.2														
						1.5kW超2.2kW以下		• S-005437		90.8														
						2.2kW超3.0kW以下		- S-005436		-														
						3.0kW超3.7kW以下		• S-005435		90.9														
						3.7kW超4.0kW以下		- S-005434		-														
						4.0kW超5.5kW以下		• S-005433		91.5														
						5.5kW超7.5kW以下		• S-005432		92.4														
						7.5kW超11.0kW以下		• S-005431		92.4														
						11.0kW超15.0kW以下		• S-005430		93.1														
						15.0kW超18.5kW以下		• S-005429		93.7														
						18.5kW超22.0kW以下		• S-005428		94														
						22.0kW超30.0kW以下		• S-005427		94.1														
						30.0kW超37.0kW以下		• S-005426		94														
						37.0kW超		○ S-005425		94.8														

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標												
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				標準規格 による評価	L2-Tech 水準	測定単位		評価方法の タイプ	標準規格 による評価	規格の名称	計算方法		標準規格 による評価	規格の名称	試験条件	
														単位	名称				計算式	説明				
2-1						60Hz、220V、極数4	容量	0.75kW以下	•	S-005424	87.3	%	エネルギー 消費効率	標準規格 による評価	JIS C 4034- 2-1:2011また はJIS C 4213:2014	回転電気機 機-第2- 1部:単一 速度三相か ご形誘導電 動機の損失 及び効率の 算定方法ま たは低圧三 相かご形誘 導電動機- 低圧トップ ランナー モータ	JIS C 4034-2-1:2011またはJIS C 4213:2014に準拠	JIS C 4034- 2-1:2011また はJIS C 4213:2014	回転電気機 機-第2- 1部:単一 速度三相か ご形誘導電 動機の損失 及び効率の 算定方法ま たは低圧三 相かご形誘 導電動機- 低圧トップ ランナー モータ	JIS C 4034-2-1:2011またはJIS C 4213:2014に準拠。ただし、負荷を100%とする。				
								0.75kW超1.1kW以下	-	S-005423	-													
								1.1kW超1.5kW以下	•	S-005422	89.1													
								1.5kW超2.2kW以下	•	S-005421	90.2													
								2.2kW超3.0kW以下	-	S-005420	-													
								3.0kW超3.7kW以下	•	S-005419	90.7													
								3.7kW超4.0kW以下	-	S-005418	-													
								4.0kW超5.5kW以下	•	S-005417	92.8													
								5.5kW超7.5kW以下	•	S-005416	92.9													
								7.5kW超11.0kW以下	•	S-005415	93.3													
								11.0kW超15.0kW以下	•	S-005414	93.6													
								15.0kW超18.5kW以下	•	S-005413	94.7													
								18.5kW超22.0kW以下	•	S-005412	94.7													
								22.0kW超30.0kW以下	•	S-005411	94.9													
								30.0kW超37.0kW以下	•	S-005410	95.7													
								37.0kW超	•	S-005409	96.3													
						60Hz、220V、極数6	容量	0.75kW以下	•	S-005408	85.3	%	エネルギー 消費効率	標準規格 による評価	JIS C 4034- 2-1:2011また はJIS C 4213:2014	回転電気機 機-第2- 1部:単一 速度三相か ご形誘導電 動機の損失 及び効率の 算定方法ま たは低圧三 相かご形誘 導電動機- 低圧トップ ランナー モータ	JIS C 4034-2-1:2011またはJIS C 4213:2014に準拠	JIS C 4034- 2-1:2011また はJIS C 4213:2014	回転電気機 機-第2- 1部:単一 速度三相か ご形誘導電 動機の損失 及び効率の 算定方法ま たは低圧三 相かご形誘 導電動機- 低圧トップ ランナー モータ	JIS C 4034-2-1:2011またはJIS C 4213:2014に準拠。ただし、負荷を100%とする。				
								0.75kW超1.1kW以下	-	S-005407	-													

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス				L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標									
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力 (名称)	クラス 能力 (単位)	認 証 対 象			測定単位		評価方法の タイプ		計算方法			試験条件		
												単 位	名 称	準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格	規格の名称	試 験 条 件	説 明	
																					単 位
						1.1kW超1.5kW以下	-	S-005406	-												
						1.5kW超2.2kW以下	•	S-005404	90.4												
						2.2kW超3.0kW以下	-	S-005403	-												
						3.0kW超3.7kW以下	•	S-005401	90.6												
						3.7kW超4.0kW以下	-	S-005399	-												
						4.0kW超5.5kW以下	•	S-005397	92.2												
						5.5kW超7.5kW以下	•	S-005396	92.4												
						7.5kW超11.0kW以下	•	S-005394	93.2												
						11.0kW超15.0kW以下	•	S-005393	93.4												
						15.0kW超18.5kW以下	•	S-005392	93.7												
						18.5kW超22.0kW以下	•	S-005391	94.3												
						22.0kW超30.0kW以下	•	S-005390	94.8												
						30.0kW超37.0kW以下	•	S-005389	94.9												
						37.0kW超	○	S-005388	95.3												
L-000992	産業・業 務 (業種 共通)	動力他	モータ	永久磁石同期 モータ	回転子に永久磁石を使用した同期モータのうち、サーボモータを 含まないもの。鉄道車両・自動車・産業機械等、幅広く用いられ る。	-				容量											
						0.75kW以下	•	S-005387	92.3	%	エネルギー 消費効率	標準規格 による評 価	JISC4034-2- 12011	回転電気機 械―第2― 1部：単一 速度三相か ご形誘導電 動機の損失 及び効率の 算定方法	JISC4034-2-12011に準拠	JISC4034-2- 12011	回転電気機 械―第2― 1部：単一 速度三相か ご形誘導電 動機の損失 及び効率の 算定方法	JISC4034-2-12011に準拠			
						0.75kW超1.5kW以下	•	S-005386	90.4												
						1.5kW超2.2kW以下	•	S-005385	92.5												
						2.2kW超3.7kW以下	○	S-005383	94.8												
						3.7kW超5.5kW以下	•	S-005382	94.3												
						5.5kW超7.5kW以下	•	S-005378	94.8												
						7.5kW超11kW以下	•	S-005380	94.3												

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標										
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件					
												単 位	名 称		準拠する規格	規格の名称	準拠する規格	規格の名称	説 明			
									S-005377	95												
									S-005375	94.9												
									S-005374	96.2												
									S-005372	96.3												
									S-005370	95.6												
									S-005369	95.9												
									S-005368	96.1												
									S-005367	97.4												
									S-005365	96.2												
									S-005364	96.6												
									S-005363	97												
									S-005362	97.2												
									S-005360	-												
L-000993	産業・業 務(業種 共通)	動力他	変圧器	油入変圧器	電磁誘導を利用し、用途に応じて交流電圧を昇降させる装置。低 損失磁性体材料を使用する低損失構造とする等、損失を低減する 工夫がなされている。クラフト紙・プレスボード等の絶縁物と絶 縁油にて構成されている。	油入変圧器、三相、50Hz	定格容量	20kVA以下	S-005358	82	W	全損失	標準規格 による評 価	JISC4304:20 13	配電用 6 kV 油入変圧器	JISC4304:2013に準拠	JISC4304:20 13	配電用 6 kV 油入変圧器	JISC4304:2013に準拠			
								20kVA超30kVA以下	S-005357	123												
								30kVA超50kVA以下	S-005356	187												
								50kVA超75kVA以下	S-005355	225												
								75kVA超100kVA以下	S-005353	265												
								100kVA超150kVA以下	S-005352	322												
								150kVA超200kVA以下	S-005350	412												
								200kVA超300kVA以下	S-005349	553												
								300kVA超500kVA以下	S-005348	833												

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標										
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	標準規格		規格の名称		計算方法		試験条件	
												単 位	名 称		準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格	規格の名称	説 明		
						500kVA超750kVA以下	• S-005347		1453													
						750kVA超1000kVA以下	• S-005346		1938													
						1000kVA超1500kVA以下	• S-005345		2750													
						1500kVA超2000kVA以下	• S-005344		3700													
					油入変圧器、三相、60Hz	定格容量	20kVA以下	• S-005343	72	W	全損失	標準規格 による評 価	JISC4304:20 13	配電用 6 kV 油入変圧器	JISC4304:2013に準拠	JISC4304:20 13	配電用 6 kV 油入変圧器	JISC4304:2013に準拠				
						20kVA超30kVA以下	• S-005342		115													
						30kVA超50kVA以下	• S-005341		182													
						50kVA超75kVA以下	• S-005340		195													
						75kVA超100kVA以下	• S-005339		246													
						100kVA超150kVA以下	• S-005337		303													
						150kVA超200kVA以下	• S-005336		392													
						200kVA超300kVA以下	• S-005334		507													
						300kVA超500kVA以下	• S-005333		756													
						500kVA超750kVA以下	• S-005331		1393													
						750kVA超1000kVA以下	• S-005330		1813													
						1000kVA超1500kVA以下	• S-005328		2600													
						1500kVA超2000kVA以下	• S-005327		3365													
					油入変圧器、単相、50Hz	定格容量	10kVA以下	• S-005326	42	W	全損失	標準規格 による評 価	JISC4304:20 13	配電用 6 kV 油入変圧器	JISC4304:2013に準拠	JISC4304:20 13	配電用 6 kV 油入変圧器	JISC4304:2013に準拠				
						10kVA超20kVA以下	• S-005325		74													
						20kVA超30kVA以下	• S-005324		100													
						30kVA超50kVA以下	• S-005323		144													
						50kVA超75kVA以下	• S-005322		159													

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標								
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件			
												単 位	名 称		準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格	規格の名称	説 明
						75kVA以下 100kVA以下 150kVA以下 200kVA以下 300kVA以下	100kVA以下 150kVA以下 200kVA以下 300kVA以下			S-005321 S-005320 S-005319 S-005318 S-005317	207 279 347 456 758									
						油入変圧器、単相、60Hz	定格容量	10kVA以下 10kVA超20kVA以下 20kVA超30kVA以下 30kVA超50kVA以下 50kVA超75kVA以下 75kVA超100kVA以下 100kVA超150kVA以下 150kVA超200kVA以下 200kVA超300kVA以下 300kVA超500kVA以下		S-005316 S-005314 S-005313 S-005312 S-005310 S-005309 S-005307 S-005306 S-005304 S-005303	37 68 95 139 154 202 262 328 431 755	W	全損失	標準規格 による評 価	JISC4304:20 13	配電用 6 kV 油入変圧器	JISC4304:2013に準拠	JISC4304:20 13	配電用 6 kV 油入変圧器	JISC4304:2013に準拠
L-000994	産業・業 務(業種 共通)	動力他	変圧器	モールド変圧器	電磁誘導を利用し、用途に応じて交流電圧を昇降させる装置。低 損失磁性体材料を使用する低損失構造とする等、損失を低減する 工夫がなされている。耐熱絶縁電線でコイルを構成し、エポキシ 樹脂でモールドされている。	モールド変圧器、三相、 50Hz	定格容量	20kVA以下 20kVA超30kVA以下 30kVA超50kVA以下 50kVA超75kVA以下 75kVA超100kVA以下 100kVA超150kVA以下 150kVA超200kVA以下		S-005302 S-005301 S-005300 S-005298 S-005297 S-005296 S-005294	167 201 311 244 309 411 460	W	全損失	標準規格 による評 価	JISC4306:20 13	配電用 6 kV モールド変 圧器	JISC4306:2013に準拠	JISC4306:20 13	配電用 6 kV モールド変 圧器	JISC4306:2013に準拠

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標									
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	試験する規格		規格の名称		試験条件		
												単 位	名 称		準拠する規格	規格の名称	計算法	計算法	準拠する規格	規格の名称	説 明
						200kVA超300kVA以下	• S-005292		581												
						300kVA超500kVA以下	• S-005291		899												
						500kVA超750kVA以下	• S-005289		1675												
						750kVA超1000kVA以下	• S-005288		2094												
						1000kVA超1500kVA以下	• S-005286		3300												
						1500kVA超2000kVA以下	• S-005284		4088												
					モールド変圧器、三相、60Hz	定格容量	20kVA以下	○ S-005282	157	W	全損失	標準規格による評価	JISC4306:2013	配電用 6 kV モールド変圧器	JISC4306:2013に準拠	JISC4306:2013	配電用 6 kV モールド変圧器	JISC4306:2013に準拠			
							20kVA超30kVA以下	○ S-005281	191												
							30kVA超50kVA以下	○ S-005280	301												
							50kVA超75kVA以下	• S-005279	244												
							75kVA超100kVA以下	• S-005277	293												
							100kVA超150kVA以下	• S-005275	401												
							150kVA超200kVA以下	• S-005274	460												
							200kVA超300kVA以下	• S-005272	592												
							300kVA超500kVA以下	• S-005271	852												
							500kVA超750kVA以下	• S-005269	1715												
							750kVA超1000kVA以下	• S-005267	2028												
							1000kVA超1500kVA以下	• S-005266	3200												
							1500kVA超2000kVA以下	• S-005264	4125												
					モールド変圧器、単相、50Hz	定格容量	10kVA以下	○ S-005261	78	W	全損失	標準規格による評価	JISC4306:2013	配電用 6 kV モールド変圧器	JISC4306:2013に準拠	JISC4306:2013	配電用 6 kV モールド変圧器	JISC4306:2013に準拠			
							10kVA超20kVA以下	○ S-005260	115												
							20kVA超30kVA以下	○ S-005258	160												

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス	認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標															
	部門1	部門2	技術分類							測定単位		評価方法の タイプ	計算法		試験条件										
										単位	名称		計算式	準拠する規格	規格の名称	説明									
						条件																			
						クラス能力(名称)	クラス能力(単位)																		
						30kVA以下	30kVA以下	●	S-005257	155															
						50kVA超50kVA以下	50kVA以下	●	S-005256	181															
						75kVA超75kVA以下	75kVA以下	●	S-005255	223															
						100kVA超100kVA以下	100kVA以下	●	S-005254	289															
						150kVA超150kVA以下	150kVA以下	●	S-005253	369															
						200kVA超200kVA以下	200kVA以下	●	S-005252	496															
						300kVA超300kVA以下	300kVA以下	●	S-005251	774															
						モールド変圧器、単相、60Hz	定容量	○	S-005250	73	W	全損失	標準規格による評価	JISC4306:2013	配電用6kVモールド変圧器	JISC4306:2013に準拠	JISC4306:2013	配電用6kVモールド変圧器	JISC4306:2013に準拠						
						10kVA以下	10kVA以下	○	S-005249	110															
						10kVA超20kVA以下	20kVA以下	○	S-005248	150															
						20kVA超30kVA以下	30kVA以下	○	S-005247	149															
						30kVA超50kVA以下	50kVA以下	●	S-005246	149															
						50kVA超75kVA以下	75kVA以下	●	S-005245	228															
						75kVA超100kVA以下	100kVA以下	●	S-005244	285															
						100kVA超150kVA以下	150kVA以下	●	S-005243	268															
						150kVA超200kVA以下	200kVA以下	●	S-005242	491															
						200kVA超300kVA以下	300kVA以下	●	S-005241	785															
						300kVA超500kVA以下	500kVA以下	●	S-005240	6.95 *	%	消費蒸気原単位	標準条件による評価												
L-001003	産業・業務（業種共通）	動力他	モータ利用機器（圧縮機）	蒸気駆動圧縮機	従来の電動コンプレッサと異なり、動力源として電動モータではなく、蒸気モータを搭載する。蒸気モータは、蒸気を減圧する際に発生するエネルギーを駆動源とする圧縮機。従来の電動コンプレッサ（圧縮機）と比較し、減圧エネルギーを有効利用できるためCO2削減に優れる。ボイラ設備（ボイラ、軟水装置、給水タンク）の蒸気配管減圧弁に並列して設置し、本商品を減圧弁の代替として利用する。	容量、消費蒸気量	37kW、79kg/h 55kW、106kg/h 75kW、178kg/h	●	S-005239	1.93 *															
						容量、消費蒸気量	37kW、79kg/h 55kW、106kg/h 75kW、178kg/h	●	S-005238	2.18 *															
									S-005237	1.93 *															
									S-005236	1.93 *															
									S-005235	2.18 *															

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標											
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	準拠する規格	規格の名称	計算方法		準拠する規格	規格の名称	試験条件	説明	
												単位	名称				計算式	計算式					
						高圧蒸気仕様	容量、消費蒸気量	75kW、247kg/h		●	S-005237	0.6 *	%	消費蒸気原 単位	標準条件 による評 価	-	-	E=B/(A-C)、E:消費蒸気原単位 [-]、A:消費 蒸気量 [kW]、B:吐出空気量 [m3/min]、C: 回収熱量 [kW]	JISB8341- 2008	省エネルギー 形圧縮機	JISB8341- 2008	省エネルギー 形圧縮機	JISB8341-2008に準拠。ただし、回収熱量につ いては温排水入口温度と温排水出口温度を次のとおり設 定することを条件とする。温排水入口温度:15℃、 温排水出口温度:50℃以上、また、消費蒸気量は メーカー指示値(性能表等)を参照する。
L-001004	産業・業 務(業種 共通)	動力他	モータ利 用機器 (圧縮 機)	熱回収式ねじ容 積形圧縮機	従来は、廃棄されていた圧縮熱を温水として供給可能なねじ容積 形圧縮機。コンプレッサの廃熱を温水として回収するために取水 装置から新水を通過させ、70℃の温水をボイラ給水へ戻すことで ボイラの燃料消費量が低減可能。また、直接温水利用することも 可能。	給油式	容量、熱回収量	37kW、25kW 75kW、60kW		○	S-005236 S-005235	0.41 * 0.88 *	%	エネルギー 原単位	標準条件 による評 価	JISB8341- 2008	省エネルギー 形圧縮機	E=B/(A-C)、E:エネルギー原単位 [-]、A:軸 動力 [kW]、B:吐出空気量 [m3/min]、C:回 収熱量 [kW]	JISB8341- 2008	省エネルギー 形圧縮機	JISB8341-2008に準拠。ただし、回収熱量につ いては温排水入口温度と温排水出口温度を次のとおり設 定することを条件とする。温排水入口温度:15℃、 温排水出口温度:50℃以上		
						オイルフリー式	容量、熱回収量	37kW、25kW 75kW、60kW		○	S-005780 S-005781	0.41 * 0.87 *	%	エネルギー 原単位	標準条件 による評 価	JISB8341- 2008	省エネルギー 形圧縮機	E=B/(A-C)、E:エネルギー原単位 [-]、A:軸 動力 [kW]、B:吐出空気量 [m3/min]、C:回 収熱量 [kW]	JISB8341- 2008	省エネルギー 形圧縮機	JISB8341-2008に準拠。ただし、回収熱量につ いては温排水入口温度と温排水出口温度を次のとおり設 定することを条件とする。温排水入口温度:15℃、 温排水出口温度:50℃以上		
L-001017	産業・業 務(業種 共通)	断熱	窓	Low-E複層ガラ ス	複層ガラスの中空層側のガラス面にLow-E金属膜をコーティング することで放射による熱移動量を低減したガラス。断熱を行うこ とによって、より少ないエネルギーで空調を行うことができるよう になる。	新築用	-	-		●	S-005234	2.5	W/m2K	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISR3107:19 98及び JISR3209:19 98	複ガラス類 の熱抵抗及 び複層ガラ スの算定方 法及び複層 ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠	JISR3107:19 98及び JISR3209:19 98	複ガラス類 の熱抵抗及 び複層ガラ スの算定方 法及び複層 ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠。た だし、L2-Tech水準は、LE3+Ar1+FL3のガラス構成に おける数値を示す。		
L-001018	産業・業 務(業種 共通)	断熱	窓	三層Low-E複層 ガラス	三層で構成される複層ガラスの中空層側のガラス面にLow-E金属 膜をコーティングすることで放射による熱移動量を低減したガラ ス。断熱を行うことによって、より少ないエネルギーで空調を行 うことができるようになる。	新築用	-	-		●	S-005233	0.8	W/m2K	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISR3107:19 98及び JISR3209:19 98	複ガラス類 の熱抵抗及 び複層ガラ スの算定方 法及び複層 ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠	JISR3107:19 98及び JISR3209:19 98	複ガラス類 の熱抵抗及 び複層ガラ スの算定方 法及び複層 ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠。た だし、L2-Tech水準は、LE3+Ar1+FL3+Ar1+LE3の ガラス構成における数値を示す。		
L-001019	産業・業 務(業種 共通)	断熱	窓	真空Low-E複層 ガラス	真空ガラスとLow-Eガラスを組み合わせた複層ガラスにすること で、放射による熱移動量を低減したガラス。断熱を行うことによ って、より少ないエネルギーで空調を行うことができるようになる。	新築用	-	-		●	S-005232	0.74	W/m2K	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISR3107: 1998及び JISR3209: 1998、た だし真空ガ ラスにつ いては、複 層ガラスの 性能の向上 に関する熱 損失防止建 築材料製造 事業者等の 判断の基準 等(平成26 年11月28日 経済産業省 告示第235 号)	複ガラス類 の熱抵抗及 び複層ガラ スの性能の 向上に関 する熱損失 防止建築材 料製造事業 者等の判断 の基準等 (平成26 年11月28日 経済産業省 告示第235 号)	JISR3107:1998及びJISR3209:1998、ただし真空 ガラスについては、複層ガラスの性能の向上に関 する熱損失防止建築材料製造事業者等の判断の基 準等(平成26年11月28日経済産業省告示第235 号)に準拠	JISR3107: 1998及び JISR3209: 1998、た だし真空ガ ラスにつ いては、複 層ガラスの 性能の向上 に関する熱 損失防止建 築材料製造 事業者等の 判断の基準 等(平成26 年11月28日 経済産業省 告示第235 号)	複ガラス類 の熱抵抗及 び複層ガラ スの性能の 向上に関 する熱損失 防止建築材 料製造事業 者等の判断 の基準等 (平成26 年11月28日 経済産業省 告示第235 号)	JISR3107:1998及びJISR3209:1998、ただし真空 ガラスについては、複層ガラスの性能の向上に関 する熱損失防止建築材料製造事業者等の判断の基 準等(平成26年11月28日経済産業省告示第235 号)に準拠。ただし、L2-Tech水準は、 LE3+Ar9+FL3+V0.2+FL3のガラス構成における数 値を示す。		
L-001020	産業・業 務(業種 共通)	断熱	窓	アタッチメント 付きLow-E複層 ガラス	複層ガラスの中空層側のガラス面にLow-E金属膜をコーティング することで放射による熱移動量を低減したガラス。アタッチメン トにより、ガラス部分のみを既存サッシに取り付けられるため、 大がかりな工事が必要としない。断熱を行うことによって、より 少ないエネルギーで空調を行うことができるようになる。	リフォーム用	-	-		●	S-005231	2.6	W/m2K	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISR3107:19 98及び JISR3209:19 98	複ガラス類 の熱抵抗及 び複層ガラ スの算定方 法及び複層 ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠	JISR3107:19 98及び JISR3209:19 98	複ガラス類 の熱抵抗及 び複層ガラ スの算定方 法及び複層 ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠。た だし、L2-Tech水準は、LE3+Ar4+FL3(アタッチ メント付き)のガラス構成における数値を示す。		
L-001021	産業・業 務(業種 共通)	断熱	窓	真空ガラス	2枚のガラスの間に真空層を設けることで、熱移動量を低減したガ ラス。断熱を行うことによって、より少ないエネルギーで空調を 行うことができるようになる。	リフォーム用	-	-		●	S-005230	1	W/m2K	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISR3107: 1998及び JISR3209: 1998、た だし真空ガ ラスにつ いては、複 層ガラスの 性能の向上 に関する熱 損失防止建 築材料製造 事業者等の 判断の基準 等(平成26 年11月28日 経済産業省 告示第235 号)	複ガラス類 の熱抵抗及 び複層ガラ スの性能の 向上に関 する熱損失 防止建築材 料製造事業 者等の判断 の基準等 (平成26 年11月28日 経済産業省 告示第235 号)	JISR3107:1998及びJISR3209:1998、ただし真空 ガラスについては、複層ガラスの性能の向上に関 する熱損失防止建築材料製造事業者等の判断の基 準等(平成26年11月28日経済産業省告示第235 号)に準拠	JISR3107: 1998及び JISR3209: 1998、た だし真空ガ ラスにつ いては、複 層ガラスの 性能の向上 に関する熱 損失防止建 築材料製造 事業者等の 判断の基準 等(平成26 年11月28日 経済産業省 告示第235 号)	複ガラス類 の熱抵抗及 び複層ガラ スの性能の 向上に関 する熱損失 防止建築材 料製造事業 者等の判断 の基準等 (平成26 年11月28日 経済産業省 告示第235 号)	JISR3107:1998及びJISR3209:1998、ただし真空 ガラスについては、複層ガラスの性能の向上に関 する熱損失防止建築材料製造事業者等の判断の基 準等(平成26年11月28日経済産業省告示第235 号)に準拠。ただし、L2-Tech水準は、 LE3+V0.2+FL3のガラス構成における数値を示 す。		

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標													
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	標準する規格		規格の名称		計算方法		標準する規格		規格の名称		試験条件	
														単 位	名 称	標準規格 による評 価	規格の名称	標準規格 による評 価	規格の名称	標準規格 による評 価	規格の名称	標準規格 による評 価	規格の名称		
L-001022	産業・業 務（業種 共通）	断熱	窓	現増施工型後付けLow-E複層ガラス	既存の窓ガラスの上からLow-Eガラスを貼ることでLow-E複層ガラスとして放射による熱移動量を低減したガラス。断熱を行うことによって、より少ないエネルギーで空調を行うことができるようになる。	リフォーム用	-	-	-	●	S-005229	1.6	W/m2K	熱貫流率	標準規格による評価	JISR3107:1998及びJISR3209:1998	板ガラス類の熱抵抗及び複層における熱貫流率の算定方法及び複層ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠	板ガラス類の熱抵抗及び複層における熱貫流率の算定方法及び複層ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠。ただし、L2-Tech水準は、FL6+A12+LE5のガラス構成における数値を示す。				
L-001023	産業・業 務（業種 共通）	断熱	窓	薄型Low-E複層ガラス	複層ガラスの中空層側のガラス面にLow-E金属膜をコーティングすることで放射による熱移動量を低減したガラス。アタッチメントを使用せずにガラス部分のみを既存サッシに取り付けられることができる。断熱を行うことによって、より少ないエネルギーで空調を行うことができるようになる。	リフォーム用	-	-	-	●	S-005228	2.5	W/m2K	熱貫流率	標準規格による評価	JISR3107:1998及びJISR3209:1998	板ガラス類の熱抵抗及び複層における熱貫流率の算定方法及び複層ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠	板ガラス類の熱抵抗及び複層における熱貫流率の算定方法及び複層ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠。ただし、L2-Tech水準は、FL6+A12+LE5のガラス構成をLE3+K42.5+FL3とする。				
L-001024	産業・業 務（業種 共通）	断熱	断熱材	断熱材(押出法ポリスチレンフォーム)	スチレン樹脂・発泡剤・難燃剤等を押出機中で混和・溶融し、大気中に連続的に押し出して発泡させ、成型後、板状製品に裁断加工することで製造する。	-	-	-	-	●	S-005227	0.022	W/m・K	熱伝導率	標準規格による評価	JISA9511:2006RまたはJISA9521:2014	発泡プラスチック保温材または建築用断熱材	JISA9511:2006RまたはJISA9521:2014に準拠	JISA9511:2006RまたはJISA9521:2014に準拠	発泡プラスチック保温材または建築用断熱材	JISA9511:2006RまたはJISA9521:2014に準拠				
L-001025	産業・業 務（業種 共通）	断熱	断熱材	断熱材(ガラスワール)	原材料を1400℃程度の高温で溶解、スピナーと呼ばれる繊維化装置に孔を開けることにより遠心力で繊維化し、結束剤を添加し綿状にすることで製造する。	天井用	-	-	-	-	●	S-005226	-	W/m・K	熱伝導率	標準規格による評価	JISA9521:2014	建築用断熱材	JISA9521:2014に準拠	JISA9521:2014に準拠	建築用断熱材	JISA9521:2014に準拠			
						壁用	-	-	-	-	-	●	S-005225	-	W/m・K	熱伝導率	標準規格による評価	JISA9521:2014	建築用断熱材	JISA9521:2014に準拠	JISA9521:2014に準拠	建築用断熱材	JISA9521:2014に準拠		
L-001026	産業・業 務（業種 共通）	断熱	断熱材	真空断熱材	家庭用冷蔵庫の断熱材として使用されている真空断熱材を使用した断熱材。住宅だけではなく非住宅のリフォーム(内貼断熱工法)にも向く。	-	-	-	-	●	S-005224	0.002 *	W/m・K	熱伝導率	標準規格による評価	JISA1412:2016	断熱材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法	JISA1412:2016に準拠	JISA1412:2016に準拠	断熱材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法	JISA1412:2016に準拠				
L-001027	産業・業 務（業種 共通）	乾燥	乾燥装置	蒸気リサイクル型濃縮乾燥装置	濃縮乾燥プロセスにおいて、被処理物から蒸発した蒸気は従来大気中に捨てられていたが、この蒸気を圧縮機で昇圧昇温し、被処理物の加熱源として再利用することにより、投入する化石燃料起因の蒸気量を大幅低減し、CO2排出量を削減に繋げる装置。	給水：沸点100℃（大気圧下）	蒸発能力	150Lh	-	●	S-005223	1.79 *	-	成績係数(COP)	実績値による評価	-	-	-	sysCOP=Cst*M/(Cst*S(n+Ce)*E) Cst: 水蒸気の100℃における全熱エンタルピーと25℃における顕熱エンタルピーの差(=2571kJ/kg) M: 被処理物から蒸発させた蒸気量[kg] S: ボイラー蒸気量[kg] n: 熱損失(蒸気熱量/燃料熱量) Ce: 換算係数 3.6MJ/kWh E: 電力消費量[kWh]	-	-	-	-	・本装置は水蒸気と電力を入力として被処理物を蒸留して濃縮・乾燥する装置であり、下記の試験で得たエネルギーのインプット(熱量換算)でアウトプット(蒸発蒸気の熱量)を除いて得た値(システムCOP)。・最終処分場性能指標に基づき、模擬深出水の濃縮・乾燥を1m3日以上、60日以上行った際のデータに基づいて評価。・電源の周波数は50Hzとする。・ボイラーはA重油吹きとする。	
						750Lh	●	S-005222	1.79 *	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
L-001028	産業・業 務（業種 共通）	動力他	洗濯機	業務用ヒートポンプ式衣類洗濯乾燥機	洗濯機と乾燥機からなる。乾燥機部に排熱回収ヒートポンプシステムを搭載し、エバポレータにて衣類乾燥後の湿った空気から集めた熱エネルギーを圧縮機で高温にする。高温の空気をガスクーラで110℃前後の(または「最大115℃」)温風熱として放出することで衣類を乾かす。従来のガス式と比較して、効率的に排熱回収可能な排熱回収ヒートポンプシステムを採用することで、効率よく乾燥できる。導入先として、福祉施設、病院、等、幅広い施設が挙げられる。	-	乾燥能力(JIMS規格)	9kg以上	○	S-005221	9.4	kWh/回	消費電力量	標準条件による評価	JIS C 9606及びJIS C 9608	電気洗濯機、回転ドラム式電気衣類乾燥機	JIS C 9606及びJIS C 9608に準拠。ただし、洗濯乾燥1回あたりの電力消費量は、試験(4回以上)によって得られた値の平均値とする。	JIS C 9606及びJIS C 9608	電気洗濯機、回転ドラム式電気衣類乾燥機	JIS C 9606及びJIS C 9608に準拠。ただし、処理物・処理条件は以下の通りとする。<処理物>被処理物：JIMS規格による標準洗濯乾燥容量の積100%バスタオル<処理条件>定格電圧：三相交流200V被処理物あたり水量：5.0Lkg以上被処理物あたり洗濯時間：洗濯、すすぎ、脱水工程で各0.5min/kg以上被処理物あたり乾燥時間：4.0min/kg以下回転速度：設定できる最速の設定(乾燥工程はメーカー推奨の回転速度)乾燥度(洗濯乾燥後)：97%以上試験回数：4回以上					
L-001032	産業・業 務（業種 共通）	エネルギー マネジメント	エネルギー マネジメント	BEMS(制御サービス、空調・熱源、中央方式)	オフィスビルにおけるエネルギー管理システム、及び同システムを用いたサービスのうち、セントラル空調を対象とした制御サービス。	空気熱源仕様	-	-	-	●	S-005220	-	%	エネルギー消費効率	具備機能による評価	-	-	-	-	-	-	-			
						水熱源仕様	-	-	-	-	●	S-005219	-	%	エネルギー消費効率	具備機能による評価	-	-	-	-	-	-	-	-	
L-001038	産業・業 務（業種 共通）	動力他	その他	サーバ用電子計算機	ネットワーク上でサービス等を提供する24時間稼働することを前提として設計された電子計算機であって、専らネットワークを介してアクセスされる。サーバ型電気駆動機に搭載されているCPUは専用OISC、RISC、IA64、IA32の4つに分類され、IA64、IA32といった汎用CPUはエネルギー消費効率が高い。	H※区分は省エネルギー法による	-	-	-	-	S-005218	-	W/GTOPS	エネルギー消費効率	標準規格による評価	省エネルギー法	省エネルギー法で定める計算式	-	省エネルギー法	省エネルギー法で定める試験条件	省エネルギー法で定める試験条件				
						※区分は省エネルギー法による	-	-	-	-	S-005217	-	W/GTOPS	エネルギー消費効率	標準規格による評価	省エネルギー法	省エネルギー法で定める計算式	-	省エネルギー法	省エネルギー法で定める試験条件	省エネルギー法で定める試験条件				
						J※区分は省エネルギー法による	-	-	-	-	S-005216	-	W/GTOPS	エネルギー消費効率	標準規格による評価	省エネルギー法	省エネルギー法で定める計算式	-	省エネルギー法	省エネルギー法で定める試験条件	省エネルギー法で定める試験条件				
						K※区分は省エネルギー法による	-	-	-	-	S-005215	-	W/GTOPS	エネルギー消費効率	標準規格による評価	省エネルギー法	省エネルギー法で定める計算式	-	省エネルギー法	省エネルギー法で定める試験条件	省エネルギー法で定める試験条件				

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標													
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				-	S-005214	-	測定単位		評価方法の タイプ	準拠する規格	規格の名称	計算方法		準拠する規格	規格の名称	試験条件	説 明
															単 位	名 称				計算式	省エネルギー 消費効率				
												W/GTOPS	エネルギー 消費効率	標準規格 による評 価	-	省エネ ルギー ー法	省エネルギー 法で定める計算式	-	省エネ ルギー ー法	省エネルギー 法で定める試験条件					
L-001054	産業(業 種固有)	建設	オフロー ド特殊自 動車(建 設機械・ 内燃機関 型)	油圧ショベル (内燃機関型)	建設現場で使用される重機の一つ。ショベルカーとも呼ばれており、アームの先端に取り付けられたバケットによって掘削等の作業を行う機械。軽油を燃料とするディーゼルエンジンで動力を得るものが一般的である。低燃費型エンジンの導入や、情報化施工による効率的な作業の実施により低炭素化を図ることで、CO2排出量の削減が可能となる。	標準バケット山積容量	0.25 m3以上0.36 m3未満	-	S-005213	-	-	kg/標準作 業	燃費	標準規格 による評 価	JCMASH020: 2014または JCMASH020: 2010	土工機械— エネルギー 消費量試験 方法—油圧 ショベル	JCMASH020:2014またはJCMASH020:2010に準拠	JCMASH020: 2014または JCMASH020: 2010	土工機械— エネルギー 消費量試験 方法—油圧 ショベル	JCMASH020:2014またはJCMASH020:2010に準拠					
							0.36 m3以上0.47 m3未満	-	S-005212	-	-														
							0.47 m3以上0.55 m3未満	-	S-005211	-	-														
							0.55 m3以上0.70 m3未満	-	S-005210	-	-														
							0.70 m3以上0.90 m3未満	-	S-005209	-	-														
							0.90 m3以上1.05 m3未満	-	S-005207	-	-														
							1.05 m3以上1.30 m3未満	-	S-005206	-	-														
							1.30 m3以上1.70 m3未満	-	S-005205	-	-														
L-001055	産業(業 種固有)	建設	オフロー ド特殊自 動車(建 設機械・ 内燃機関 型)	ブルドーザ(内 燃機関型)	土砂の掘削、押し、盛土、整地作業等に用いられる機械。軽油を燃料とするディーゼルエンジンで動力を得るものが一般的である。ディーゼルエンジンの性能向上や、アイドリングの自動停止機能等の装備の他、情報化施工にも対応しており、低炭素化が可能となっている。	定格出力	19kW以上75kW未満	-	S-005204	-	-	g/kWh	燃費	標準規格 による評 価	JCMASH021: 2010	土工機械— 燃料消費量 試験方法	JCMASH021:2010に準拠	JCMASH021: 2010	土工機械— 燃料消費量 試験方法	JCMASH021:2010に準拠					
							75kW以上170kW未満	-	S-005202	-	-														
							170kW以上300kW未満	-	S-005201	-	-														
L-001056	産業(業 種固有)	建設	オフロー ド特殊自 動車(建 設機械・ 内燃機関 型)	ホイールローダ (内燃機関型)	建設現場で使用される重機の一つ。前方に設置されたバケットで土石をすくいあげ、トラック等に積み込む機械。軽油を燃料とするディーゼルエンジンで動力を得るものが一般的である。低燃費型のエンジンの導入や、情報化施工による効率的な作業の実施により低炭素化を図ることで、CO2排出量の削減が可能となる。	定格出力	40kW以上110kW未満	-	S-005199	-	-	g/l	燃費	標準規格 による評 価	JCMASH022: 2015または JCMASH022: 2010	土工機械— エネルギー 消費量試験 方法—ホ イールロー ダまたは土 工機械—燃 料消費量試 験方法—ホ イールロー ダ	JCMASH022:2015またはJCMASH022:2010に準拠	JCMASH022: 2015または JCMASH022: 2010	土工機械— エネルギー 消費量試験 方法—ホ イールロー ダ	JCMASH022:2015またはJCMASH022:2010に準拠					
							110kW以上230kW未満	-	S-005807	-	-														
L-001058	産業(業 種固有)	建設	オフロー ド特殊自 動車(建 設機械・ ハイブリ ッド型)	油圧ショベル (ハイブリッド 型)	建設現場で使用される重機の一つ。ショベルカーとも呼ばれており、アームの先端に取り付けられたバケットによって掘削等の作業を行う機械。軽油を燃料とするディーゼルエンジンで動力を得るものが一般的である。ハイブリッド型は、動力としてエンジンと電気モータを組み合わせた油圧ショベル。旋回減速時のエネルギーを回収して電気エネルギーとして蓄電し、加速時の補助エネルギーとして利用することで、エンジンで消費される軽油消費量を低減し、CO2排出量の削減が可能となる。	標準バケット山積容量	0.25 m3以上0.36 m3未満	-	S-005198	-	-	kg/標準作 業	燃費	標準規格 による評 価	JCMASH020: 2014または JCMASH020: 2010	土工機械— エネルギー 消費量試験 方法—油圧 ショベル	JCMASH020:2014またはJCMASH020:2010に準拠	JCMASH020: 2014または JCMASH020: 2010	土工機械— エネルギー 消費量試験 方法—油圧 ショベル	JCMASH020:2014またはJCMASH020:2010に準拠					
							0.70 m3以上0.90 m3未満	-	S-005196	-	-														
L-001061	産業(業 種固有)	建設	オフロー ド特殊自 動車(建 設機械・ 電気型)	油圧ショベル (電動型)	建設現場で使用される重機の一つ。ショベルカーとも呼ばれており、アームの先端に取り付けられたバケットによって掘削等の作業を行う機械。軽油を燃料とするディーゼルエンジンで動力を得るものが一般的である。電動型は、動力として電気モータを使用する油圧ショベル。従来型の油圧ショベルで燃料として使用されていた軽油を電力で代替することにより、CO2排出量の削減が可能となる。	標準バケット山積容量	0.25 m3以上0.36 m3未満	-	S-005195	-	-	kWh/標準 作業	電力消費量	標準規格 による評 価	JCMASH020: 2014または JCMASH020: 2010	土工機械— エネルギー 消費量試験 方法—油圧 ショベル	JCMASH020:2014またはJCMASH020:2010に準拠	JCMASH020: 2014または JCMASH020: 2010	土工機械— エネルギー 消費量試験 方法—油圧 ショベル	JCMASH020:2014またはJCMASH020:2010に準拠					

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標														
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	準拠する規格	規格の名称	計算法		試験条件							
												単位	名称				計算式	準拠する規格	規格の名称	説明						
						0.70 m3以上0.90 m3未満	-	S-005194	-	-	-															
L-001062	産業(業 種固有)	建設	オフロー ド特殊自 動車(建 設機械・ 電気型)	ブルドーザ(電 動型)	土砂の掘削、押土、盛土、整地作業等に用いられる機械。軽油を 燃料とするディーゼルエンジンで動力を得るものが一般的であ る。電動型は、ディーゼルエンジンによって発電機を駆動させ、 電動モータにより稼働するブルドーザ。電力駆動を採り入れるこ とで低燃費化を実現している。	定格出力	19kW以上75kW未満	-	S-005193	-	g/kWh	燃費	標準規格 による評 価	JCMASH021 2010	土工機械一 燃料消費量 試験方法	JCMASH0212010に準拠	JCMASH021 2010	土工機械一 燃料消費量 試験方法	JCMASH0212010に準拠							
						75kW以上170kW未満	-	S-005192	-	-	-															
						170kW以上300kW未満	-	S-005191	-	-	-															
L-001088	産業(業 種固有)	食料品製 造業	洗浄乾燥 機	遠心脱水型コン テナ(容器)洗 浄乾燥機	洗浄水加熱用循環加熱ヒートポンプ、リンス水加熱用空気熱源 ヒートポンプ、遠心脱水型乾燥からなる。循環加熱ヒートポンプ によって保温された洗浄槽で洗浄し、空気加熱ヒートポンプで加 熱された湯でリンスをし、遠心脱水機で乾燥をする設備。熱源機 でつくった熱風で乾燥する熱風方式と遠心脱水機で乾燥する遠心 脱水方式がある。従来型と比較してヒートポンプの採用により効 率的に洗浄ができ、遠心脱水機の採用により少ない水、消費エネ ルギーで乾燥ができる。食品・飲料工場や自動車工場等、幅広い 用途へ導入が可能である。	処理速度	75～150サイクル/h	○	S-005190	0.049	kWh/台	コンテナ1 台あたりの 電力消費量	標準条件 による評 価	-	-	$P=(A+B+C+D+E+F+G+H)/I$ 、P: コンテナ1台あ たりの電力消費量 [kWh]、A: 主搬送コンベア の電力消費量 [kWh]、B: 搬入コンベアの電 力消費量 [kWh]、C: 洗浄ポンプの電力消費 量 [kWh]、D: リンスポンプの電力消費量 [kWh]、E: 洗浄槽回転の電力消費量 [kWh]、F: 遠心脱水機電力消費量 [kWh]、G: 排 気ファン [kWh]、H: ヒートポンプの電力消 費量 [kWh]、I: コンテナ総数 [台]	-	-	-	-	<処理物> コンテナ: 「食品クレート標準 共有 化ガイドライン」で規定されている食品クレート 標準1型、またはII型※・採用<処理条件> 高 温水ヒートポンプ(空気熱源・循環式)(洗浄 側) 温水出口温度: 65℃以上70℃以下、乾燥温 度: 16℃、湿球温度: 12℃、温水出入口温度差: 5℃ 高温水ヒートポンプ(空気熱源・一過式) (リンス側): JRA4080/2014に準拠 含水率(脱 水後): 1%未満(ワーク重量に対する割合) 汚 れ度(洗浄前/洗浄後) APT値: 3000RLU以上/ 1000RLU未満					
						151～225サイクル/h	○	S-005189	0.036																	
L-001234	産業(業 種固有)	食料品製 造業	業務用冷 凍機器	低温用自然冷媒 冷凍機(アンモ ニア/CO2二次 冷媒システム)	一次冷媒(アンモニア)を用いた冷凍装置で二次冷媒(CO2)を低 温まで冷却し、食品等を凍結装置するフリーザー装置などに供給 する。	装置内温度-42℃超-25℃未満	100kW以下	○	S-005793	1.62 *	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	$COP=P/ W $ COP:成績係数 Φ 定格能力[W] P:定格消 費電力[W]	-	-	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、CO2温度、 凝縮温度をそれぞれ次のとおり設定するこ とを条件とする。CO2温度: 42℃超-27℃以下、冷却水 入口温度: 32℃					
						100kW超150kW以下	○	S-005794	1.62 *																	
						150kW超	○	S-005795	1.7 *																	
L-001090	産業(業 種固有)	繊維工業	乾燥機	熱回収式工業用 繊維物乾燥機	ネットコンベアー内の熱風ノズルにより熱風を吹付けることによ って、繊維物の染色・水洗後の乾燥、防縮・風合加工を行う設 備。乾燥機内で繊維物を乾燥して発生した水蒸気は排気ファンに より排出され最適な状態に保たれる。熱風の熱源としては、ガス 直接燃焼による加熱方式と、蒸気、または熱媒体油による熱交換 器を用いた間接加熱方式がある。	1室3段	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW 未満	○	S-005184	3.13	MJ/kg	単位重量当 たりの熱量	シミュ レーショ ンによる 評価	-	-	$Q=(qA+qB+qC+qD+qE)+m$ 、Q:処理物の単位重 量当たりの熱量 [MJ/kg]、qA:保温版(床面含 む)からの放熱量 [MJ/h]、qB:処理物の昇温熱 量 [MJ/h]、qC:含有水分の昇温・蒸発熱量 [MJ/h]、qD:給気・排気による損失熱量 [MJ/h]、qE:出入口からの吹出し吸込み損失熱 量 [MJ/h]、m:単位時間当たりに処理した生地重 量 [kg/h] ※小数点以下を切り捨て	-	-	-	-	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操 業状態において、処理物、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。<処理物>、素材: ポリエステル100%織物、布幅: 1540mmW、目 付: 200gm2、<処理条件>処理温度: 140℃、 水分率(入口/出口): 70～75%/2%以下				
						2000mmW以上2300mmW 未満	○	S-005183	3.22																	
						2300mmW以上2500mmW 以下	○	S-005182	3.4																	
						1室5段	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW 未満	○	S-005181	3.06	MJ/kg	単位重量当 たりの熱量	シミュ レーショ ンによる 評価	-	-	$Q=(qA+qB+qC+qD+qE)+m$ 、Q:処理物の単位重 量当たりの熱量 [MJ/kg]、qA:保温版(床面含 む)からの放熱量 [MJ/h]、qB:処理物の昇温熱 量 [MJ/h]、qC:含有水分の昇温・蒸発熱量 [MJ/h]、qD:給気・排気による損失熱量 [MJ/h]、qE:出入口からの吹出し吸込み損失熱 量 [MJ/h]、m:単位時間当たりに処理した生地重 量 [kg/h] ※小数点以下を切り捨て	-	-	-	-	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操 業状態において、処理物、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。<処理物>、素材: ポリエステル100%織物、布幅: 1540mmW、目 付: 200gm2、<処理条件>処理温度: 140℃、 水分率(入口/出口): 70～75%/2%以下				
						2000mmW以上2300mmW 未満	○	S-005180	3.15																	
						2300mmW以上2500mmW 以下	○	S-005179	3.33																	
						2室3段	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW 未満	○	S-005178	2.85	MJ/kg	単位重量当 たりの熱量	シミュ レーショ ンによる 評価	-	-	$Q=(qA+qB+qC+qD+qE)+m$ 、Q:処理物の単位重 量当たりの熱量 [MJ/kg]、qA:保温版(床面含 む)からの放熱量 [MJ/h]、qB:処理物の昇温熱 量 [MJ/h]、qC:含有水分の昇温・蒸発熱量 [MJ/h]、qD:給気・排気による損失熱量 [MJ/h]、qE:出入口からの吹出し吸込み損失熱 量 [MJ/h]、m:単位時間当たりに処理した生地重 量 [kg/h] ※小数点以下を切り捨て	-	-	-	-	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操 業状態において、処理物、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。<処理物>、素材: ポリエステル100%織物、布幅: 1540mmW、目 付: 200gm2、<処理条件>処理温度: 140℃、 水分率(入口/出口): 70～75%/2%以下				

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス				L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標									
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)	認定 対象			測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件				
												単位	名称		計算式	単位	規格	規格	説明		
						2000mmW以上2300mmW 未満	○	S-005177	2.91												
						2300mmW以上2500mmW 以下	○	S-005176	3.01												
					2室5段	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW 未満	○	S-005175	2.81	MJ/kg	単位重量当 たりの熱量	シミュ レーショ ンによる 評価	-	-	-	$Q = (qA + qB + qC + qD + qE) \cdot m$ 、Q:処理布の単位重 量当たりの熱量 [MJ/kg]、qA:保温版(床面含 む)からの放熱量 [MJ/h]、qB:処理布の昇温熱 量 [MJ/h]、qC:含有水分の昇温・蒸発熱 量 [MJ/h]、qD:給気・排気による損失熱 量 [MJ/h]、qE:出入口からの吹出し吸込み損失熱 量 [MJ/h]、m:単位時間当たり処理した生地重 量 [kg/h] ※小数点以下を切り捨て	-	-	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操 業状態において、処理布、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。<処理布>、素材： ポリエステル100%織物、布幅：1540mmW、目 付：200g/m2、<処理条件>処理温度：140℃、 水分率(入口/出口)：70～75%/2%以下	
						2000mmW以上2300mmW 未満	○	S-005174	2.86												
						2300mmW以上2500mmW 以下	○	S-005173	2.94												
					3室2段	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW 未満	○	S-005172	2.81	MJ/kg	単位重量当 たりの熱量	シミュ レーショ ンによる 評価	-	-	-	$Q = (qA + qB + qC + qD + qE) \cdot m$ 、Q:処理布の単位重 量当たりの熱量 [MJ/kg]、qA:保温版(床面含 む)からの放熱量 [MJ/h]、qB:処理布の昇温熱 量 [MJ/h]、qC:含有水分の昇温・蒸発熱 量 [MJ/h]、qD:給気・排気による損失熱 量 [MJ/h]、qE:出入口からの吹出し吸込み損失熱 量 [MJ/h]、m:単位時間当たり処理した生地重 量 [kg/h] ※小数点以下を切り捨て	-	-	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操 業状態において、処理布、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。<処理布>、素材： ポリエステル100%織物、布幅：1540mmW、目 付：200g/m2、<処理条件>処理温度：140℃、 水分率(入口/出口)：70～75%/2%以下	
						2000mmW以上2300mmW 未満	○	S-005171	2.86												
						2300mmW以上2500mmW 以下	○	S-005170	2.94												
					4室2段	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW 未満	-	S-005169	-	MJ/kg	単位重量当 たりの熱量	シミュ レーショ ンによる 評価	-	-	-	$Q = (qA + qB + qC + qD + qE) \cdot m$ 、Q:処理布の単位重 量当たりの熱量 [MJ/kg]、qA:保温版(床面含 む)からの放熱量 [MJ/h]、qB:処理布の昇温熱 量 [MJ/h]、qC:含有水分の昇温・蒸発熱 量 [MJ/h]、qD:給気・排気による損失熱 量 [MJ/h]、qE:出入口からの吹出し吸込み損失熱 量 [MJ/h]、m:単位時間当たり処理した生地重 量 [kg/h] ※小数点以下を切り捨て	-	-	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操 業状態において、処理布、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。<処理布>、素材： ポリエステル100%織物、布幅：1540mmW、目 付：200g/m2、<処理条件>処理温度：140℃、 水分率(入口/出口)：70～75%/2%以下	
						2000mmW以上2300mmW 未満	-	S-005168	-												
						2300mmW以上2500mmW 以下	-	S-005166	-												
L-001091	産業(業 種固有)	繊維工業	熱処理機	熱回収式工業用 繊維物熱処理機	繊維物の乾燥後に、繊維物の形態を整え、寸法を安定化するため に熱固定を行う設備。熱固定を行う際には、熱風ノズルにより織 織物に熱風を吹付ける。繊維物を加熱することによって発生した 熱処理機内のガスは排気ファンにより排出され最適な状態に保た れる。熱風の熱源としては、ガス直接燃焼による加熱方式と、熱 媒体油による熱交換器を用いた間接加熱方式がある。	3室	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW 未満	○	S-005165	2.1	MJ/kg	単位重量当 たりの熱量	シミュ レーショ ンによる 評価	-	-	-	$Q = (qA + qB + qC + qD + qE) \cdot m$ 、Q:処理布の単位重 量当たりの熱量 [MJ/kg]、qA:保温版(床面含 む)からの放熱量 [MJ/h]、qB:処理布の昇温熱 量 [MJ/h]、qC:含有水分の昇温・蒸発熱 量 [MJ/h]、qD:給気・排気による損失熱 量 [MJ/h]、qE:出入口からの吹出し吸込み損失熱 量 [MJ/h]、m:単位時間当たり処理した生地重 量 [kg/h] ※小数点以下を切り捨て	-	-	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操 業状態において、処理布、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。<処理布>、素材： ポリエステル100%織物、布幅：1540mmW、目 付：200g/m2、<処理条件>処理温度：140℃、水分 率(入口/出口)：70～75%/2%以下
						2000mmW以上2300mmW 未満	○	S-005163	2.12												
						2300mmW以上2500mmW 以下	○	S-005162	2.14												
					4室	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW 未満	○	S-005161	2.05	MJ/kg	単位重量当 たりの熱量	シミュ レーショ ンによる 評価	-	-	-	$Q = (qA + qB + qC + qD + qE) \cdot m$ 、Q:処理布の単位重 量当たりの熱量 [MJ/kg]、qA:保温版(床面含 む)からの放熱量 [MJ/h]、qB:処理布の昇温熱 量 [MJ/h]、qC:含有水分の昇温・蒸発熱 量 [MJ/h]、qD:給気・排気による損失熱 量 [MJ/h]、qE:出入口からの吹出し吸込み損失熱 量 [MJ/h]、m:単位時間当たり処理した生地重 量 [kg/h] ※小数点以下を切り捨て	-	-	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操 業状態において、処理布、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。<処理布>、素材： ポリエステル100%織物、布幅：1540mmW、目 付：200g/m2、<処理条件>処理温度：140℃、水分 率(入口/出口)：70～75%/2%以下	
						2000mmW以上2300mmW 未満	○	S-005160	2.05												

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス		認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標												
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)				クラス能力(単位)	測定単位		評価方法の タイプ	計算方法				試験条件				
												単位	名称		単価する規格	規格の名称	計算式		単価する規格	規格の名称	説明		
										2.08													
							5室	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW未満	○	S-005157	2.01	MJ/kg	単位重量当たりの熱量	シミュレーションによる評価	-	-	-	-	$Q = (qA + qB + qC + qD + qE) \cdot m$ 、Q:処理布の単位重量当たりの熱量 [MJ/kg]、qA:保温板(床面含む)からの放熱量 [MJ/h]、qB:処理布の昇温熱量 [MJ/h]、qC:含有水分の昇温・蒸発熱量 [MJ/h]、qD:給気・排気による損失熱量 [MJ/h]、qE:出入口からの吹出し吸込み損失熱量 [MJ/h]、m:単位時間当たり処理した生地重量 [kg/h] ※小数点以下を切り捨て	-	-	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操業状態において、処理布、処理条件を次のとおり設定することを条件とする。<処理布>素材：ポリエステル100%織物、布幅：1540mmW、目付：200g/m2、<処理条件>処理温度：140℃、水分率(入口/出口)：70~75%/2%以下
												2.01											
												2.03											
							6室	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW未満	○	S-005153	1.98	MJ/kg	単位重量当たりの熱量	シミュレーションによる評価	-	-	-	-	$Q = (qA + qB + qC + qD + qE) \cdot m$ 、Q:処理布の単位重量当たりの熱量 [MJ/kg]、qA:保温板(床面含む)からの放熱量 [MJ/h]、qB:処理布の昇温熱量 [MJ/h]、qC:含有水分の昇温・蒸発熱量 [MJ/h]、qD:給気・排気による損失熱量 [MJ/h]、qE:出入口からの吹出し吸込み損失熱量 [MJ/h]、m:単位時間当たり処理した生地重量 [kg/h] ※小数点以下を切り捨て	-	-	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操業状態において、処理布、処理条件を次のとおり設定することを条件とする。<処理布>素材：ポリエステル100%織物、布幅：1540mmW、目付：200g/m2、<処理条件>処理温度：140℃、水分率(入口/出口)：70~75%/2%以下
												1.99											
												2											
							7室	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW未満	○	S-005150	1.96	MJ/kg	単位重量当たりの熱量	シミュレーションによる評価	-	-	-	-	$Q = (qA + qB + qC + qD + qE) \cdot m$ 、Q:処理布の単位重量当たりの熱量 [MJ/kg]、qA:保温板(床面含む)からの放熱量 [MJ/h]、qB:処理布の昇温熱量 [MJ/h]、qC:含有水分の昇温・蒸発熱量 [MJ/h]、qD:給気・排気による損失熱量 [MJ/h]、qE:出入口からの吹出し吸込み損失熱量 [MJ/h]、m:単位時間当たり処理した生地重量 [kg/h] ※小数点以下を切り捨て	-	-	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操業状態において、処理布、処理条件を次のとおり設定することを条件とする。<処理布>素材：ポリエステル100%織物、布幅：1540mmW、目付：200g/m2、<処理条件>処理温度：140℃、水分率(入口/出口)：70~75%/2%以下
												1.96											
												1.98											
							8室	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW未満	○	S-005147	1.95	MJ/kg	単位重量当たりの熱量	シミュレーションによる評価	-	-	-	-	$Q = (qA + qB + qC + qD + qE) \cdot m$ 、Q:処理布の単位重量当たりの熱量 [MJ/kg]、qA:保温板(床面含む)からの放熱量 [MJ/h]、qB:処理布の昇温熱量 [MJ/h]、qC:含有水分の昇温・蒸発熱量 [MJ/h]、qD:給気・排気による損失熱量 [MJ/h]、qE:出入口からの吹出し吸込み損失熱量 [MJ/h]、m:単位時間当たり処理した生地重量 [kg/h] ※小数点以下を切り捨て	-	-	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操業状態において、処理布、処理条件を次のとおり設定することを条件とする。<処理布>素材：ポリエステル100%織物、布幅：1540mmW、目付：200g/m2、<処理条件>処理温度：140℃、水分率(入口/出口)：70~75%/2%以下
												1.95											
												1.96											
L-001089	産業(業種固有)	化学工業	蒸留塔	内部熱交換最適化蒸留システム	濃縮部(高圧塔)と回収部(低圧塔)が物理的に分かれており、その間に圧縮機が設置されている蒸留塔。濃縮部の圧力をわずかに上げることにより内部温度を上昇させた後、熱を自然循環によって回収部に移動させ蒸留を行う。外部冷却により廃棄せざるを得なかった熱を自己再利用するため、リボイラーに供給する熱エネルギーを大幅に削減可能。	蒸留塔が高圧部(濃縮部)と低圧部(回収部)とで物理的に分離しており一体でないもの			○	S-005188	-	%	エネルギー消費効率	具備機能による評価	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L-001218	産業(業種固有)	化学工業	その他	MVR型(自己蒸気機械圧縮型)蒸発濃縮装置	主要機器はヒータ(蒸発器)と蒸気圧縮機で、これにコンデンサーや予熱器、ポンプ箱が付属する装置である。蒸発器のヒータにて蒸発した蒸気を圧縮機で昇圧・昇温し自己のヒータの加熱源として再利用する技術で、蒸発潜熱を100%利用できる。定常運転時には加熱用蒸気や冷却水が殆ど不要となるため、省エネルギー性が極めて高い。本装置は加熱側と蒸発側の温度差が小さく、ヒータ構造もシンプルなので、各種プロセス溶液や一般排水の濃縮、或いは溶剤含有排水からの水回収及び溶剤回収等幅広い分野で使用されている。	ヒーター形式：液膜降下式			○	S-005762	20	-	成績係数(COP)	標準条件による評価	-	-	-	-	-	-	-	-	加熱面での蒸気温度：80℃、加熱側圧力：47.4kPa、圧縮機圧縮温度：6℃

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標													
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	準拠する規格	規格の名称	計算方法		準拠する規格	規格の名称	試験条件 説明				
												単位	名称				計算式	試験条件							
						ヒーター形式：水平管式	-	-	-	S-005763	20	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Q/P、COP：成績係数、Q：プロセス流体 の蒸発潜熱で消費した熱エネルギー [kW]、P： 圧縮機で消費した電気エネルギー [kW]	-	-	加熱面での蒸気温度：76℃、加熱側圧力： 39.3kPa、圧縮機圧縮温度：6℃					
L-001092	運輸	自動車	自動車 (内燃機 関型)	ガソリン・ ディーゼル車 (乗用車)	(ガソリン車)ガソリンエンジンを搭載した自動車、国内における 乗用車の大半がガソリン車である。(ディーゼル車)ディーゼルエ ンジンを搭載した自動車。	ガソリン車、軽自動車	-	軽自動車	-	S-005143	-	km/l	燃費	標準規格 による評 価	JISD1012:20 05に基づく JC08モード	自動車-燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠	JISD1012:20 05に基づく JC08モード	自動車-燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠					
						ガソリン車、小型自動車	-	SUV	-	S-005142	-	km/l	燃費	標準規格 による評 価	JISD1012:20 05に基づく JC08モード	自動車-燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠	JISD1012:20 05に基づく JC08モード	自動車-燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠					
						コンパクトカー	-	S-005140	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
						セダン	-	S-005139	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
						ミニバン	-	S-005138	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
						ワゴン	-	S-005137	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
						ガソリン車、普通自動車	-	SUV	-	S-005136	-	km/l	燃費	標準規格 による評 価	JISD1012:20 05に基づく JC08モード	自動車-燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠	JISD1012:20 05に基づく JC08モード	自動車-燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠					
						スポーツカー	-	S-005135	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
						セダン	-	S-005134	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
						ミニバン	-	S-005132	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
						ワゴン	-	S-005131	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
						ディーゼル車、小型自動車	-	コンパクトカー	-	S-005130	-	km/l	燃費	標準規格 による評 価	JISD1012:20 05に基づく JC08モード	自動車-燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠	JISD1012:20 05に基づく JC08モード	自動車-燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠					
ディーゼル車、普通自動車	-	SUV	-	S-005129	-	km/l	燃費	標準規格 による評 価	JISD1012:20 05に基づく JC08モード	自動車-燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠	JISD1012:20 05に基づく JC08モード	自動車-燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠											
セダン	-	S-005128	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ミニバン	-	S-005127	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ワゴン	-	S-005126	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
L-001093	運輸	自動車	自動車 (内燃機 関型)	ディーゼル・天 然ガス車(商用 車・重量車)	(ディーゼル車)ディーゼルエンジンを搭載した自動車。(天然ガス 車)現在、国内で使用されている天然ガス自動車の多くは、ディー ゼル車やガソリン車をベースとし、改造することによって天然ガ ス車として走行している。一方、メーカーにおいては圧縮天然ガ ス(CNG)エンジンの開発も進められている。	貨物自動車、トラクタ	-	区分1※区分は省エネル ギー法による	-	S-005125	-	km/l	燃費	標準規格 による評 価	-	国土交通省 審査に準ず る(都市内 走行モード と都市間走 行モードそ れぞれによ る単行多車	国土交通省 審査で定める計算式	-	国土交通省 審査に準ず る(都市内 走行モード と都市間走 行モードそ れぞれによ る単行多車	国土交通省 審査で定める試験条件					

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標										
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	準拠する規格	規格の名称	計算方法		準拠する規格	規格の名称	試験条件	
												単 位	名 称				計算式	説 明				
						区分2※区分は省エネルギー法による	-	S-005123	-													
					貨物自動車、トラクタ以外	区分1※区分は省エネルギー法による	-	S-005122	-	km/l	燃費	標準規格による評価	-	国土交通省審査に準ずる(都市内走行モードと都市間走行モードそれぞれによる走行を車種等によって異なる割合で合算した燃費値)	国土交通省審査で定める計算式	-	国土交通省審査に準ずる(都市内走行モードと都市間走行モードそれぞれによる走行を車種等によって異なる割合で合算した燃費値)	国土交通省審査で定める試験条件				
						区分2※区分は省エネルギー法による	-	S-005121	-													
						区分3※区分は省エネルギー法による	-	S-005120	-													
						区分4※区分は省エネルギー法による	-	S-005119	-													
						区分5※区分は省エネルギー法による	-	S-005118	-													
						区分6※区分は省エネルギー法による	-	S-005116	-													
						区分7※区分は省エネルギー法による	-	S-005115	-													
						区分8※区分は省エネルギー法による	-	S-005114	-													
						区分9※区分は省エネルギー法による	-	S-005113	-													
						区分10※区分は省エネルギー法による	-	S-005111	-													
						区分11※区分は省エネルギー法による	-	S-005108	-													
					乗用自動車、一般バス	区分1※区分は省エネルギー法による	-	S-005107	-	km/l	燃費	標準規格による評価	-	国土交通省審査に準ずる(都市内走行モードと都市間走行モードそれぞれによる走行を車種等によって異なる割合で合算した燃費値)	国土交通省審査で定める計算式	-	国土交通省審査に準ずる(都市内走行モードと都市間走行モードそれぞれによる走行を車種等によって異なる割合で合算した燃費値)	国土交通省審査で定める試験条件				
						区分2※区分は省エネルギー法による	-	S-005106	-													
						区分3※区分は省エネルギー法による	-	S-005105	-													
						区分4※区分は省エネルギー法による	-	S-005104	-													
						区分5※区分は省エネルギー法による	-	S-005103	-													

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認証 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標										
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力 (名称)	クラス 能力 (単位)				測定単位		評価方法の タイプ	準拠する規格	規格の名称	計算方法		準拠する規格	規格の名称	試験条件	
												単 位	名 称				計算式	単位の規格			規格の名称	説 明
									-	S-005102	-											
									-	S-005101	-											
									-	S-005099	-	km/l	燃費	標準規格 による評 価		国土交通省 審査に準ず る（都市内 走行モード と都市間走 行モードそ れぞれによ る走行を車 種等によつ て異なる割 合で合算し た燃費値）	国土交通省審査で定める計算式		国土交通省 審査に準ず る（都市内 走行モード と都市間走 行モードそ れぞれによ る走行を車 種等によつ て異なる割 合で合算し た燃費値）	国土交通省審査で定める試験条件		
									-	S-005098	-											
									-	S-005097	-											
									-	S-005096	-											
									-	S-005095	-											
L-001095	運輸	自動車	自動車 (ハイブリッド 型)	ハイブリッド自 動車 (乗用車)	動力として内燃機関と電気モータを組み合わせた自動車。一時的 にエネルギーをバッテリーやキャパシタに貯蔵し、必要に応じ電 気モータを介して動力とする。効率の低いエンジン作動区域にハ イブリッド技術を使うことにより高効率運転が可能となる。	小型自動車	-	コンパクトカー	-	S-005094	-	km/l	燃費	標準規格 による評 価	JISD1012:20 05に基づく JC08モード	自動車-燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠	JISD1012:20 05に基づく JC08モード	自動車-燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠		
								セダン	-	S-005093	-											
								ミニバン	-	S-005092	-											
								ワゴン	-	S-005090	-											
								普通自動車	-	S-005089	-	km/l	燃費	標準規格 による評 価	JISD1012:20 05に基づく JC08モード	自動車-燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠	JISD1012:20 05に基づく JC08モード	自動車-燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠		
								スポーツカー	-	S-005088	-											
								セダン	-	S-005087	-											
								ミニバン	-	S-005085	-											
								ワゴン	-	S-005083	-											
L-001096	運輸	自動車	自動車 (ハイブリッド 型)	ハイブリッド自 動車 (商用車・ 重量車)	動力として内燃機関と電気モータを組み合わせた自動車。一時的 にエネルギーをバッテリーやキャパシタに貯蔵し、必要に応じ電 気モータを介して動力とする。効率の低いエンジン作動区域にハ イブリッド技術を使うことにより高効率運転が可能となる。	トラクタ以外	-	区分1※区分は省エネルギー法による	-	S-005082	-	km/l	燃費	標準規格 による評 価		国土交通省 審査に準ず る（都市内 走行モード と都市間走 行モードそ れぞれによ る走行を車 種等によつ て異なる割 合で合算し た燃費値）	国土交通省審査で定める計算式		国土交通省 審査に準ず る（都市内 走行モード と都市間走 行モードそ れぞれによ る走行を車 種等によつ て異なる割 合で合算し た燃費値）	国土交通省審査で定める試験条件		
								区分2※区分は省エネルギー法による	-	S-005081	-											

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標											
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件						
												単 位	名 称		準拠する規格	規格の名称	準拠する規格	規格の名称	説 明				
						区分3※区分は省エネルギー法による	-	S-005080	-														
						区分4※区分は省エネルギー法による	-	S-005079	-														
						区分5※区分は省エネルギー法による	-	S-005078	-														
L-001098	運輸	自動車	自動車 (電気型)	電気自動車(乗用車)	従来の内燃機関のかわりに、バッテリーに充電した電力を動力源としてモーターで走行する自動車。	軽自動車	-	S-005076	-	Wh/km	交流充電電力消費量	標準規格による評価	JISD1301:2001に基づくJC08モード	電気自動車一充電走行距離及び交流充電電力消費率試験方法に基づくJC08モード	JISD1301:2001に基づくJC08モードに準拠	JISD1301:2001に基づくJC08モード	電気自動車一充電走行距離及び交流充電電力消費率試験方法に基づくJC08モード	JISD1301:2001に基づくJC08モードに準拠	JISD1301:2001に基づくJC08モード	電気自動車一充電走行距離及び交流充電電力消費率試験方法に基づくJC08モード	JISD1301:2001に基づくJC08モードに準拠	JISD1301:2001に基づくJC08モード	電気自動車一充電走行距離及び交流充電電力消費率試験方法に基づくJC08モード
						普通自動車	-	S-005075	-	Wh/km	交流充電電力消費量	標準規格による評価	JISD1301:2001に基づくJC08モード	電気自動車一充電走行距離及び交流充電電力消費率試験方法に基づくJC08モード	JISD1301:2001に基づくJC08モードに準拠	JISD1301:2001に基づくJC08モード	電気自動車一充電走行距離及び交流充電電力消費率試験方法に基づくJC08モード	JISD1301:2001に基づくJC08モードに準拠	JISD1301:2001に基づくJC08モード	電気自動車一充電走行距離及び交流充電電力消費率試験方法に基づくJC08モード	JISD1301:2001に基づくJC08モードに準拠	JISD1301:2001に基づくJC08モード	電気自動車一充電走行距離及び交流充電電力消費率試験方法に基づくJC08モード
L-001106	家庭	給湯	給湯器 (ヒートポンプ)	家庭用エコキュート	自然冷媒(CO2)を用い、電動ヒートポンプサイクルにより65℃以上の高温沸きあげが可能な高効率な給湯システム。ヒートポンプユニットと給湯(貯湯)ユニットで構成されている。	一般地仕様、少人数世帯、保温あり	貯湯容量	185L	●	S-005074	2.8	-	年間給湯保温効率	標準規格による評価	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠
						一般地仕様、標準世帯、保温あり、1台	貯湯容量	320L以上550L未満	●	S-005073	4	-	年間給湯保温効率	標準規格による評価	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠
						一般地仕様、標準世帯、保温あり、多台	貯湯容量	320L以上550L未満	●	S-005072	3	-	年間給湯保温効率	標準規格による評価	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠
						一般地仕様、標準世帯、保温なし、1台	貯湯容量	320L以上550L未満	●	S-005071	3.3	-	年間給湯効率	標準規格による評価	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠
						寒冷地仕様、標準世帯、保温あり、1台	貯湯容量	320L以上550L未満	●	S-005070	3.3	-	寒冷地年間給湯保温効率	標準規格による評価	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠
						寒冷地仕様、標準世帯、保温なし、1台	貯湯容量	320L以上550L未満	●	S-005069	2.9	-	寒冷地年間給湯効率	標準規格による評価	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠
L-001107	家庭	給湯	給湯器 (ヒートポンプ)	多機能ヒートポンプ給湯機	自然冷媒(CO2)を用い、電動ヒートポンプサイクルにより65℃以上の高温沸きあげが可能な高効率な給湯システム。ヒートポンプユニットと給湯(貯湯)ユニット、床暖房端末で構成されている。1台のヒートポンプによって給湯、および床暖房が可能であるため、高効率化が可能。	一般地仕様、標準世帯、保温あり、1台	貯湯容量	320L以上550L未満	○	S-005067	3.9	-	年間給湯保温効率(床暖房部分除く)	標準規格による評価	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠
						寒冷地仕様、標準世帯、保温あり、1台	貯湯容量	320L以上550L未満	○	S-005066	3	-	寒冷地年間給湯保温効率(床暖房部分除く)	標準規格による評価	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠
L-001108	家庭	給湯	給湯器 (ガス式)	ガス温水機器(エコジョーズ)	ガスを燃料としたバーナによって加熱した高温の空気により配管内の水を温める機器。	給湯専用機	-	-	●	S-005064	95	%	エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISS2109:2010R	家庭用ガス温水機器	JISS2109:2010Rに準拠	JISS2093:2010	家庭用ガス燃焼機器の試験方法	JISS2093:2010	家庭用ガス燃焼機器の試験方法	JISS2093:2010	家庭用ガス燃焼機器の試験方法
						暖房給湯兼用機	-	-	●	S-005063	93	%	エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISS2112:2011及びJISS2109:2010R	家庭用ガス温水燃焼機器及び家庭用ガス温水機器	JISS2112:2011及びJISS2109:2010Rに準拠	JISS2093:2010	家庭用ガス燃焼機器の試験方法	JISS2093:2010	家庭用ガス燃焼機器の試験方法	JISS2093:2010	家庭用ガス燃焼機器の試験方法
						暖房専用機	-	-	●	S-005062	87	%	エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISS2112:2011	家庭用ガス温水燃焼機器	JISS2112:2011に準拠	JISS2093:2010	家庭用ガス燃焼機器の試験方法	JISS2093:2010	家庭用ガス燃焼機器の試験方法	JISS2093:2010	家庭用ガス燃焼機器の試験方法
						風呂給湯兼用機	-	-	●	S-005061	95.1	%	エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISS2109:2010R	家庭用ガス温水機器	JISS2109:2010Rに準拠	JISS2093:2010	家庭用ガス燃焼機器の試験方法	JISS2093:2010	家庭用ガス燃焼機器の試験方法	JISS2093:2010	家庭用ガス燃焼機器の試験方法

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標													
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		規格の名称		試験条件						
												単位	名称		計算式	規格の名称	規格の名称	説明							
L-001109	家庭	給湯	コーゼンレーション	家庭用燃料電池 (エネファーム・PEFC)	燃料電池は燃料から直接電気エネルギーを取り出すことができ、化石燃料を燃焼させる従来の発電システムに比べて、高い発電効率、優れた環境特性、排熱利用による高い総合効率、量産による低コスト化の可能性等の特長を持つ。発電の原理は、電解質を挟んだ二つの電極に酸素と水素を供給して電気と熱を発生させるというものである。PEFC（固体高分子燃料電池）は、電解質に固体高分子を用い、動作温度は80～100℃、白金が触媒として使われており、都市ガス、LPG（液化石油ガス）を燃料としている。排熱効率が高く、SS（Daily Start and Stop）が容易である。ここでは、主に家庭用として用いられる製品を取り扱う（現行販売製品の電気の定格出力は1kW以下）。	-	定格内容積	-	0	S-005060	95	%	総合効率	標準規格による評価	JISC8823:2008	小形固体高分子燃料電池システムの安全性及び性能試験方法	JISC8823:2008に準拠	JISC8823:2008	小形固体高分子燃料電池システムの安全性及び性能試験方法	JISC8823:2008に準拠					
						-	-	0	S-005059	39	%	発電効率	標準規格による評価	JISC8823:2008	小形固体高分子燃料電池システムの安全性及び性能試験方法	JISC8823:2008に準拠	JISC8823:2008	小形固体高分子燃料電池システムの安全性及び性能試験方法	JISC8823:2008に準拠						
L-001110	家庭	給湯	コーゼンレーション	家庭用燃料電池 (エネファーム・SOFC)	SOFC（固体酸化燃料電池）は、電解質にセラミックを用い、動作温度は700～750℃である。発電効率が24時間運転が多い。ここでは、主に家庭用として用いられる製品を取り扱う（現行販売製品の電気の定格出力は1kW以下）。	燃料：都市ガス（13A、12A）	-	-	0	S-005058	87	%	総合効率	標準規格による評価	JISC8841-3:2011	小形固体酸化燃料電池システムの安全性及び性能試験方法及び環境試験方法	JISC8841-3:2011に準拠	JISC8841-3:2011	小形固体酸化燃料電池システムの安全性及び性能試験方法及び環境試験方法	JISC8841-3:2011に準拠					
							-	0	S-005056	52	%	発電効率	標準規格による評価	JISC8841-3:2011	小形固体酸化燃料電池システムの安全性及び性能試験方法及び環境試験方法	JISC8841-3:2011に準拠	JISC8841-3:2011	小形固体酸化燃料電池システムの安全性及び性能試験方法及び環境試験方法	JISC8841-3:2011に準拠						
						燃料：LPガス	-	0	S-005759	85	%	総合効率	標準規格による評価	JISC8841-3:2011	小形固体酸化燃料電池システムの安全性及び性能試験方法及び環境試験方法	JISC8841-3:2011に準拠	JISC8841-3:2011	小形固体酸化燃料電池システムの安全性及び性能試験方法及び環境試験方法	JISC8841-3:2011に準拠						
							-	0	S-005758	51	%	発電効率	標準規格による評価	JISC8841-3:2011	小形固体酸化燃料電池システムの安全性及び性能試験方法及び環境試験方法	JISC8841-3:2011に準拠	JISC8841-3:2011	小形固体酸化燃料電池システムの安全性及び性能試験方法及び環境試験方法	JISC8841-3:2011に準拠						
L-001111	家庭	厨房	冷凍冷蔵庫	電気冷蔵庫	冷凍を用いた圧縮-凝縮-膨張-蒸発の冷凍サイクルを繰り返すことにより庫内を冷却する冷蔵庫。インバータ制御の高効率コンプレッサーと熱伝導が小さい真空断熱材を使用することにより消費電力量を削減することが可能である。（大型冷蔵庫の一部では既に採用されている）冷媒と断熱材にフロンを使用していない冷蔵庫のことを、ノンフロン冷蔵庫と呼び、現在出荷されている家庭用冷蔵庫のほとんどはイソブタン（冷媒）、シクロペンタン（断熱材発泡剤）を使用したノンフロン冷蔵庫である。冷蔵庫の冷却方法には直冷式と間冷式があり、一般に直冷式のほうが効率が低い。しかし、日本は湿度が高く、冷却器表面に霜がついて冷卻能力が落ちるため、間冷式が主流である。	-	定格内容積	140L以下	-	S-005054	-	kWh/年	年間消費電力量	標準規格による評価	JISC9801-3:2015	家庭用電気冷蔵庫及び電気冷凍庫の特性及び試験方法一部3節：消費電力量及び内容積の算出	JISC9801-3:2015に準拠	JISC9801-3:2015	家庭用電気冷蔵庫及び電気冷凍庫の特性及び試験方法一部3節：消費電力量及び内容積の算出	JISC9801-3:2015に準拠					
						140L超200L以下	-	S-005053	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
						200L超250L以下	-	S-005052	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
						250L超300L以下	-	S-005051	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
						300L超350L以下	-	S-005050	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
						350L超400L以下	-	S-004995	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
						400L超450L以下	-	S-004994	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
						450L超500L以下	-	S-004992	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
						500L超	-	S-004991	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標										
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件		説明			
												単位	名称		標準規格 による評価	規格の名称	標準規格 による評価	規格の名称				
L-001112	家庭	照明	照明器具	LED照明器具 (家庭用)	蛍光灯や白熱灯と比較して高効率で長寿命な白色LED(発光ダイオード)を光源に使用した照明器具が普及している。LED照明は、主に直付付(シーリングカバー付型、ダウンライト型、電球型)があり、他にスポットライト型、ブラケット型などもある。LED素子が器具に取り付けられ、ランプ交換は無いものが大半である。光の広がり(ビームの開き)を広くしたものの、発光色を切り替えるもの等が登場している。一般的には、「温白色、電球色」よりも「昼白色、昼白色、白色」の方がエネルギー効率 (lm/W) は高くなる。	シーリングライト型	適用畳数	～4.5畳	-	S-004988	-	lm/W	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部、性能要求事項、照明器具-第5部：配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部、性能要求事項、照明器具-第5部：配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠		
								～6畳	-	S-004987	155.4											
								～8畳	-	S-004985	170.5											
								～10畳	-	S-004984	174.3											
								～12畳	-	S-004983	172.9											
								～14畳	-	S-004982	172.7											
								ダウンライト型、温白色、電球色、配光角30°以下	-	S-004980	-	lm/W	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部、性能要求事項、照明器具-第5部：配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部、性能要求事項、照明器具-第5部：配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠		
								ダウンライト型、温白色、電球色、配光角30°超60°以下	-	S-004975	93.3	lm/W	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部、性能要求事項、照明器具-第5部：配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部、性能要求事項、照明器具-第5部：配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠		
								ダウンライト型、温白色、電球色、配光角60°超	-	S-004974	109.4	lm/W	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部、性能要求事項、照明器具-第5部：配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部、性能要求事項、照明器具-第5部：配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠		
								ダウンライト型、昼白色、昼白色、白色、配光角30°以下	-	S-004972	111.1	lm/W	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部、性能要求事項、照明器具-第5部：配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部、性能要求事項、照明器具-第5部：配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠		
ダウンライト型、昼白色、昼白色、白色、配光角30°超60°以下	-	S-004971	106	lm/W	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部、性能要求事項、照明器具-第5部：配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部、性能要求事項、照明器具-第5部：配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠										
ダウンライト型、昼白色、昼白色、白色、配光角60°超	-	S-004970	112.1	lm/W	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部、性能要求事項、照明器具-第5部：配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部、性能要求事項、照明器具-第5部：配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠										
ペンダントライト型	適用畳数	～4.5畳	●	S-004968	125.1	lm/W	固有エネルギー消費効率	標準規格による評価	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部、性能要求事項、照明器具-第5部：配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998	照明器具-第3部、性能要求事項、照明器具-第5部：配光測定方法及び照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、JISZ8113:1998に準拠								
		～6畳	●	S-004967	138.7																	
		～8畳	●	S-004965	133.4																	
		～10畳	○	S-004963	100																	
		～12畳	●	S-004961	137.4																	

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標								
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法		試験条件				
														単位の 名称	計算式	単位の 名称	説明			
						～14畳														
					電球形LEDランプ球形状、 温白色、電球色、電球形 LEDランプ2灯以上	-	-	-	●	S-004958	114.9	lm/W	固有エネルギー消費効 率	標準規格 による評価	JISC8105- 3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98	照明器具- 第3部・性 能要求事項 通、照明器 具-第5 部：配光測 定方法及び 照明用語	JISC8105-3:2011、 JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠	JISC8105- 3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98	照明器具- 第3部・性 能要求事項 通、照明器 具-第5 部：配光測 定方法及び 照明用語	JISC8105-3:2011、 JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠
					電球形LEDランプ球形状、 昼白色、昼光色、白色、電 球形LEDランプ2灯以上	-	-	-	○	S-004957	84.4	lm/W	固有エネルギー消費効 率	標準規格 による評価	JISC8105- 3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98	照明器具- 第3部・性 能要求事項 通、照明器 具-第5 部：配光測 定方法及び 照明用語	JISC8105-3:2011、 JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠	JISC8105- 3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98	照明器具- 第3部・性 能要求事項 通、照明器 具-第5 部：配光測 定方法及び 照明用語	JISC8105-3:2011、 JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠
L-001113	家庭	断熱	窓	Low-E複層ガラ ス（家庭用）	複層ガラスの中空層側のガラス面にLow-E金属膜をコーティング することで放射による熱移動量を低減したガラス。断熱を行うこと によって、より少ないエネルギーで空調を行うことができるよう になる。主に住宅等導入されている。	-	-	-	●	S-004956	2.5	W/m2K	熱貫流率	標準規格 による評価	JIS R3107:19 98及び JIS R3209:19 98	板ガラス類 の熱抵抗及 び建案にお ける熱貫流 率の算定方 法及び複層 ガラス	JIS R3107:1998及びJIS R3209:1998に準拠	JIS R3107:19 98及び JIS R3209:19 98	板ガラス類 の熱抵抗及 び建案にお ける熱貫流 率の算定方 法及び複層 ガラス	JIS R3107:1998及びJIS R3209:1998に準拠。た だし、L2-Tech水準は、LE3+Ar11+FL3のガラス構成に おける数値を示す。
L-001114	家庭	断熱	窓	三層Low-E複層 ガラス（家庭 用）	三層で構成される複層ガラスの中空層側のガラス面にLow-E金属 膜をコーティングすることで放射による熱移動量を低減したガラ ス。断熱を行うことによって、より少ないエネルギーで空調を行 うことができるようになる。主に住宅等導入されている。	-	-	-	●	S-004955	0.8	W/m2K	熱貫流率	標準規格 による評価	JIS R3107:19 98及び JIS R3209:19 98	板ガラス類 の熱抵抗及 び建案にお ける熱貫流 率の算定方 法及び複層 ガラス	JIS R3107:1998及びJIS R3209:1998に準拠	JIS R3107:19 98及び JIS R3209:19 98	板ガラス類 の熱抵抗及 び建案にお ける熱貫流 率の算定方 法及び複層 ガラス	JIS R3107:1998及びJIS R3209:1998に準拠。た だし、L2-Tech水準は、LE3+Ar11+FL3+Ar11+LE3の ガラス構成における数値を示す。
L-001115	家庭	断熱	窓	真空Low-E複層 ガラス（家庭 用）	真空ガラスとLow-Eガラスを組み合わせた複層ガラスにすることで、 放射による熱移動量を低減したガラス。断熱を行うことによ って、より少ないエネルギーで空調を行うことができるように なる。主に住宅等導入されている。	-	-	-	●	S-004954	0.74	W/m2K	熱貫流率	標準規格 による評価	JIS R3107: 1998及び JIS R3209: 1998、た だし真空ガ ラスについ ては、複層 ガラスの性 能の向上に 関する熱損 失防止建築 材料製造事 業者等の判 断の基準等 （平成26年 11月28日経 済産業省告 示第235号）	板ガラス類 の熱抵抗及 び建案にお ける熱貫流 率の算定方 法、複層ガ ラス及び複 層ガラスの 性能の向上 に関する熱 損失防止建 築材料製造 業者等の判 断の基準等 （平成26年 11月28日経 済産業省告 示第235号）	JIS R3107:1998及びJIS R3209:1998、ただし真空 ガラスについては、複層ガラスの性能の向上に 関する熱損失防止建築材料製造業者等の判断の基 準等（平成26年11月28日経済産業省告示第235 号）に準拠	JIS R3107: 1998及び JIS R3209: 1998、た だし真空ガ ラスについ ては、複層 ガラスの性 能の向上に 関する熱損 失防止建築 材料製造事 業者等の判 断の基準等 （平成26年 11月28日経 済産業省告 示第235号）	板ガラス類 の熱抵抗及 び建案にお ける熱貫流 率の算定方 法、複層ガ ラス及び複 層ガラスの 性能の向上 に関する熱 損失防止建 築材料製造 業者等の判 断の基準等 （平成26年 11月28日経 済産業省告 示第235号）	JIS R3107:1998及びJIS R3209:1998、ただし真空 ガラスについては、複層ガラスの性能の向上に 関する熱損失防止建築材料製造業者等の判断の基 準等（平成26年11月28日経済産業省告示第235 号）に準拠。ただし、L2-Tech水準は、 LE3+Ar9+FL3+VO.2+LE3のガラス構成における数 値を示す。
L-001116	家庭	断熱	窓	アタッチメント 付きLow-E複層 ガラス（家庭 用）	複層ガラスの中空層側のガラス面にLow-E金属膜をコーティング することにより、放射による熱移動量を低減したガラス。アタッチメ ントにより、ガラス部分のみを既存サッシに取り付けられるため、 大がかりな工事が必要としない。断熱を行うことによって、より 少ないエネルギーで空調を行うことができるようになる。主に住 宅等導入されている。	-	-	-	●	S-004953	2.6	W/m2K	熱貫流率	標準規格 による評価	JIS R3107:19 98及び JIS R3209:19 98	板ガラス類 の熱抵抗及 び建案にお ける熱貫流 率の算定方 法及び複層 ガラス	JIS R3107:1998及びJIS R3209:1998に準拠	JIS R3107:19 98及び JIS R3209:19 98	板ガラス類 の熱抵抗及 び建案にお ける熱貫流 率の算定方 法及び複層 ガラス	JIS R3107:1998及びJIS R3209:1998に準拠。た だし、L2-Tech水準は、LE3+Ar4+FL3（アタッシ メント付き）のガラス構成における数値を示す。
L-001117	家庭	断熱	窓	真空ガラス（家 庭用）	2枚のガラスの間に真空層を設けることで、熱移動量を低減したガ ラス。断熱を行うことによって、より少ないエネルギーで空調を 行うことができるようになる。主に住宅等導入されている。	-	-	-	●	S-004952	1	W/m2K	熱貫流率	標準規格 による評価	JIS R3107: 1998及び JIS R3209: 1998、た だし真空ガ ラスについ ては、複層 ガラスの性 能の向上に 関する熱損 失防止建築 材料製造事 業者等の判 断の基準等 （平成26年 11月28日経 済産業省告 示第235号）	板ガラス類 の熱抵抗及 び建案にお ける熱貫流 率の算定方 法、複層ガ ラス及び複 層ガラスの 性能の向上 に関する熱 損失防止建 築材料製造 業者等の判 断の基準等 （平成26年 11月28日経 済産業省告 示第235号）	JIS R3107:1998及びJIS R3209:1998、ただし真空 ガラスについては、複層ガラスの性能の向上に 関する熱損失防止建築材料製造業者等の判断の基 準等（平成26年11月28日経済産業省告示第235 号）に準拠	JIS R3107: 1998及び JIS R3209: 1998、た だし真空ガ ラスについ ては、複層 ガラスの性 能の向上に 関する熱損 失防止建築 材料製造事 業者等の判 断の基準等 （平成26年 11月28日経 済産業省告 示第235号）	板ガラス類 の熱抵抗及 び建案にお ける熱貫流 率の算定方 法、複層ガ ラス及び複 層ガラスの 性能の向上 に関する熱 損失防止建 築材料製造 業者等の判 断の基準等 （平成26年 11月28日経 済産業省告 示第235号）	JIS R3107:1998及びJIS R3209:1998、ただし真空 ガラスについては、複層ガラスの性能の向上に 関する熱損失防止建築材料製造業者等の判断の基 準等（平成26年11月28日経済産業省告示第235 号）に準拠。ただし、L2-Tech水準は、 LE3+VO.2+FL3のガラス構成における数値を示 す。

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標									
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	標準規格		計算方法		標準規格		試験条件	
														単位	名称	標準規格 による評価	規格の名称	計算式	標準規格 による評価	規格の名称	試験条件
L-001118	家庭	断熱	窓	現増施工型後付けLow-E複層ガラス(家庭用)	既存の窓ガラスの上からLow-Eガラスを貼ることで放射による熱移動量を低減したガラス。断熱を行うことによって、より少ないエネルギーで空調を行うことができるようになる。	リフォーム用	-	-	•	S-004951	1.6	W/m2K	熱貫流率	標準規格による評価	JISR3107:1998及びJISR3209:1998	板ガラス類の熱抵抗及び複層ガラスの熱貫流率の算定方法及び複層ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠	JISR3107:1998及びJISR3209:1998	板ガラス類の熱抵抗及び複層ガラスの熱貫流率の算定方法及び複層ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠。ただし、L2-Tech水準は、FL6+A12+LE5.0のガラス構成における数値を示す。	
L-001119	家庭	断熱	窓	薄型Low-E複層ガラス(家庭用)	複層ガラスの中空層側のガラス面にLow-E金属膜をコーティングすることで放射による熱移動量を低減したガラス。アタッチメントを使用せずにガラス部分のみを既存サッシに取り付けることができる。断熱を行うことによって、より少ないエネルギーで空調を行うことができるようになる。主に住宅等に導入されている。	リフォーム用	-	-	•	S-004950	2.5	W/m2K	熱貫流率	標準規格による評価	JISR3107:1998及びJISR3209:1998	板ガラス類の熱抵抗及び複層ガラスの熱貫流率の算定方法及び複層ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠	JISR3107:1998及びJISR3209:1998	板ガラス類の熱抵抗及び複層ガラスの熱貫流率の算定方法及び複層ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠。ただし、L2-Tech水準は、LE3+K2+FL3.0のガラス構成における数値を示す。	
L-001120	家庭	空調	窓	Low-E複層ガラス・樹脂サッシ	複層ガラスの中空層側のガラス面にLow-E金属膜をコーティングすることで放射による熱移動量を低減したガラスと、樹脂製のサッシを組み合わせた窓。	FIX	-	-	•	S-004949	1.27	W/m2K	熱貫流率	標準規格による評価	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	建員の断熱性試験方法、窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第1部:一般及び窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第2部:フレームの数値計算方法	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011に準拠	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	建員の断熱性試験方法、窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第1部:一般及び窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第2部:フレームの数値計算方法	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011に準拠	
															引き違い	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	建員の断熱性試験方法、窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第1部:一般及び窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第2部:フレームの数値計算方法	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011に準拠	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	建員の断熱性試験方法、窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第1部:一般及び窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第2部:フレームの数値計算方法	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011に準拠
															縦すべり出し	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	建員の断熱性試験方法、窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第1部:一般及び窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第2部:フレームの数値計算方法	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011に準拠	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	建員の断熱性試験方法、窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第1部:一般及び窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第2部:フレームの数値計算方法	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011に準拠
L-001121	家庭	空調	窓	Low-E複層ガラス・アルミ樹脂複合サッシ	複層ガラスの中空層側のガラス面にLow-E金属膜をコーティングすることで放射による熱移動量を低減したガラスと、アルミ樹脂複合サッシを組み合わせた窓。アルミ樹脂複合サッシは、アルミ製(室外側)と樹脂製(室内側)のサッシを室内側の結露の発生軽減や断熱性の向上を目的に一体化したものである。	FIX	-	-	•	S-004946	1.52	W/m2K	熱貫流率	標準規格による評価	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	建員の断熱性試験方法、窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第1部:一般及び窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第2部:フレームの数値計算方法	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011に準拠	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	建員の断熱性試験方法、窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第1部:一般及び窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第2部:フレームの数値計算方法	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011に準拠	
															引き違い	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	建員の断熱性試験方法、窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第1部:一般及び窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第2部:フレームの数値計算方法	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011に準拠	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	建員の断熱性試験方法、窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第1部:一般及び窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第2部:フレームの数値計算方法	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011に準拠
L-001122	家庭	空調	窓	Low-E複層ガラス・アルミ樹脂複合サッシ	複層ガラスの中空層側のガラス面にLow-E金属膜をコーティングすることで放射による熱移動量を低減したガラスと、アルミ樹脂複合サッシを組み合わせた窓。アルミ樹脂複合サッシは、アルミ製(室外側)と樹脂製(室内側)のサッシを室内側の結露の発生軽減や断熱性の向上を目的に一体化したものである。	FIX	-	-	•	S-004945	1.7	W/m2K	熱貫流率	標準規格による評価	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	建員の断熱性試験方法、窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第1部:一般及び窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第2部:フレームの数値計算方法	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011に準拠	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	建員の断熱性試験方法、窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第1部:一般及び窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第2部:フレームの数値計算方法	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011に準拠	

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標											
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件		説明				
												単位	名称		標準規格 による評価	規格の名称	標準規格 による評価	規格の名称					
										S-004933	1.52	W/m2K	熱貫流量	標準規格 による評 価	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部:一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流量の計算 -第2部: フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011に準拠	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部:一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流量の計算 -第2部: フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011に準拠	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部:一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流量の計算 -第2部: フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011に準拠
L-001122	家庭	空調	窓	三層Low-E複層ガラス・樹脂サッシ	三層で構成される複層ガラスの中空層側のガラス面にLow-E金属膜をコーティングすることで放射による熱移動量を低減したガラスと、樹脂製のサッシを組み合わせた窓。	FIX				S-004932	0.75	W/m2K	熱貫流量	標準規格 による評 価	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部:一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流量の計算 -第2部: フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011に準拠	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部:一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流量の計算 -第2部: フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011に準拠	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部:一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流量の計算 -第2部: フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011に準拠
										S-004930	1.06	W/m2K	熱貫流量	標準規格 による評 価	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部:一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流量の計算 -第2部: フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011に準拠	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部:一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流量の計算 -第2部: フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011に準拠	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部:一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流量の計算 -第2部: フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011に準拠
										S-004929	0.79	W/m2K	熱貫流量	標準規格 による評 価	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部:一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流量の計算 -第2部: フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011に準拠	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部:一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流量の計算 -第2部: フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011に準拠	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部:一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流量の計算 -第2部: フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011に準拠
L-001123	家庭	空調	窓	三層Low-E複層ガラス・アルミ樹脂複合サッシ	三層で構成される複層ガラスの中空層側のガラス面にLow-E金属膜をコーティングすることで放射による熱移動量を低減したガラスと、アルミ樹脂複合サッシを組み合わせた窓。アルミ樹脂複合サッシは、アルミ製(室外側)と樹脂製(室内側)のサッシを室内側の結露の発生や断熱性の向上を目的に一体化したものである。	FIX				S-004926	1.03	W/m2K	熱貫流量	標準規格 による評 価	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部:一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流量の計算 -第2部: フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011に準拠	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部:一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流量の計算 -第2部: フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011に準拠	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部:一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流量の計算 -第2部: フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011に準拠
										S-004925	1.22	W/m2K	熱貫流量	標準規格 による評 価	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部:一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流量の計算 -第2部: フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011に準拠	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部:一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流量の計算 -第2部: フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011に準拠	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011	建員の断熱 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能-熱貫流 率の計算- 第1部:一 般及び窓及 びドアの熱 性能-熱貫 流量の計算 -第2部: フレームの 数値計算方 法	JISA4710:2015、 JISA2102-1:2015及び JISA2102-2:2011に準拠

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標														
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	標準規格による評価		規格の名称		計算方法		標準規格による評価		規格の名称		試験条件	説明
												単位	名称		標準規格	規格の名称	計算式	標準規格	規格の名称							
										S-004923	1.03	W/m2K	熱貫流率	標準規格による評価	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011に準拠。国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。			
L-001124	家庭	空調	窓	五層Low-E複層ガラス・樹脂サッシ	樹脂（強化ビニル等）等の熱伝導率が低いフレームと、多層の密閉中空層をもったガラスからなる。中空層には断熱ガス（アルゴンガス、クリプトンガス等）を充填することでガラスの熱伝導率の高さを補う構造。現在日本国内では、樹脂フレームを用いた開口部には断熱性能が低いものから順に、1枚のガラスを用いたもの、2枚のガラス（一つの密閉中空層）を用いたもの、3枚のガラス（二つの密閉中空層）を用いたもの、5枚のガラス（四つの密閉中空層）を用いたものが使用されており、2枚のガラスを用いたものが最も多く流通している。今後は省エネ基準率化率が予定されていることから、さらなるガラスの多層化が予想される。従来品と比較して高い断熱性能を持つことから、特に寒冷地の戸建住宅への採用に相応しい。	FIX	-	-	●	S-004921	0.55	W/m2K	熱貫流率	標準規格による評価	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011に準拠。国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。				
										S-004920	-	W/m2K	熱貫流率	標準規格による評価	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011に準拠。国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。				
										S-004919	0.55	W/m2K	熱貫流率	標準規格による評価	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011に準拠。国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。				
L-001125	家庭	空調	窓	真空ガラス・樹脂サッシ	2枚のガラスの間に真空層を設けることで、熱移動量を低減したガラスと樹脂サッシを組み合わせた窓。	FIX※右記の水準は、一般社団法人リビングアメニティ協会が提供する、窓の断熱性能プログラム「WindEye」を用いて算出	-	-	○	S-004918	1.09	W/m2K	熱貫流率	標準規格による評価	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011に準拠。国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。				
										S-004917	1.38	W/m2K	熱貫流率	標準規格による評価	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011に準拠。国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。				

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標										
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	準拠する規格	規格の名称	計算方法		準拠する規格	規格の名称	試験条件	
												単位	名称				計算式	説明				
L-001131	家庭	動力他	洗濯機	洗濯乾燥機	洗濯乾燥機とは、洗濯機と衣類乾燥機が一体化した機器である。ヒートポンプシステム(ユニット)が熱交換した熱で衣類を乾燥し、乾燥時に発生する水蒸気もヒートポンプシステム(ユニット)により冷却して除湿している。乾燥時の温度は約70℃前後である。	-	-	-	○	S-004876	0.59	KWh/回	消費電力量	標準規格 による評 価	-	一般社団法人日本電機工業会・自主基準「洗濯性能評価方法」「乾燥性能評価方法」で定める計算式	一般社団法人日本電機工業会・自主基準「洗濯性能評価方法」「乾燥性能評価方法」で定める試験条件	一般社団法人日本電機工業会・自主基準「洗濯性能評価方法」「乾燥性能評価方法」で定める試験条件				
L-001135	家庭	エネルギーマネジメント	エネルギーマネジメントシステム	HEMS(情報提供サービス・家電全般)	一般家庭等での省エネ効果を高めるエネルギー管理システム、及び同システムを用いたサービスのうち、家庭全体のエネルギー消費状況の把握や省エネ・節電を目的とした情報提供サービス。	-	-	-	○	S-004874	-	%	エネルギー消費効率	具備機能 による評 価	-	-	-	-				
L-001137	家庭	空調	空調機 (ヒートポンプ)	ルームエアコン	冷媒による圧縮-凝縮-膨張-蒸発のヒートポンプサイクルを繰り返すことにより、室内を冷房あるいは暖房する空調和機。	-	冷房能力	2.2kW 2.5kW 2.8kW 3.6kW 4.0kW 4.5kW 5.0kW 5.6kW 6.3kW 7.1kW 8.0kW 9.0kW	-	S-004872 S-004871 S-004869 S-004863 S-004862 S-004861 S-004859 S-004858 S-004830 S-004823 S-004822 S-004821	7.6 7.6 7.5 7.6 7.9 6.8 6.2 7.1 6.9 6.5 6.2 5.5	-	通年エネルギー消費効率(APF)	標準規格 による評 価	JISC9812:2005	ルームエアコン デシジョン	JISC9812:2005に準拠	JISC9812:2005	ルームエアコン デシジョン	JISC9812:2005に準拠		
L-001138	家庭	空調	空調機 (ヒートポンプ)	ヒートポンプ冷暖水システム	空気熱源を利用するヒートポンプ式の冷水冷水暖房機。暖房時はコンプレッサで圧縮した気相冷媒を凝縮器で凝縮させることにより温熱を、冷房時は圧縮-凝縮-膨張後の液相冷媒を蒸発器で蒸発させることにより冷熱を得る。ヒートポンプ方式を採用しているため、冷温熱を高効率に得ることができる。従来は灯油を燃焼させ暖房するため、一般的なボイラーの効率が80%であるのに対し、ヒートポンプ方式を用いることで高い効率となる。導入先は主に家庭向けとなる。	-	加熱能力	4.0kW以下 4.0kW超6.0kW以下 6.0kW超7.0kW以下 7kW超12kW以下 12.0kW超	-	S-004820 S-004817 S-004813 S-004811 S-004810	- - - - -	-	成績係数(COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P、COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定格消費電力[W]	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、戻り水温(入水温度)、行き水温(出湯温度)、乾球温度、湿球温度を次のとおり設定することを条件とする。戻り水温(入水温度):25℃、行き水温(出湯温度):40℃、乾球温度:7℃、湿球温度:6℃			
						-	冷却能力	4.0kW以下	-	S-004809	-	-	成績係数(COP)	標準条件 による評 価	-	-	COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消費電力[W]	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、戻り水温(入水温度)、行き水温(出湯温度)、乾球温度、湿球温度を以下のとおり設定することを条件とする。行き水温(出湯温度):15℃ 乾球温度:35℃ 湿球温度:24℃ 流量:6.4L/min			

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス						指 標											
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)	認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	測定単位		評価方法の タイプ	準拠する規格	規格の名称	計算方法		試験条件				
												単 位	名 称				計算式	準拠する規格	規格の名称	説 明			
						4.0kW以下 5.6kW超7.2kW以下 7.2kW超	-	S-004807	-														
					往き水温(出湯温度)7℃	冷却能力	4.0kW以下 4.0kW超5.6kW以下 5.6kW超7.2kW以下 7.2kW超	• S-004802 • S-004801 • S-004800 - S-004799	3 2.84 3 -		成績係数 (COP)	標準条件 による評 価			COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消費電力[W]			成績係数(COP)の算出にあたっては、戻り水温(入水温度)、往き水温(出湯温度)、乾球温度、湿球温度を次のとおり設定することを条件とする。戻り水温(入水温度):12℃ 往き水温(出湯温度):7℃ 幹線温度:35℃					
L-001139	家庭	空調	空調機 (ヒート ポンプ)	ヒートポンプ式 温水床暖房	空気熱源ヒートポンプ式の温水暖房機。コンプレッサーで圧縮した気相冷媒を冷媒/水熱交換器内で凝縮させることにより温熱を得る。四方弁の切り替えにより冷熱を供給するタイプも存在する。ヒートポンプ方式を採用しているため、温熱を高効率に得ることができる。	加熱能力	5kW以下 5kW超7kW以下 7kW超10kW以下 10kW超	• S-004796 ○ S-004795 • S-004794 • S-004793	4.62 4.32 4.16 4.3		成績係数 (COP)	標準条件 による評 価			COP=Φ/P, COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定格消費電力[W]			成績係数(COP)の算出にあたっては、戻り水温(入水温度)、往き水温(出湯温度)、乾球温度、湿球温度を次のとおり設定することを条件とする。戻り水温(入水温度):25℃、往き水温(出湯温度):40℃、乾球温度:7℃、湿球温度:6℃					
L-001140	家庭	空調	空調機 (ヒート ポンプ)	ルームエアコン 付温水床暖房	空気熱源ヒートポンプに温水床暖房ユニットとルームエアコンディショナが付加された機器。暖房時は床暖房とエアコンの組み合わせ運転を主に行う。負荷の大きな立ち上がり時にはエアコンで急速暖房を行い、床暖房の高温送水による効率の低下を抑制。安定時には床暖房の送水温度を下げるとともに、エアコンも省エネ運転とするなどの制御により高効率化を図る。冷房時はエアコンの単独運転となる。	床暖房、エアコン同時運転	加熱能力	5.0kW 6.7kW	○ S-004792 ○ S-004791	4.5 4.32		成績係数 (COP)	標準条件 による評 価			COP=Φ/P, COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定格消費電力[W]			成績係数(COP)の算出にあたっては、戻り水温(入水温度)、往き水温(出湯温度)、乾球温度、湿球温度を次のとおり設定することを条件とする。戻り水温(入水温度):30℃、往き水温(出湯温度):35℃、乾球温度:7℃、湿球温度:6℃				
						床暖房単独運転	加熱能力	8.7kW	• S-004789	4.01		成績係数 (COP)	標準条件 による評 価			COP=Φ/P COP:成績係数 Φ:定格能力[W] P:定格消費電力[W]			成績係数(COP)の算出にあたっては、戻り水温(入水温度)、往き水温(出湯温度)、乾球温度、湿球温度を以下のとおり設定することを条件とする。戻り水温(入水温度):25℃ 往き水温(出湯温度):40℃ 乾球温度:7℃ 湿球温度:6℃				
L-001141	家庭	空調	空調機 (ヒート ポンプ)	マルチタイプ温 水床暖房	複数の部屋に設置された温水床暖房ユニットやルームエアコンディショナ等と空気熱源ヒートポンプを組み合わせて使用する機器。1台の空気熱源ヒートポンプが複数の部屋の空調機器に接続できるため、高効率化が可能。	1室運転時加熱能力	5.0kW 7.0kW	○ S-004788 ○ S-004786	3.9 3.91		成績係数 (COP)	標準条件 による評 価			COP=Φ/P, COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定格消費電力[W]			成績係数(COP)の算出にあたっては、戻り水温(入水温度)、往き水温(出湯温度)、乾球温度、湿球温度を次のとおり設定することを条件とする。戻り水温(入水温度):25℃、往き水温(出湯温度):40℃、乾球温度:7℃、湿球温度:6℃					
L-001142	家庭	空調	空調機 (ヒート ポンプ・ 地中熱利 用)	地中熱ルームエ アコン	地中熱を利用し、冷媒による圧縮・蒸発・凝縮・蒸発のヒートポンプサイクルを繰り返すことにより、室内を冷房あるいは暖房する空調機と。冬季は外気温度より高い温度の熱源を、夏季は外気温度より低い温度の熱源を利用することで年間を通じて高効率な運転が可能。	冷房能力	4.0kW	• S-004783	4		成績係数 (COP)	標準条件 による評 価			JISC9612:2005に準拠	JISC9612:20 13	ルームエ ア コ ン デ ィ シ ョ ナ	JISC9612:2005に準拠。ただし、地中戻り温度(採熱温度)については20℃とする。					

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標								
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法		試験条件		試験条件	説 明	
														単 位	名 称	準拠する規格	規格の名称			準拠する規格
L-001143	家庭	空調	空調機 (ヒート ポンプ・ 地中熱利 用)	地中熱ヒート ポンプ冷水シ ステム(ハイ ブリッド式)	空気熱源と地中熱源の2種類の熱源の切り替えが可能なヒートポンプサイ クルの冷水冷水設備。圧縮-凝縮-膨張-蒸発のヒートポンプサイ クルを利用して、冷暖房するシステム。暖房時はコンプレッサで 圧縮した気相冷媒を凝縮器で冷媒/水熱交換器内で凝縮させるこ とにより過熱を、冷房時は圧縮-凝縮-膨張後の液相冷媒を蒸発 器で液相冷媒を冷媒/水熱交換器内で蒸発させることにより冷 熱を得る。ヒートポンプ方式を採用しているため、冷熱を高効 率に得ることができる。従来型は灯油を燃焼し暖房するため、一 般的なボイラーの効率が90%であるのに対し、ヒートポンプ方式 を用いることで高い効率となる。導入先は主に家庭向けとなる。	-	加熱能力	8.0kW 11.0kW	• S-004782 • S-004780	5.19 5	-	成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	JHIAN- 5601.2004	木質バイオ マス燃焼機 の試験方 法通則	$\eta = 100 - (qa + qb + qr)$; η : 熱効率[%]、qa: 試 験燃料中の発熱量当たり排気ガス中の熱損失 (Qa) の比、熱による熱損失の割合(燃焼基 準) [%]、qb: 試験燃料の発熱量当たり排気ガス 中の化学的熱損失(O _b)、の潜熱による熱損失 の割合(燃焼基準) [%]、qr: 試験燃料の発熱量 当たり底部格子を通過し残渣物中に残った可燃性 構成物質による熱損失(Qr)の残渣物中の可燃性 構成、物型による損失の割合(燃焼基準) [%]※ 発熱量は高位発熱量とする	JHIAN- 5601.2004	木質バイオ マス燃焼機 の試験方 法通則	JHIAN-5601:2004に準拠、試験実施にあたり は、ISO17025に準拠した試験機関による性能評 価を行うこととする。	成績係数(COP)の算出にあたっては、地中戻り水 温(入水温度)、行き水温(出湯温度)、乾球温度、 湿球温度を次のとおり設定することを条件とす る。地中戻り水温(採熱温度):15℃、行き水温 (出湯温度):40℃、乾球温度:7℃、湿球温度: 6℃
L-001144	家庭	空調	空調機 (ベレッ トストー プ)	密閉式ベレッ トストーブ(家庭 用)	木質ペレットを燃料とする燃焼機器。木質ペレットを燃焼させた 熱を熱交換器により室内の空気に伝え、送風ファンにより部屋の 隅々まで送風を行き渡らせる。燃焼させた空気は煙突から排気さ せるため、室内の空気と交えることはなく、清潔な環境を築くこ とができる。木質ペレットは、カーボンニュートラルであるため、 CO2の排出削減が可能。	-	-	-	• S-004777	77	%	熱効率	標準条件 による評 価	JHIAN- 5601.2004	木質バイオ マス燃焼機 の試験方 法通則	JHIAN- 5601.2004	木質バイオ マス燃焼機 の試験方 法通則	JHIAN-5601:2004に準拠、試験実施にあたり は、ISO17025に準拠した試験機関による性能評 価を行うこととする。		
L-001145	家庭	給湯	給湯器 (ヒート ポンプ・ 太陽熱利 用)	太陽熱集熱器対 応型エコキュート	自然冷媒(CO2)を用い、電動ヒートポンプサイクルにより65℃ 以上の高温沸き上げが可能な高効率の給湯システムに太陽熱集熱 器を組み合わせたシステム。ヒートポンプユニットと給湯(貯 湯)ユニット、集熱器で構成されている。日中は、太陽熱を利用 するため、高効率化が可能。	一般地仕様、標準世帯、保 温あり、1缶	貯湯容量	320L以上550L未満 320L以上550L未満	○ S-004775 ○ S-004775	3 3	-	年間給湯保 温効率(太 陽熱部分除 く)	標準規格 による評 価	JRA4050:200 7R	家庭用ヒート ポンプ給 湯機	JRA4050:2007Rに準拠	JRA4050:200 7R	家庭用ヒート ポンプ給 湯機	JRA4050:2007Rに準拠	
					一般地仕様、標準世帯、保 温あり、多缶	貯湯容量	320L以上550L未満 320L以上550L未満	○ S-004772 ○ S-004772	3 3	-	年間給湯保 温効率(太 陽熱部分除 く)	標準規格 による評 価	JISC9220:20 11	家庭用ヒート ポンプ給 湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:20 11	家庭用ヒート ポンプ給 湯機	JISC9220:2011に準拠		
L-001146	家庭	給湯	給湯器 (ヒート ポンプ・ ガス式)	ハイブリッド給 湯機(家庭用)	ヒートポンプ給湯機とガス給湯器に貯湯タンクを組み合わせた家 庭用給湯システム。ヒートポンプ給湯機が記録・学習した湯の使用 状況に基づいて、ヒートポンプ給湯機を最も高効率となる沸き 上げ温度で稼働させ、湯の使用状況に応じてガス給湯器がバック アップする。これによって過剰貯湯や放熱ロスを低減し、CO2排 出削減を実現できる。風呂給湯専用機、給湯暖房専用機等がある。	給湯専用機(給湯: ヒート ポンプ、ガス)	-	-	• S-004768	-	-	-	年間給湯効 率	標準規格 による評 価	JGKAS A705-2016	電気ヒート ポンプ・ガ ス瞬間式併 用型給湯機 (ハイブリ ッド給湯機) の年間給 湯効率測定 方法	JGKAS A705-2016に準拠	JGKAS A705-2016	電気ヒート ポンプ・ガ ス瞬間式併 用型給湯機 (ハイブリ ッド給湯機) の年間給 湯効率測定 方法	JGKAS A705-2016に準拠
					給湯暖房専用機(給湯、暖 房: ヒートポンプ、ガス)	-	-	-	• S-004767	-	-	-	年間給湯効 率	標準規格 による評 価	JGKAS A705-2016	電気ヒート ポンプ・ガ ス瞬間式併 用型給湯機 (ハイブリ ッド給湯機) の年間給 湯効率測定 方法	JGKAS A705-2016に準拠	JGKAS A705-2016	電気ヒート ポンプ・ガ ス瞬間式併 用型給湯機 (ハイブリ ッド給湯機) の年間給 湯効率測定 方法	JGKAS A705-2016に準拠
					給湯暖房専用機(給湯: ヒートポンプ、ガス、暖 房: ガス)	-	-	-	• S-004763	142.3	-	-	年間給湯効 率	標準規格 による評 価	JGKAS A705-2016	電気ヒート ポンプ・ガ ス瞬間式併 用型給湯機 (ハイブリ ッド給湯機) の年間給 湯効率測定 方法	JGKAS A705-2016に準拠	JGKAS A705-2016	電気ヒート ポンプ・ガ ス瞬間式併 用型給湯機 (ハイブリ ッド給湯機) の年間給 湯効率測定 方法	JGKAS A705-2016に準拠
					風呂給湯専用機(給湯: ヒートポンプ、ガス)	-	-	-	• S-004762	142.3	-	-	年間給湯効 率	標準規格 による評 価	JGKAS A705-2016	電気ヒート ポンプ・ガ ス瞬間式併 用型給湯機 (ハイブリ ッド給湯機) の年間給 湯効率測定 方法	JGKAS A705-2016に準拠	JGKAS A705-2016	電気ヒート ポンプ・ガ ス瞬間式併 用型給湯機 (ハイブリ ッド給湯機) の年間給 湯効率測定 方法	JGKAS A705-2016に準拠
L-001147	家庭	給湯	給湯器 (石油 式)	石油温水機器 (エコフィ ール)	石油温水機器は灯油を燃料としたバーナによって加熱した高温の 空気により配管内の水を温める機器である。	給湯用のもの(風呂給湯含 む)	-	-	• S-004761	95	%	エネルギー 消費効率	標準規格 による評 価	JISS3031:20 09	石油燃焼機 の試験方 法通則	JISS3031:2009に準拠	JISS3031:20 09	石油燃焼機 の試験方 法通則	JISS3031:2009に準拠	

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標												
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位	評価方法の タイプ	計算方法		試験条件								
														単位	名称	標準する規格	規格の名称	標準する規格	規格の名称	試験条件	説明			
										S-004760	93	%	エネルギー 消費効率	標準規格 による評 価	JISS3031:20 09	石油燃焼機 器の試験方 法通則	JISS3031:2009に準拠	JISS3031:20 09	石油燃焼機 器の試験方 法通則	JISS3031:2009に準拠				
L-001149	家庭	給湯	給湯器 (太陽熱 利用)	真空管形集熱器 (強制循環型太陽 熱給湯器用) (家庭用)	太陽の光エネルギーを熱エネルギーに変え、水などの熱媒に伝える役割の装置。真空管形は集熱部が真空層を有する二重ガラスで構成され、真空層が空気対流による熱損失を防ぐことができる。外気温との温度差が大きい場合でも集めた熱が外へ逃げにくく、高い効率を維持できる。	-	-	-	●	S-004676	12694 *	kJ/m ² ・日	単位面積1日 あたりの集 熱量	標準規格 による評 価	JISA4112:20 11	太陽集熱器	JISA4112:2011に準拠	JISA4112:20 11	太陽集熱器	JISA4112:2011に準拠				
L-001150	家庭	給湯	給湯器 (太陽熱 利用)	平板形集熱器 (強制循環型太陽 熱給湯器用) (家庭用)	太陽の光エネルギーを熱エネルギーに変え、水などの熱媒に伝える役割の装置。平板形は集熱部が平板状になっており、表面は透明な強化ガラス板で覆われている。下部には熱が逃げないように、断熱材が施されている。	-	-	-	○	S-004675	13954 *	kJ/m ² ・日	単位面積1日 あたりの集 熱量	標準規格 による評 価	JISA4112:20 11	太陽集熱器	JISA4112:2011に準拠	JISA4112:20 11	太陽集熱器	JISA4112:2011に準拠				
L-001151	家庭	給湯	給湯器 (太陽熱 利用)	蓄熱槽(強制循 環型太陽熱給湯 器用)(家庭 用)	蓄熱槽は、集熱器で集められた熱を熱交換してお湯を蓄える装置。	-	-	-	●	S-004673	1.54 *	W/K	熱損失係数	標準規格 による評 価	JISA4113:20 13	太陽蓄熱槽	KA = (V×Cp×p (θs - θe)) ÷ (T×Δθ) Δθ = ((θs + θe) ÷ 2) - ((θ1 + θ2 + ... + θn) ÷ n) KA: 熱損失係数[W/K] V: 蓄熱槽容量[m ³] θs: 試験開始時蓄熱媒体温度[°C] θe: 試験終了時蓄熱媒体温度[°C] T: 試験開始から試験終了までの時間[s] Cp: 蓄熱媒体の定圧比熱[J/(kg・K)] p: 蓄熱媒体の密度[kg/m ³] θn: 閉鎖温度[°C] n: 1時間ごとに測定した閉鎖温度の測定回数	JISA4113:20 13	太陽蓄熱槽	JISA4113:2013に準拠	JISA4113:20 13	太陽蓄熱槽	JISA4113:2013に準拠	
						-	-	-	○	S-004672	93.2 *	%	有効出湯効 率	標準規格 による評 価	JISA4113:20 13、BLT SO.2015、ま たはSS- TS002	太陽蓄熱槽、優良住 宅部品性能 試験方法書 太陽熱利用 システム、 または有効 出湯効率試 験方法書	JISA4113:2013、BLT SO.2015、またはSS-TS002に準拠	JISA4113:20 13、BLT SO.2015、ま たはSS- TS002	太陽蓄熱槽、優良住 宅部品性能 試験方法書 太陽熱利用 システム、 または有効 出湯効率試 験方法書	JISA4113:2013、BLT SO.2015、またはSS-TS002に準拠				
L-001152	家庭	動力他	テレビ	液晶テレビ	液晶テレビとは表示装置に液晶を用いた薄型のテレビ受像機をいう。従来はバックライトにCCFL(Cold Cathode fluorescent Lamp)冷陰極管を用いていたが、近年は発光効率の良いLED(発光ダイオード)が主流となっている。	-	サイズ	液晶 18V、19V 型	-	S-004756	-	kWh/年	年間消費電 力量	標準規格 による評 価	-	省エネ ルギー一 法	省エネルギー法で定める計算式	-	省エネ ルギー一 法	省エネルギー法で定める試験条件				
						-		液晶 22V 型	-	S-004754	-													
						-		液晶 23V、24V 型	-	S-004752	-													
						-		液晶 26V 型	-	S-004751	-													
						-		液晶 29V 型	-	S-004750	-													
						-		液晶 32V 型	-	S-004748	-													
						-		液晶 39V、40V 型	-	S-004747	-													
						-		液晶 42V 型	-	S-004745	-													
						-		液晶 46V 型	-	S-004744	-													
						-		液晶 47V 型	-	S-004935	-													
						-		液晶 50V、52V 型	-	S-004936	-													
						-		液晶 55V 型	-	S-004937	-													
						-		液晶 58V 型以上	-	S-004938	-													

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標								
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	規格の名称		計算方法		試験条件	
												単位	名称		準拠する規格	規格の名称	準拠する規格	規格の名称	説明	
L-001153	家庭	動力他	電気便座	電気便座	電気便座は内蔵された電気ヒータにより座面を加温する機能等を持つ便座であり、主に座席用の便座のみを有する暖房便座と暖房便座に温水洗浄便座を組み込んだ温水洗浄便座がある。さらに、温水洗浄便座の洗浄に使う温水については貯湯タンクをもつ貯湯式と貯湯タンクのない瞬間式※がある。※使用時に瞬間的に温水をつくる方式。貯湯式のようにお湯を保温しないので消費電力量を削減できる。また、便座の暖房機能(保温)については学習機能やタイマーによる低炭素技術が導入されており、さらにセンサーが人の動きを感じ、自動的に便座を温める、瞬間暖房便座機能が付随しているものもある。	-	-	-	-	S-004743	-	-	年間消費電力量	標準規格による評価	JISC8841-3:2011及びJISC8842:2013	省エネルギー法	省エネルギー法で定める計算式	-	省エネルギー法	省エネルギー法で定める試験条件
L-001154	エネルギー転換	事業用発電(再エネ)	燃料電池	固体酸化物形燃料電池(SOFC)設備	電解質を挟んだ二つの電極に酸素と水素を供給して電気と熱を発生させる。燃料種、空気種という2枚の電極が、電解質を挟んでいるものをセルといい、セル単体を積み重ねたものをセルスタックという。セルを直列に接続することで、高い電圧と大きな電力が得られる。	-	出力	200kW以下	○	S-004671	66.7 *	%	発電効率	標準条件による評価	JISC8841-3:2011及びJISC8842:2013	小形固体酸化物形燃料電池システム第3部性能試験方法及び環境試験方法及び固体酸化物形燃料電池セル及びスタック	$\eta = (W_{out} - W_{in}) / Q_{f} \times 100$, η_e = 発電効率[%], W_{out} : 送電電力量[kWh], W_{in} : 受電電力量[kWh], Q_{f} : 積算燃料消費熱量(低位発熱量) [kWh]	JISC8841-3:2011及びJISC8842:2013	小形固体酸化物形燃料電池システム第3部性能試験方法及び環境試験方法及び固体酸化物形燃料電池セル及びスタック	JISC8841-3:2011及びJISC8842:2013に準拠
L-001160	エネルギー転換	事業用発電(再エネ)	太陽光発電	太陽電池(シリコン系・単結晶)	太陽電池は、光の持つエネルギーを、直接的に電力に変換する装置である。太陽電池内部に入射した光のエネルギーは、電子によって直接的に吸収され、PN接合の界面にあらかじめ設けられた電界に導かれ、電力として太陽電池の外部へ出力される。単結晶系は、高純度の単結晶のシリコン基板を使用した太陽電池。実用化されている太陽電池の中で最も変換効率が高く、耐久性・信頼性にも優れている。	-	-	-	○	S-004669	22.63 *	%	セル実効変換効率	標準規格による評価	JISC8960:2012	太陽光発電用語	JISC8960:2012に準拠	JISC8914:2005	結晶系太陽電池モジュール出力測定方法	JISC8914:2005に準拠
L-001161	エネルギー転換	事業用発電(再エネ)	太陽光発電	太陽電池(シリコン系・多結晶)	太陽電池は、光の持つエネルギーを、直接的に電力に変換する装置である。太陽電池内部に入射した光のエネルギーは、電子によって直接的に吸収され、PN接合の界面にあらかじめ設けられた電界に導かれ、電力として太陽電池の外部へ出力される。結晶の粒径が数mm程度の多結晶シリコンを利用した太陽電池。変換効率の面では単結晶と比較して低いが、単結晶より製造工程が簡便であるため、効率とコストのバランスが良く、普及が進んでいる。	-	-	-	○	S-004668	21.2	%	モジュール変換効率	標準規格による評価	JISC8914:2005	結晶系太陽電池モジュール出力測定方法	JISC8914:2005に準拠	JISC8914:2005	結晶系太陽電池モジュール出力測定方法	JISC8914:2005に準拠
L-001162	エネルギー転換	事業用発電(再エネ)	太陽光発電	太陽電池(化合物系)	太陽電池は、光の持つエネルギーを、直接的に電力に変換する装置である。太陽電池内部に入射した光のエネルギーは、電子によって直接的に吸収され、PN接合の界面にあらかじめ設けられた電界に導かれ、電力として太陽電池の外部へ出力される。本項目では、主成分に銅(Cu)、インジウム(In)、ガリウム(Ga)、セレン(Se)を用いた化合物であるCIGS系について記載する。薄膜で省材料などの長所をもち、わずか2~3µmの厚さであっても光を十分吸収するため、薄膜太陽電池としては高い変換効率が見られる。	-	-	-	●	S-004664	15.1	%	モジュール変換効率	標準規格による評価	JISC8960:2012	太陽光発電用語	JISC8960:2012に準拠	JISC8939:2013	薄膜太陽電池モジュール	JISC8939:2013に準拠
L-001163	エネルギー転換	事業用発電(再エネ)	太陽光発電	太陽電池(薄膜シリコン)	太陽電池は、光の持つエネルギーを、直接的に電力に変換する装置である。太陽電池内部に入射した光のエネルギーは、電子によって直接的に吸収され、PN接合の界面にあらかじめ設けられた電界に導かれ、電力として太陽電池の外部へ出力される。薄膜系は、ガラス、金属箔、フィルムなどの上に2~3ミクロンの太陽電池の層を形成させるものである。	-	-	-	○	S-004662	9.6	%	モジュール変換効率	標準規格による評価	JISC8960:2012	太陽光発電用語	JISC8960:2012に準拠	JISC8935:2005	アモルファス太陽電池モジュール出力測定方法	JISC8935:2005に準拠
L-001164	エネルギー転換	事業用発電(再エネ)	太陽光発電	トランスレクティブパワーコンディショナ(太陽光発電用)	太陽光発電用パワーコンディショナは、直流電力を調整するコンバータ、直流電力を交流電力に変換するインバータ、事故時等に系統を保護する高周波系統保護装置で構成される。トランスレクティブ方式は、パワーコンディショナ内の直流電圧調整をコンバータのみで行う方式であり、高周波変圧器絶縁方式と比較し、高効率となるものの電力会社系統との連系には、別途変圧器が必要となる。	-	出力	10kW未満	○	S-004660	98	%	定格負荷効率	標準規格による評価	JISC8961:2008	太陽光発電用パワーコンディショナの効率測定方法	$\eta_R = P_{out} / P_{in} \times 100$, η_R : 定格負荷効率[%], P_{out} : 定格負荷容量におけるパワーコンディショナの出力[kW], P_{in} : 定格負荷容量におけるパワーコンディショナの入力[kW]	JISC8961:2008	太陽光発電用パワーコンディショナの効率測定方法	JISC8961:2008に準拠
L-001165	エネルギー転換	事業用発電(再エネ)	太陽光発電	高周波変圧器絶縁方式パワーコンディショナ(太陽光発電用)	太陽光発電用パワーコンディショナは、直流電力を交流電力に変換するインバータ、事故時等に系統を保護する系統連系保護装置で構成される。直流電力を交流電力に変換する際に損失が生じることから、変換効率(定格負荷効率)の高いパワーコンディショナの選定が重要となる。高周波変圧器絶縁方式は、パワーコンディショナ内の直流電圧調整をコンバータと変圧器の組み合わせで行う方式であり、トランスレクティブ方式と比較し、電力変換効率は低下するが、パワーコンディショナから出力された電力はそのまま電力会社系統と連系可能となる。	-	-	10kW以上	○	S-004658	98.4	%	定格負荷効率	標準規格による評価	JISC8961:2008	太陽光発電用パワーコンディショナの効率測定方法	$\eta_R = P_{out} / P_{in} \times 100$, η_R : 定格負荷効率[%], P_{out} : 定格負荷容量におけるパワーコンディショナの出力[kW], P_{in} : 定格負荷容量におけるパワーコンディショナの入力[kW]	JISC8961:2008	太陽光発電用パワーコンディショナの効率測定方法	JISC8961:2008に準拠

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指 標								
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件		説 明	
												単 位	名 称		準拠する規格	規格の名称	準拠する規格	規格の名称		
L-001172	エネルギー転換	事業用発電(再エネ)	水力発電	プロペラ水車(小水力発電用)	水を取り込むケーシングから案内羽根を経て下向き水流に変化させ、羽根車の軸方向に流れてこれを回転させる。落差と流量変化によって羽根の角度を自動的に調節できる可動羽根のものはカプラン水車として区別され、プロペラ水車は常に一定の角度の固定羽根のものを指す。	-	出力	200kW未満	-	S-004653	80 *	%	水車効率	標準規格による評価	JEC4002:1992	水車およびポンプ水車の効率試験方法	η = (1,000×P) ÷ (g×ρ×Q×H) ; η : 水車効率 [%]、P : 水車出力[kW]、g : 重力加速度 [m/s ²]、ρ : 水の密度[kg/m ³]、Q : 流量[m ³ /s]、H : 有効落差[m]	JEC4002:1992	水車およびポンプ水車の効率試験方法	JEC4002:1992に準拠
L-001173	エネルギー転換	事業用発電(再エネ)	水力発電	フランス水車(小水力発電用)	水を取り込むケーシングの中に羽根車(ランナー)を設置し、そこを流れる水の圧力により回転させる水車である。最も一般的な水車で、数10m～数100mの落差に広く使われている。	-	出力	200kW未満	-	S-004652	85 *	%	水車効率	標準規格による評価	JEC4002:1992	水車およびポンプ水車の効率試験方法	η = (1,000×P) ÷ (g×ρ×Q×H) ; η : 水車効率 [%]、P : 水車出力[kW]、g : 重力加速度 [m/s ²]、ρ : 水の密度[kg/m ³]、Q : 流量[m ³ /s]、H : 有効落差[m]	JEC4002:1992	水車およびポンプ水車の効率試験方法	JEC4002:1992に準拠
L-001177	エネルギー転換	事業用発電(再エネ)	地熱発電	温水熱源小型バイナリー発電設備	バイナリー発電は、水よりも沸点の低い二次媒体を使うため、より低温の地熱流体での発電に適しており、地熱流体で温められた二次媒体の蒸気でタービンを回して発電する。生産井から地熱流体を取り出し、地熱流体で二次媒体を温め、蒸気化し、二次媒体の蒸気でタービンを回転させ発電する。二次媒体を温めた後の地熱流体は、還元井から地下に戻し、発電し終わった二次媒体は、凝縮器で媒体に戻し、循環ポンプで再度、蒸発器に送る。熱源として温水を利用する。	100℃未満、200V/220V	出力	3.0kW未満	-	S-004739	-	%	送電端発電効率	標準条件による評価	環境省により独自に設定された方法	-	η = P/Q×100、η : 送電端発電効率[%]、P : 送電端出力[kW]、Q : 入熱量(低位発熱量)[kW]	環境省により独自に設定された方法	送電端発電効率の算出にあたっては、温水入口温度、冷却水入口温度を次のとおり設定することを条件とする。温水入口温度：95℃以下、冷却水入口温度：20℃以上	
						100℃未満、200V/220V	出力	3.0kW以上6.5kW未満	-	S-004738	-	%	送電端発電効率	標準条件による評価	環境省により独自に設定された方法	-	η = P/Q×100、η : 送電端発電効率[%]、P : 送電端出力[kW]、Q : 入熱量(低位発熱量)[kW]	環境省により独自に設定された方法	送電端発電効率の算出にあたっては、温水入口温度、冷却水入口温度を次のとおり設定することを条件とする。温水入口温度：95℃以下、冷却水入口温度：20℃以上	
						100℃未満、200V/220V	出力	6.5kW以上45kW未満	●	S-004650	6.2 *	%	送電端発電効率	標準条件による評価	環境省により独自に設定された方法	-	η = P/Q×100、η : 送電端発電効率[%]、P : 送電端出力[kW]、Q : 入熱量(低位発熱量)[kW]	環境省により独自に設定された方法	送電端発電効率の算出にあたっては、温水入口温度、冷却水入口温度を次のとおり設定することを条件とする。温水入口温度：95℃以下、冷却水入口温度：20℃以上	
						100℃未満、200V/220V	出力	45kW以上100kW未満	○	S-004648	6.2 *	%	送電端発電効率	標準条件による評価	環境省により独自に設定された方法	-	η = P/Q×100、η : 送電端発電効率[%]、P : 送電端出力[kW]、Q : 入熱量(低位発熱量)[kW]	環境省により独自に設定された方法	送電端発電効率の算出にあたっては、温水入口温度、冷却水入口温度を次のとおり設定することを条件とする。温水入口温度：95℃以下、冷却水入口温度：20℃以上	
						100℃未満、200V/220V	出力	100kW以上200kW未満	○	S-004646	6.8 *	%	送電端発電効率	標準条件による評価	環境省により独自に設定された方法	-	η = P/Q×100、η : 送電端発電効率[%]、P : 送電端出力[kW]、Q : 入熱量(低位発熱量)[kW]	環境省により独自に設定された方法	送電端発電効率の算出にあたっては、温水入口温度、冷却水入口温度を次のとおり設定することを条件とする。温水入口温度：95℃以下、冷却水入口温度：20℃以上	
						100℃未満、200V/220V	出力	200kW以上300kW未満	-	S-004736	-	%	送電端発電効率	標準条件による評価	環境省により独自に設定された方法	-	η = P/Q×100、η : 送電端発電効率[%]、P : 送電端出力[kW]、Q : 入熱量(低位発熱量)[kW]	環境省により独自に設定された方法	送電端発電効率の算出にあたっては、温水入口温度、冷却水入口温度を次のとおり設定することを条件とする。温水入口温度：95℃以下、冷却水入口温度：20℃以上	
						100℃未満、400V/440V	出力	3.0kW未満	-	S-004735	-	%	送電端発電効率	標準条件による評価	環境省により独自に設定された方法	-	η = P/Q×100、η : 送電端発電効率[%]、P : 送電端出力[kW]、Q : 入熱量(低位発熱量)[kW]	環境省により独自に設定された方法	送電端発電効率の算出にあたっては、温水入口温度、冷却水入口温度を次のとおり設定することを条件とする。温水入口温度：95℃以下、冷却水入口温度：20℃以上	
						100℃未満、400V/440V	出力	3.0kW以上6.5kW未満	-	S-004734	-	%	送電端発電効率	標準条件による評価	環境省により独自に設定された方法	-	η = P/Q×100、η : 送電端発電効率[%]、P : 送電端出力[kW]、Q : 入熱量(低位発熱量)[kW]	環境省により独自に設定された方法	送電端発電効率の算出にあたっては、温水入口温度、冷却水入口温度を次のとおり設定することを条件とする。温水入口温度：95℃以下、冷却水入口温度：20℃以上	
						100℃未満、400V/440V	出力	6.5kW以上45kW未満	●	S-004643	6.2 *	%	送電端発電効率	標準条件による評価	環境省により独自に設定された方法	-	η = P/Q×100、η : 送電端発電効率[%]、P : 送電端出力[kW]、Q : 入熱量(低位発熱量)[kW]	環境省により独自に設定された方法	送電端発電効率の算出にあたっては、温水入口温度、冷却水入口温度を次のとおり設定することを条件とする。温水入口温度：95℃以下、冷却水入口温度：20℃以上	
						100℃未満、400V/440V	出力	45kW以上100kW未満	○	S-004641	6.8 *	%	送電端発電効率	標準条件による評価	環境省により独自に設定された方法	-	η = P/Q×100、η : 送電端発電効率[%]、P : 送電端出力[kW]、Q : 入熱量(低位発熱量)[kW]	環境省により独自に設定された方法	送電端発電効率の算出にあたっては、温水入口温度、冷却水入口温度を次のとおり設定することを条件とする。温水入口温度：95℃以下、冷却水入口温度：20℃以上	
						100℃未満、400V/440V	出力	100kW以上200kW未満	○	S-004636	6.83 *	%	送電端発電効率	標準条件による評価	環境省により独自に設定された方法	-	η = P/Q×100、η : 送電端発電効率[%]、P : 送電端出力[kW]、Q : 入熱量(低位発熱量)[kW]	環境省により独自に設定された方法	送電端発電効率の算出にあたっては、温水入口温度、冷却水入口温度を次のとおり設定することを条件とする。温水入口温度：95℃以下、冷却水入口温度：20℃以上	
						100℃未満、400V/440V	出力	200kW以上300kW未満	-	S-004733	-	%	送電端発電効率	標準条件による評価	環境省により独自に設定された方法	-	η = P/Q×100、η : 送電端発電効率[%]、P : 送電端出力[kW]、Q : 入熱量(低位発熱量)[kW]	環境省により独自に設定された方法	送電端発電効率の算出にあたっては、温水入口温度、冷却水入口温度を次のとおり設定することを条件とする。温水入口温度：95℃以下、冷却水入口温度：20℃以上	
						100℃以上120℃未満、200V/220V	出力	3.0kW未満	-	S-004732	-	%	送電端発電効率	標準条件による評価	環境省により独自に設定された方法	-	η = P/Q×100、η : 送電端発電効率[%]、P : 送電端出力[kW]、Q : 入熱量(低位発熱量)[kW]	環境省により独自に設定された方法	送電端発電効率の算出にあたっては、温水入口温度、冷却水入口温度を次のとおり設定することを条件とする。温水入口温度：95℃以下、冷却水入口温度：20℃以上	
						100℃以上120℃未満、200V/220V	出力	3.0kW以上6.5kW未満	-	S-004731	-	%	送電端発電効率	標準条件による評価	環境省により独自に設定された方法	-	η = P/Q×100、η : 送電端発電効率[%]、P : 送電端出力[kW]、Q : 入熱量(低位発熱量)[kW]	環境省により独自に設定された方法	送電端発電効率の算出にあたっては、温水入口温度、冷却水入口温度を次のとおり設定することを条件とする。温水入口温度：95℃以下、冷却水入口温度：20℃以上	
						100℃以上120℃未満、200V/220V	出力	6.5kW以上45kW未満	-	S-004730	-	%	送電端発電効率	標準条件による評価	環境省により独自に設定された方法	-	η = P/Q×100、η : 送電端発電効率[%]、P : 送電端出力[kW]、Q : 入熱量(低位発熱量)[kW]	環境省により独自に設定された方法	送電端発電効率の算出にあたっては、温水入口温度、冷却水入口温度を次のとおり設定することを条件とする。温水入口温度：95℃以下、冷却水入口温度：20℃以上	
						100℃以上120℃未満、200V/220V	出力	45kW以上100kW未満	-	S-004729	-	%	送電端発電効率	標準条件による評価	環境省により独自に設定された方法	-	η = P/Q×100、η : 送電端発電効率[%]、P : 送電端出力[kW]、Q : 入熱量(低位発熱量)[kW]	環境省により独自に設定された方法	送電端発電効率の算出にあたっては、温水入口温度、冷却水入口温度を次のとおり設定することを条件とする。温水入口温度：95℃以下、冷却水入口温度：20℃以上	
						100℃以上120℃未満、200V/220V	出力	100kW以上200kW未満	-	S-004728	-	%	送電端発電効率	標準条件による評価	環境省により独自に設定された方法	-	η = P/Q×100、η : 送電端発電効率[%]、P : 送電端出力[kW]、Q : 入熱量(低位発熱量)[kW]	環境省により独自に設定された方法	送電端発電効率の算出にあたっては、温水入口温度、冷却水入口温度を次のとおり設定することを条件とする。温水入口温度：95℃以下、冷却水入口温度：20℃以上	

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス				L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標										
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)	認定 対象			測定単位			評価方法の タイプ		計算方法		試験条件			
												単 位	名 称		準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格	規格の名称	説 明		
						200kW以上300kW未満	-	S-004727	-	-												
					100℃以上120℃未満、 400V/440V	出力	3.0kW未満 3.0kW以上6.5kW未満 6.5kW以上45kW未満 45kW以上100kW未満 100kW以上200kW未満 200kW以上300kW未満	- - - - - -	S-004726 S-004725 S-004724 S-004722 S-004721 S-004720	- - - - - -	-	%	送電端発電 効率	標準条件 による評 価	環境省によ り独自に設 定された方 法	-	$\eta = P/Q \times 100$, η : 送電端発電効率[%]、 P : 送電 端出力[kW]、 Q : 入熱量(低位発熱量)[kW]送電端 出力= (発電端出力) - (作動媒体ポンプ、イン バータ、(絶縁トランス)、ほかユニット内消費 電力)	環境省によ り独自に設 定された方 法	-	送電端発電効率の算出にあたっては、温水入口温 度、冷却水入口温度を次のとおり設定すること を条件とする。温水入口温度: 115℃以下、冷却水 入口温度: 20℃以上		
					120℃以上250℃未満、 200V/220V	出力	3.0kW未満 3.0kW以上6.5kW未満 6.5kW以上45kW未満 45kW以上100kW未満 100kW以上200kW未満 200kW以上300kW未満	- - - - - -	S-004719 S-004718 S-004717 S-004716 S-004714 S-004713	- - - - - -	-	%	送電端発電 効率	標準条件 による評 価	環境省によ り独自に設 定された方 法	-	$\eta = P/Q \times 100$, η : 送電端発電効率[%]、 P : 送電 端出力[kW]、 Q : 入熱量(低位発熱量)[kW]送電端 出力= (発電端出力) - (作動媒体ポンプ、イン バータ、(絶縁トランス)、ほかユニット内消費 電力)	環境省によ り独自に設 定された方 法	-	送電端発電効率の算出にあたっては、温水入口温 度、冷却水入口温度を次のとおり設定すること を条件とする。温水入口温度: 245℃以下、冷却水 入口温度: 20℃以上		
					120℃以上250℃未満、 400V/440V	出力	3.0kW未満 3.0kW以上6.5kW未満 6.5kW以上45kW未満 45kW以上100kW未満 100kW以上200kW未満 200kW以上300kW未満	- - - - - -	S-004710 S-004708 S-004707 S-004705 S-004700 S-004699	- - - - - -	-	%	送電端発電 効率	標準条件 による評 価	環境省によ り独自に設 定された方 法	-	$\eta = P/Q \times 100$, η : 送電端発電効率[%]、 P : 送電 端出力[kW]、 Q : 入熱量(低位発熱量)[kW]送電端 出力= (発電端出力) - (作動媒体ポンプ、イン バータ、(絶縁トランス)、ほかユニット内消費 電力)	環境省によ り独自に設 定された方 法	-	送電端発電効率の算出にあたっては、温水入口温 度、冷却水入口温度を次のとおり設定すること を条件とする。温水入口温度: 245℃以下、冷却水 入口温度: 20℃以上		
L-001178	エネ ル ギ ー 転 換	事業用発 電(再工 事)	地熱発電	蒸気熱源小型バイ ナリー発電設 備	バイナリー発電は、水よりも沸点の低い二次媒体を使うため、よ り低温の地熱流体での発電に適しており、地熱流体で温められた 二次媒体の蒸気でタービン回して発電する。生産井から地熱流 体を取り出し、地熱流体で二次媒体を温め、高気化し、二次媒体 の蒸気でタービンを回転させ発電する。二次媒体を温めた後の地 熱流体は、還元井から地下に戻し、発電し終わった二次媒体は、 凝縮器で液体に戻し、循環ポンプで再度、蒸発器に送る。熱源と して蒸気を利用する。	200V/220V	出力	3.0kW未満 3.0kW以上6.5kW未満	- -	S-004697 S-004695	- -	%	送電端発電 効率	標準条件 による評 価	環境省によ り独自に設 定された方 法	-	$\eta = P/Q \times 100$, η : 送電端発電効率[%]、 P : 送電 端出力[kW]、 Q : 入熱量(低位発熱量)[kW]送電端 出力= (発電端出力) - (作動媒体ポンプ、イン バータ、(絶縁トランス)、ほかユニット内消費 電力)	環境省によ り独自に設 定された方 法	-	蒸気送電端発電効率の算出にあたっては、入口蒸 気温度、出口ドレン温度、冷却水入口温度を次の とおり設定することを条件とする。入口蒸気温 度: 130℃以下、出口ドレン温度: 36℃以上、冷 却水入口温度: 20℃以上		

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス				L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標										
	部門1	部門2	技術分類			条 件	クラス 能力(名称)	クラス 能力(単位)	認 証 対 象			測定単位		評価方法の タイプ	準拠する規格	規格の名称	計算方法		準拠する規格	規格の名称	試験条件	
												単 位	名 称				計算式	単 位			規 格	説 明
L-001181	エネルギー転換	事業用発電(再エネ)	バイオマス発電	ガスエンジン発電設備(メタン発酵発電用)	バイオメタンガスを燃料にシリンダー内部で燃料の爆発(膨張)を発生させ、その圧力でピストンを往復動させ、その往復動を回転エネルギーに変える発電装置。ストイキオメトリ燃焼(理論空気で混合したガスが完全燃焼する方式)、リーンバーンと呼ばれる希薄燃焼の二つの方式があり、最近では予混合圧縮着火燃焼といわれる高圧縮による自然着火でシリンダー内全体をメタメと燃える点火プラグを用いないものが環境面や高効率化で注目を集めている。	50Hz	出力	100kW未満 100kW以上1000kW未満	● S-004617 ○ S-004615	84 * 41.8 *	% 総合効率	標準規格による評価	JIS8122:2009	コージェネレーションユニットの性能試験方法	$\eta = \text{P} / (\text{Q} \times 100)$ $\eta = \text{P} / (\text{Q} \times 100)$ P: 送電端出力[kW]、Q: 入熱量(低位発熱量)[kW]送電端出力=(発電端出力) - (作動媒体ポンプ、インバータ、(絶縁トランス)、ほかユニット内消費電力)	JIS8122:2009	環境省により独自に設定された方法	環境省により独自に設定された方法	環境省により独自に設定された方法	蒸気送電端発電効率の算出にあたっては、入口蒸気温度、出口ドレン温度、冷却水入口温度を次のとおり設定することを条件とする。入口蒸気温度: 130℃以下、出口ドレン温度: 36℃以上、冷却水入口温度: 20℃以下		
								100kW未満 100kW以上1000kW未満	○ S-004612 ○ S-004610	32 38.8	% 発電効率	標準規格による評価	JIS8122:2009	コージェネレーションユニットの性能試験方法	$\eta_{\text{out}} = (3.6 \times \text{P}_{\text{out}}) + (\text{Hf} \times \text{F}) \times 100$ % P _{out} : 発電出力(発電端) [kW] Hf: 燃料の低位発熱量[MJ/m ³ Nh] F: 燃料消費量[m ³ Nh]	JIS8122:2009	コージェネレーションユニットの性能試験方法	JIS8122:2009に準拠、メタン濃度は60%を試験条件とする。				
						60Hz	出力	100kW未満 100kW以上1000kW未満	● S-004609 - S-004680	84 * -	% 総合効率	標準規格による評価	JIS8122:2009	コージェネレーションユニットの性能試験方法	$\eta_{\text{out}} = \eta_{\text{out}} + \eta_{\text{h}}$ (発電端)、 η_{out} : 発電端総合効率[%]、 η_{out} : 発電効率[%]、 η_{h} : 熱出力効率[%]	JIS8122:2009	コージェネレーションユニットの性能試験方法	JIS8122:2009に準拠、メタン濃度は60%を試験条件とする。				
								100kW未満 100kW以上1000kW未満	○ S-004606 - S-004678	32 -	% 発電効率	標準規格による評価	JIS8122:2009	コージェネレーションユニットの性能試験方法	$\eta_{\text{out}} = \eta_{\text{out}} + \eta_{\text{h}}$ (発電端)、 η_{out} : 発電端総合効率[%]、 η_{out} : 発電効率[%]、 η_{h} : 熱出力効率[%]	JIS8122:2009	コージェネレーションユニットの性能試験方法	JIS8122:2009に準拠、メタン濃度は60%を試験条件とする。				
L-001230	エネルギー転換	事業用発電(再エネ)	バイオマス発電	ディーゼル発電設備(バイオディーゼル燃料専用)	ディーゼルエンジンを主機関とする発電機であり、軽油や重油の代わりにバイオマスディーゼル燃料を用いる。バイオマスディーゼル燃料の使用によりCO ₂ 削減を実現するほか、非常時のバックアップや電力消費のピークカットに貢献する。	50Hz、燃料の種類: バイオマスディーゼル燃料	出力	22kW未満(25kVA未満) 22kW以上74kW未満(25kVA以上80kVA未満) 74kW以上368kW未満(80kVA以上400kVA未満)	○ S-005798 ○ S-005799 ○ S-005800	33.1 * 48 * 44.9 *	% 発電効率	標準規格による評価	JIS8122:2019	コージェネレーションユニットの性能試験方法	$\eta_{\text{out}} = (3.6 \times \text{P}_{\text{out}}) + (\text{Hf} \times \text{F}) \times 100$ % P _{out} : 発電出力(発電端) [kW]、Hf: 燃料の低位発熱量[MJ/m ³ Nh]、F: 燃料消費量[m ³ Nh]	JIS8122:2019	コージェネレーションユニットの性能試験方法	JIS8122:2019に準拠、使用するバイオディーゼル燃料濃度を100%とする				

L2-Tech リスト№	区分			設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス			認定 対象	L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	指標																										
	部門1	部門2	技術分類			条件	クラス能力(名称)	クラス能力(単位)				測定単位		評価方法の タイプ	計算方法		試験条件																					
												単位	名称		参照する規格	規格の名称	参照する規格	規格の名称	参照する規格	規格の名称	説明																	
						368kW以上 (400kVA以上)	o	S-005801		46 *																												
																								60Hz、燃料の種類：バイオ マスティーゼル燃料	出力	22kW未満 (25kVA未満)	o	S-005802	32.3 *	%	発電効率	標準規格 による評 価	JIS8122:201 9	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	$η_{out} = (3.6 \cdot P_{out}) \div (HI \cdot FI) \times 100$ ηout: 発電効 率[%]、Pout: 発電出力(発電端) [kW]、HI: 燃 料の低位発熱量[MJ/m3N]、FI: 燃料消費量	JIS8122:201 9	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JIS8122:2019に準拠。使用するバイオディーゼル 燃料濃度を100%とする
																										22kW以上74kW未満 (25kVA以上80kVA未満)	o	S-005803	46.1 *									
																										74kW以上368kW未満 (80kVA以上400kVA未満)	o	S-005804	42.7 *									
						368kW以上 (400kVA以 上)	o	S-005805	45.9 *																													
L-001182	エネル ギー転換	地域熱供 給	熱輸送	潜熱蓄熱輸送設 備	潜熱蓄熱材 (PCM:Phase Change Material) をコンテナに充填し、 PCMの融解熱として高密度に熱エネルギーを蓄えて、車輦により 広範囲に熱を供給する技術。	-	-	-	-	-	蓄熱容量、排熱源温度	蓄熱容量850kWh以上、排 熱源温度130℃以上	o	S-004600	11.2 *	[eq]	エネルギー 効率	標準条件 による評 価	環境省により 独自に設 定された方 法	-	エネルギー効率[eq]=Qout/Qin、投入エネルギー 量(Qin)=熱回収に要するエネルギー量 (Ostorage)、+熱輸送に要するエネルギー量 (Qtransfer)、+熱供給に要するエネルギー量 (Qsupply)、-熱供給量 (Qout) =需要先にて供 給した正味の熱供給量	環境省により 独自に設 定された方 法	-	エネルギー効率の算出にあたっては、供給距離、 車両燃費、供給温度を次のとおり設定すること を条件とする。供給距離：10km、車両燃費：蓄熱 容量850kWh以上 2.5km/l、蓄熱容量850kWh未 満 4.0km/l														
												蓄熱容量850kWh以上、排 熱源温度130℃未満	o	S-004598	8.8 *																							
												蓄熱容量850kWh未満、排 熱源温度130℃以上	o	S-004596	6.8 *																							
												蓄熱容量850kWh未満、排 熱源温度130℃未満	o	S-004593	4.8 *																							
L-001204	廃棄物・ リサイクル	リサイク ル	リン回収 設備	リン回収設備 MAP法 (し尿・ 浄化槽汚泥用)	りん酸を含む汚水の生物処理水に対して、晶析槽においてカルシ ウム材を追加し、pH調整することによりMAP(ヒドロキシアパタ イト、Ca10(PO4)6(OH)2)の結晶を析出させる方法。回収したリン は副産りん酸肥料として再利用可能。	-	-	-	-	-	リン濃度低減の高度処理が おこなわれていること、汚 泥は消化処理がおこなわ れていること	o	S-004592	80 *	%	PO4-P除去 率	標準条件 による評 価	環境省手引 き	リン回収・ 利活用の手 引き	(晶析槽入口PO4-P濃度-晶析槽出口PO4-P濃度) /晶析槽入口PO4-P濃度	環境省大臣 官房廃棄 物・リサイ クル対策部 廃棄物対策 課	リン回収・ 利活用の手 引き	処理量の内訳 し尿：浄化槽汚泥=4：6、し尿 T-P濃度：270mg/L、し尿PO4-P濃度：189mg/L、 浄化槽汚泥T-P濃度：150mg/L、浄化槽汚泥PO4-P 濃度：60mg/L、混合T-P濃度：198mg/L、混合 PO4-P濃度：112mg/L															
L-001205	廃棄物・ リサイクル	リサイク ル	リン回収 設備	リン回収設備 MAP法 (し尿・ 浄化槽汚泥用)	りん酸を含む汚水に対して、晶析槽においてマグネシウム材を添 加し、pH調整することによりMAP(リン酸マグネシウムアンモニウ ム、(Mg3NH4PO4)の結晶を析出させる方法。回収したリンは化 成肥料として再利用可能。	-	-	-	-	-		o	S-004580	75 *	%	PO4-P除去 率	標準条件 による評 価	環境省手引 き	リン回収・ 利活用の手 引き	(晶析槽入口PO4-P濃度-晶析槽出口PO4-P濃度) /晶析槽入口PO4-P濃度	環境省大臣 官房廃棄 物・リサイ クル対策部 廃棄物対策 課	リン回収・ 利活用の手 引き	処理量の内訳 し尿：浄化槽汚泥=4：6、し尿 T-P濃度：270mg/L、し尿PO4-P濃度：189mg/L、 浄化槽汚泥T-P濃度：150mg/L、浄化槽汚泥PO4-P 濃度：60mg/L、混合T-P濃度：198mg/L、混合 PO4-P濃度：112mg/L															
L-001206	廃棄物・ リサイクル	リサイク ル	リン回収 設備	リン回収設備 MAP法 (下水汚 泥用)	脱水ろ液からリン回収する従来事例に対し、よりリン含有量の 高い下水汚泥からMAP (リン酸マグネシウムアンモニウム) として 回収する「MAP法」が平成24/25年度国交省B-DASH採択事業で開 発された。回収したリンは配合肥料 (化成肥料) として再利用可 能。	-	-	-	-	-	リン濃度低減の高度処理が おこなわれていること、汚 泥は消化処理がおこなわ れていること	o	S-004578	90 *	%	PO4-P除去 率	標準条件 による評 価	国土交通省 ガイドライ ン	資料No.805 B-DASHプロ ジェクト NO.8 2014年 8月消化汚 泥からのリン 除去・回収 技術導入ガ イドライン (案)	(消化汚泥PO4-P濃度-リン処理PO4-P濃度)/消 化汚泥PO4-P濃度	国土交通省 国土技術政 策総合研究 所	資料No.805 B-DASHプロ ジェクト NO.8 2014年 8月消化汚 泥からのリン 除去・回収 技術導入ガ イドライン (案)	消化汚泥濃度 (TS): 1.7%、消化汚泥T-P濃度： 600mg/L、消化汚泥PO4-P濃度：200mg/L															
L-001208	廃棄物・ リサイクル	リサイク ル	選別機	近赤外線樹脂選 別機	プラスチックに近赤外線を照射すると材質により吸収される波長 が異なることを利用し、特定の材質の選別を行う。コンベア先端 のエアノズルで吹き落とし選別する。PVC/PVDC除去 (サーマル リサイクル) やPP/PS/ABS選別 (マテリアルリサイクル) に使用 される。	-	-	-	-	-		o	S-004575	3	種類	選別樹脂種 別数	標準条件 による評 価	環境省交付 規定	H27年度二 酸化炭素排 出抑制対策 事業等補助 金(省CO2 削減サイク ル高度化設 備導入促進 事業) 交付 規定	選別樹脂種類数に残渣は含まない	環境省により 独自に設 定	-	選別純度：99%、(ベルトコンベア幅100mmあた りの樹脂の投入量が50kg/h以内の場合)															

別紙

No.	設備・機器等	クラス		L2-Tech水準	備 考
		条件	能力		
S-005220	BEMS (制御サービス・空調・熱源・中央方式)	空気熱源仕様	-	<p>下記の①～⑤の条件を満たすBEMSサービスであること。</p> <p>①冷水負荷熱量、冷水出口温度、外気温度、熱源機エネルギー消費量、冷水ポンプエネルギー消費量を計測できる機能を保有</p> <p>②上記①の計測粒度が1分単位以内であること</p> <p>③冷水負荷熱量、冷水出口温度、外気温度、を説明変数として、合計のエネルギー消費量(熱源機エネルギー消費量、冷水ポンプエネルギー消費量の合計)が最小となるような冷水出口温度を(過去の実績データに基づいて)自動で算出できる機能を保有</p> <p>④上記の算出結果に基づいて冷水出口温度を自動制御できる機能を保有</p> <p>⑤導入可能な施設が、限定されない</p>	<p>複数の設備・機器等及び事業者にまたがりサービスが提供されるケースが存在するため、「BEMSサービス」を認証単位とした。その上で、審査・認証の実現可能性の観点から「具備機能による評価」を行うこととした。</p> <p>事例調査の結果、BEMSサービスには、情報提供サービス及び制御サービスが存在するが、中でも提供件数の最も多い中央方式の空調機を対象とした制御サービスを認証対象として設定した。文献調査及び企業・有識者へのヒアリングに基づき、サービスにおいて求められる機能要件は、下記の通りとし、本リストでは下記の「要件0」及び「要件1」に基づいて水準を設定している。</p> <p>要件0(必須)：導入可能な施設が限定されない</p> <p>要件1：セントラル空調システム全体のエネルギー消費量が最小となる負荷熱量を自動で算出し、それに基づいて自動的にシステムを制御可能</p>
S-005219	BEMS (制御サービス・空調・熱源・中央方式)	水熱源仕様	-	<p>下記の①～⑤の条件を満たすBEMSサービスであること。</p> <p>①冷水負荷熱量、冷水出口温度、冷却水入口温度、外気温度、熱源機エネルギー消費量、熱源補機エネルギー消費量、冷水ポンプエネルギー消費量、冷却水ポンプエネルギー消費量を計測できる機能を保有</p> <p>②上記①の計測粒度が1分単位以内であること</p> <p>③冷水負荷熱量、冷水出口温度、冷却水入口温度、外気温度を説明変数として、合計のエネルギー消費量(熱源機エネルギー消費量、熱源補機エネルギー消費量、冷水ポンプエネルギー消費量、冷却水ポンプエネルギー消費量の合計)が最小となるような冷水出口温度を(過去の実績データに基づいて)自動で算出できる機能を保有</p> <p>④上記③の算出結果に基づいて冷水出口温度を自動制御できる機能を保有</p> <p>⑤導入可能な施設が、限定されない</p>	<p>複数の設備・機器等及び事業者にまたがりサービスが提供されるケースが存在するため、「BEMSサービス」を認証単位とした。その上で、審査・認証の実現可能性の観点から「具備機能による評価」を行うこととした。</p> <p>事例調査の結果、BEMSサービスには、情報提供サービス及び制御サービスが存在するが、中でも提供件数の最も多い中央方式の空調機を対象とした制御サービスを認証対象として設定した。文献調査及び企業・有識者へのヒアリングに基づき、サービスにおいて求められる機能要件は、下記の通りとし、本リストでは下記の「要件0」及び「要件1」に基づいて水準を設定している。</p> <p>要件0(必須)：導入可能な施設が限定されない</p> <p>要件1：セントラル空調システム全体のエネルギー消費量が最小となる負荷熱量を自動で算出し、それに基づいて自動的にシステムを制御可能</p>
S-004874	HEMS (情報提供サービス・家電全般)	-	-	<p>下記の①～⑤の条件を満たすHEMSサービスであること。</p> <p>①対象住宅全体の電力消費量を、30分単位以内で計測できる機能を保有</p> <p>②上記①において計測したエネルギー消費量と、他住宅で計測したエネルギー消費量を比較し、対象住宅全体のエネルギー消費量のランキング情報を表示できる機能を保有</p> <p>③上記②のランキング情報を、対象住宅におけるユーザー属性別※に表示できる機能を保有 ※地域別、間取別、家族構成別の3種いずれも</p> <p>④導入可能な住宅が、単一の住宅メーカーが供給する住宅に限定されない</p> <p>⑤導入の際にインターネット接続サービスへの加入が必要な場合、集合住宅向け全戸一括契約型へのサービス加入を前提としない</p>	<p>複数の設備・機器等及び事業者にまたがりサービスが提供されるケースが存在するため、「HEMSサービス」を認証単位とした。その上で、審査・認証の実現可能性の観点から「具備機能による評価」を行うこととした。</p> <p>事例調査の結果、HEMSサービスには、情報提供サービス及び制御サービスが存在するが、中でも提供件数の最も多い家電全般を対象とした情報提供サービスを認証対象として設定した。文献調査及び企業・有識者へのヒアリングに基づき、サービスにおいて求められる機能要件は、下記のいずれかとし、本リストでは「要件0」および「要件3」を対象とし水準を設定している。</p> <p>要件0(必須)：導入可能な住宅が限定的でない</p> <p>要件1：現状のエネルギー消費量に応じて省エネアドバイス、および目標の省エネ量が提供可能</p> <p>要件2：現状の光熱水道費に応じて節約アドバイス、および目標の節約額を提供可能</p> <p>要件3：エネルギー消費量が類似している世帯との比較情報の提供が可能</p> <p>要件4：過去のサービス利用履歴の情報に基づいて、より興味・関心の強い情報の提供が可能</p> <p>要件5：現状のエネルギー消費量が自身の平均的な消費量と比較して多くなったタイミングで、消費量が多いことを閲覧頻度が多い媒体へPush配信可能</p>
S-005188	内部熱交換最適化蒸留システム	蒸留塔が高圧部(濃縮部)と低圧部(回収部)とで物理的に分離しており一体型でないもの	-	<p>下記の①および②の条件を満たす蒸留システムであること。</p> <p>①高圧部と低圧部とで熱交換できる機能を保有</p> <p>②蒸留塔内部の熱分布を調整し熱交換率を最適化できる機能を保有</p>	<p>本設備・機器等は、個別受注設計生産されるため標準条件(試験条件、計算方法)を設定し、定量評価する方法はそぐわないと判断し、審査・認証の実現可能性の観点から「具備機能による評価」を行うこととした。</p> <p>文献調査及び企業・有識者へのヒアリングに基づき、本設備・機器等として求められる機能要件をL2-Tech水準とした。</p>